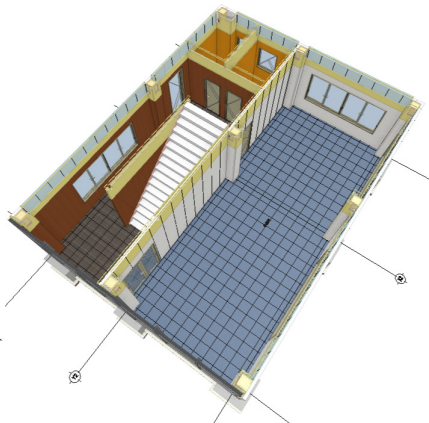
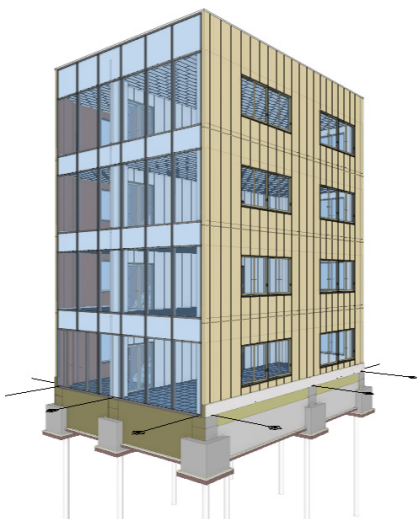
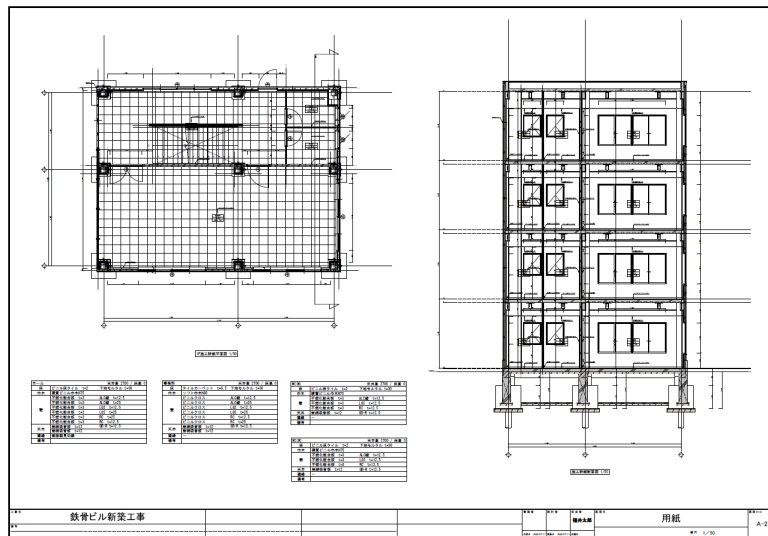


[施工詳細編]



目次

1 概要	1	5 建具リストを登録する	25
1-1 鉄骨躯体・施工詳細データ	1	5-1 建具リストを追加する	25
1-2 操作の流れ	2	建具符号を確認する	25
新規作成時のフロー	2	建具リストを追加する	26
1-3 ワークフロー	3	5-2 外枠形状を割り当てる	28
		外枠を割り当てる	28
2 躯体を入力する	4	残りの建具に外枠を割り当てる	29
ワークフローを切り替える	4	建具リストを保存する	29
躯体データの入力について	4	5-3 建具を入力する	30
3 意匠壁を入力する	5	平面ビューの表示を変更する	30
3-1 ALC 壁を入力する	5	引き違い窓（AW1）を入力する	31
表示状態を変更する	5	ALC 壁の割付ピッチを変更する	32
外周部に ALC 壁を入力する	6	片開きドア（AD1）を入力する	33
伸縮目地を変更する	7	縦すべり（AW2）を入力する	33
コーナー役物を入力する	8	親子開きドア（LD3）を入力する	34
ALC 壁（界壁）を入力する	9	片開きドア（LD1）を入力する	35
3-2 LGS 壁・空気層を入力する	10	片開きドア（LD2）を入力する	35
S 柱部分に LGS 壁を入力する	10		
ALC 壁内側に空気層を入力する	11	6 他階に部材を複写する	38
ALC 壁内側に LGS 壁を入力する	12	6-1 階に 1 階を複写する	38
トイレ・階段部分に入力する	13	6-2 ALC 壁・外壁仕上のプロパティを変更する	39
		6-3 建具を入れ替える	41
4 内部仕上仕様を登録する	14	建具記号を変更する	41
4-1 壁種別ごとの壁下地を設定する	14	建具取付高を変更する	41
4-2 室ごとに内部仕上仕様を登録する	15	6-4 3・4 階に 2 階を複写する	42
事務室の仕様を追加する	15	階を複写する	42
ホールの仕様を追加する	16	ALC を変更する	42
4-3 他階に仕上仕様を複写する	18		
他階に仕上仕様を複写する	18		
4-4 スペースを入力して内部仕上を確認する	19		
スペースを入力する	19		
自動配置された仕上を確認する	20		
事務室・トイレを入力する	21		
PS を入力する	23		
吹き抜けを入力する	23		
4-5 外壁仕上を入力する	24		

7 カーテンウォールを入力する 44

7-1 カーテンウォールを入力する	44
7-2 カーテンウォールを編集する	45
外枠を入力する	45
受け材（縦）を入力する	46
受け材（横）を入力する	46
受け材（横）を入力する	47
マリオンを入力する	48
パネルを入力する	49
エントランスを作成する	50

8 加筆修正する 52

8-1 断面に階高寸法を入力する	52
断面を作成する	52
階高寸法を配置する	52
8-2 平面・断面に各種寸法線を作成する	53
8-3 仕上等の引出線を入力する	55

9 図面を作成する 56

9-1 用紙サイズを変更する	56
施工詳細平面図を作成する	57
9-2 施工詳細断面図を作成する	58
9-3 スペース仕上表を作成する	59

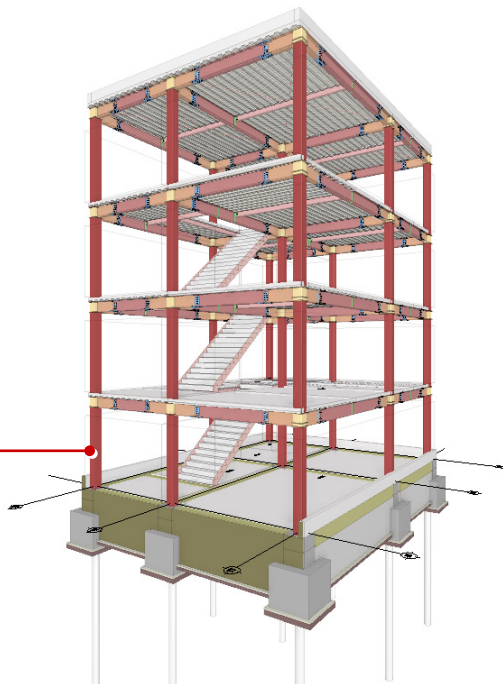


1 概要

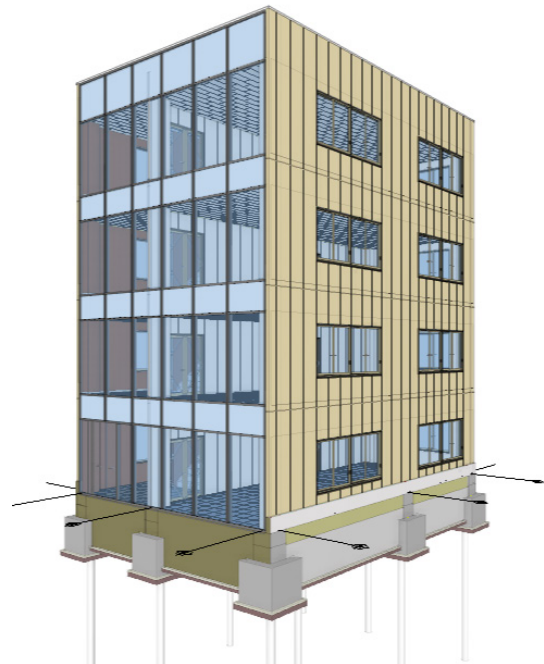
本書では、鉄骨躯体モデルにおいて、ALC・LGSなどの意匠壁、仕上仕様・建具リストの登録から各部材の入力など、施工詳細に必要なデータ入力の流れ、寸法・記号の加筆修正、および施工平面詳細図などの図面作成を解説します。

1-1 鉄骨躯体・施工詳細データ

次のS造4階建てを例に、「施工詳細」のデータ入力の流れを解説します。



【鉄骨躯体データ】



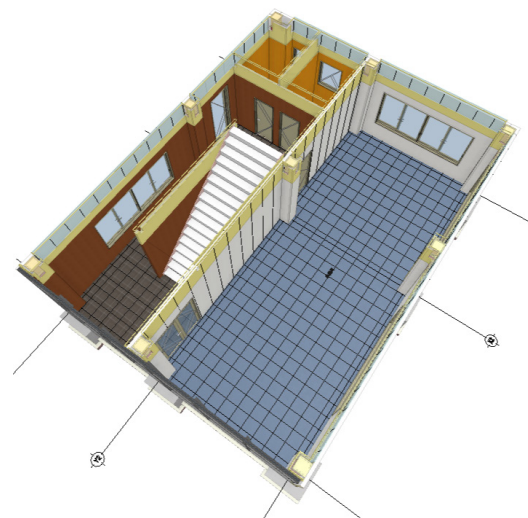
【施工詳細データ】

● サンプルデータについて

本書では、サンプルデータ「GLC 施工詳細マニュアル（開始データ）.GLCM」を使用して解説します。
サンプルデータは、お客様サポートサイトの「操作ガイド一覧」にある「サンプルデータの一括ダウンロード」から入手してください。

天井割付の解説について

本書では、天井割付の操作は解説していません。
別マニュアル「GLOOBE Construction 天井割付編」を参照してください。



【施工詳細（1階）】

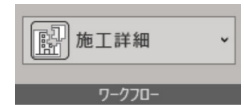
1-2 操作の流れ

新規作成時のフロー

GLOOBE では、次のフローで躯体、施工詳細を作成していくことが可能です。

施行詳細ステージでは、ワークフローを変更せずに、躯体から施工詳細までの入力が可能です。

本書では、ワークフロー「施工詳細」を利用して、躯体から入力していく流れで解説します。

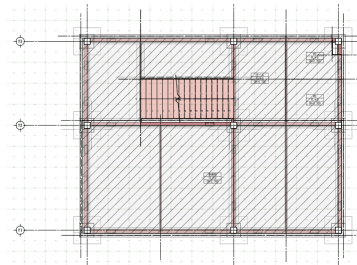


【ワークフロー】

1) リスト登録・躯体の入力

施工詳細

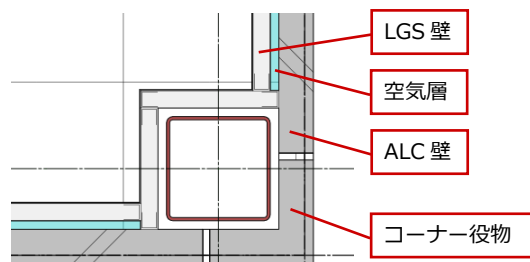
使用する鉄筋・鋼材を確認します。一般的な鉄筋・鋼材は、初期値として登録されています。



2) 意匠壁・壁下地の入力

施工詳細

意匠壁（ALC/LGS 壁）、空気層といった壁下地を入力します。



3) 仕上仕様・スペースの入力

施工詳細

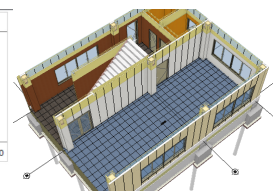
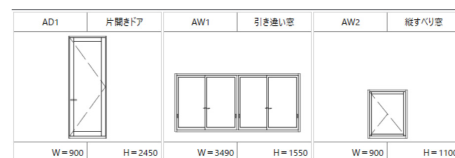
室ごとに内部仕上仕様を登録して、スペースの入力と同時に各仕上を自動配置します。

階	配置済	基本		種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	床仕上
		室名	床高FL±(mm)					
4F		手摺所	0.00	2700.00	カーペット類	6.50		
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	2.00		
		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	2.00		
3F		手摺所	0.00	2700.00	カーペット類	6.50		
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	2.00		
		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	2.00		
2F		手摺所	0.00	2700.00	カーペット類	6.50		
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	2.00		

4) 建具リストの登録・入力

施工詳細

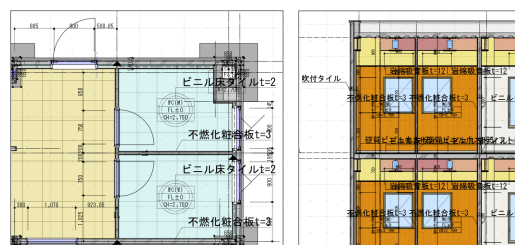
建具リストにて、建具テンプレートから建具を登録して、建具を入力します。なお、枠や額縁、水切りといった外枠形状、絵柄などを設定できます。



5) 寸法等の加筆修正

施工詳細

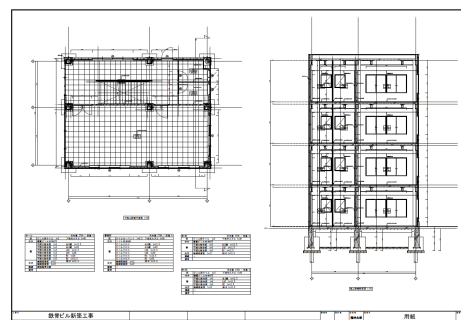
スペース、建具など施工詳細に関する寸法線、仕上の引出線を入力します。



6) 施工詳細の作成

施工詳細

入力したモデルより、作成条件を設定して施工平面詳細図、断面図を自動作成します。



1-3 ワークフローについて

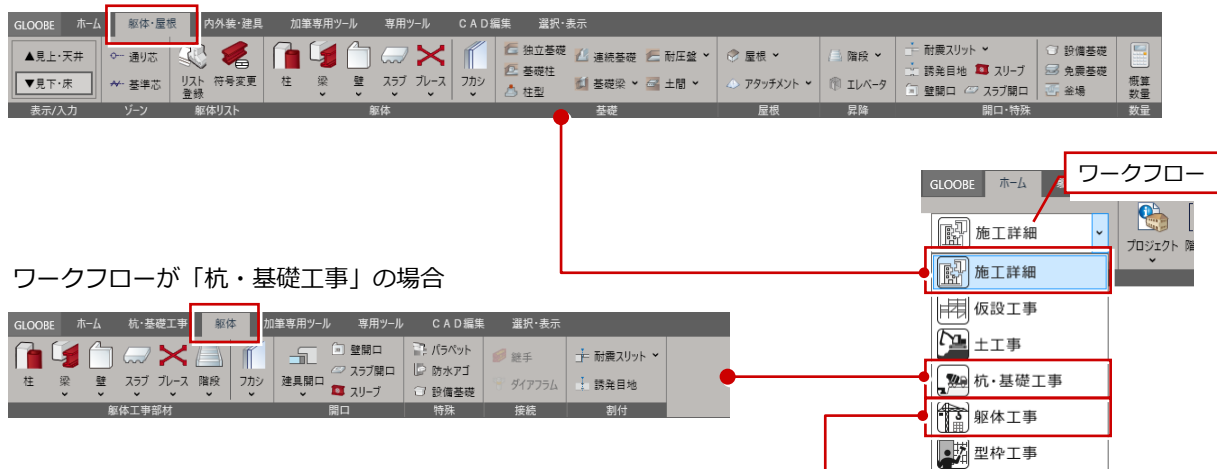
躯体データは、ワークフロー「施工詳細」「杭・基礎工事」「躯体工事」で入力できます。どのワークフローを利用しても同様の操作で部材を入力することができます。

本書では、躯体部分の入力方法は解説していませんが、ワークフロー「施工詳細」の「躯体・屋根」タブを利用するものとして解説します。

ワークフロー「施工詳細」を利用する

一から躯体と施工詳細のデータを入力していくような場合、ワークフロー「施工詳細」にて、ワークフロー「躯体工事」に切り替えることなく、躯体、施工詳細と順に作成していくことができます。

■ ワークフローが「施工詳細」の場合



■ ワークフローが「杭・基礎工事」の場合



■ ワークフローが「躯体工事」の場合



2 躯体を入力する

施工詳細のデータを入力するには躯体データが必要になります。まずはワークフローを確認して、躯体データを入力しましょう。

ワークフローを切り替える

- ①「ホーム」タブの「ワークフロー」を「施工詳細」に変更します。
- ②「躯体・屋根」タブをクリックします。

躯体データの入力について

躯体データの入力方法については、以下の操作ガイドを参照してください。



【ワークフロー：施工詳細】

操作ガイド

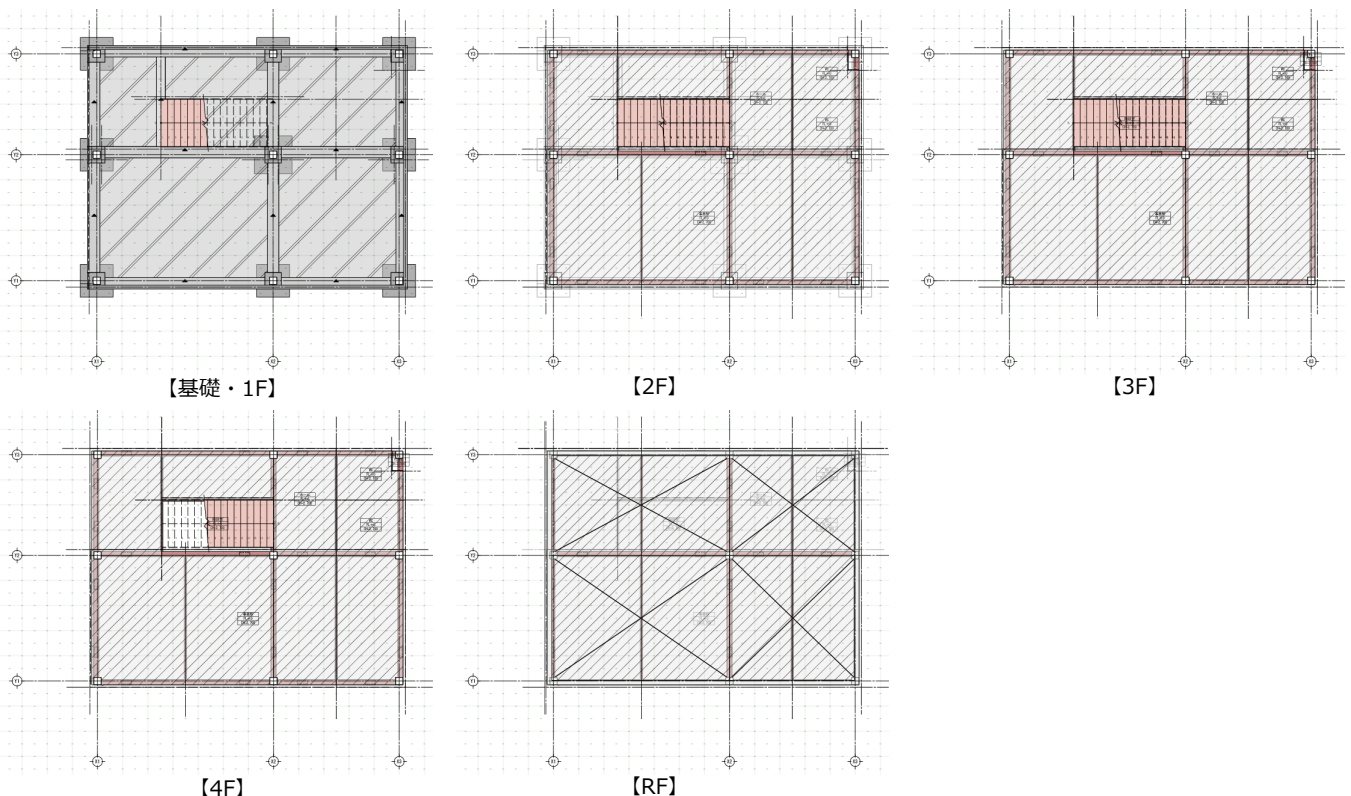
- ・ お客様サポートサイト 「GLOBE／GLOBE VR」の「操作ガイド一覧」にある「鉄骨躯体図編」を参照
- ・ 「鉄骨躯体図編」では、ワークフロー「杭・基礎工事」「躯体工事」を利用して解説しています。同様の操作で部材を入力してもかまいません。
- ・ または、ワークフロー「施工詳細」の「躯体・屋根」タブで同コマンドを使って部材を入力してもかまいません。

建具開口について

施工詳細では、建具リストにて登録した、絵柄や外枠を設定した建具を入力するため、ワークフロー「躯体工事」にある「建具開口」の入力は不要です。



建具開口

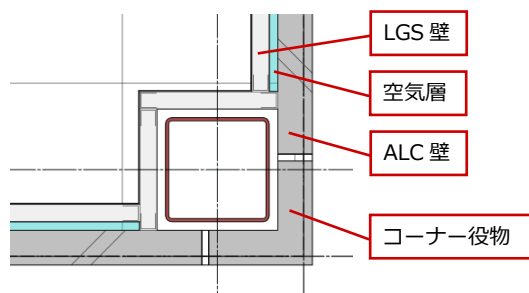


3 意匠壁を入力する

ALC・C鋼・角鋼・LGS・押出成形板といった意匠壁、コーナー役物を入力します。

また、ALC+壁下地（空気層）+LGSといった複合壁を入力する場合は、これらの部材を隣り合うように入力していきます。

※ 本書では、見下モードにて入力しています。

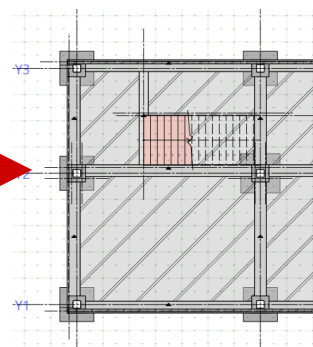
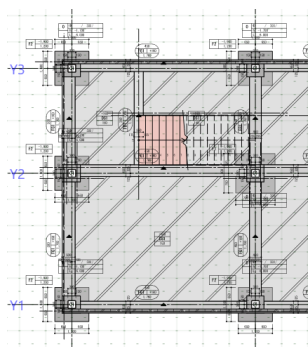
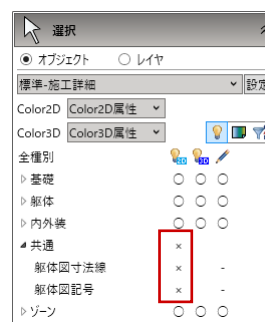
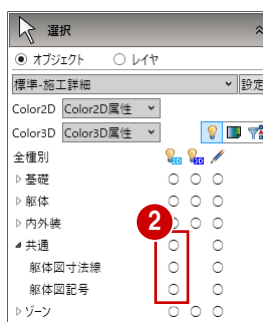


3-1 ALC 壁を入力する

表示状態を変更する

部材を入力しやすいように、平面ビューの寸法線、記号を非表示にします。

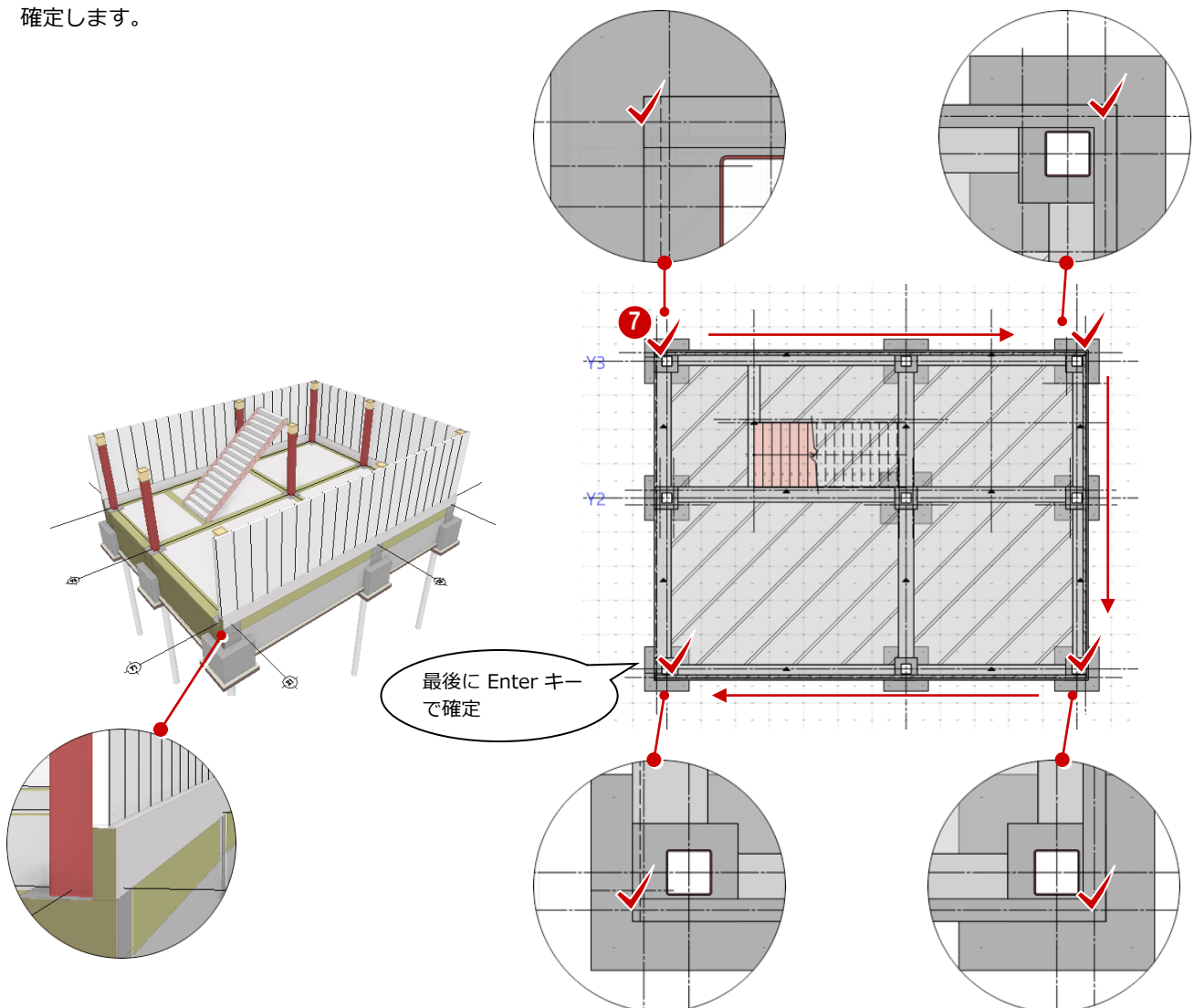
- ① ツールバーの「選択」をクリックします。
- ② 表示パレットから「共通」の「2D」をクリックして「×」に変更します。



外周部に ALC 壁を入力する

外周部については、上端高 SL+450 mmの躯体壁の上に ALC 壁を入力します。

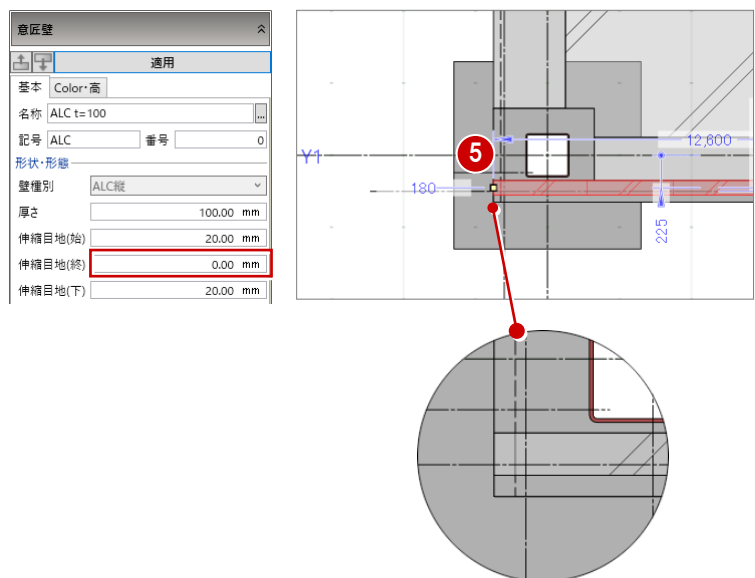
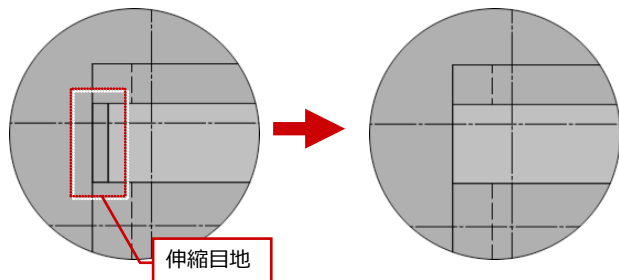
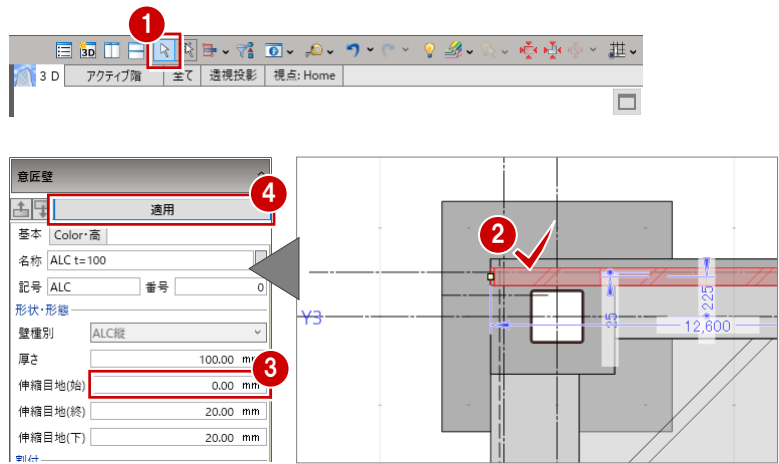
- ① 「内外装・建具」タブをクリックします。
- ② 「意匠壁」メニューから「意匠壁」を選びます。
- ③ 入力方法を「連続線（円弧可）」に変更します。
- ④ 次のように下端、配置基準を変更します。
 下端：1F 梁天 450 mm
 配置基準：中央
 芯ずれ：-25 mm
- ⑤ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「ALC 縦」の「ALC t=100」を選びます。
- ⑥ 「基本」タブにて、壁種別、厚さ、伸縮目地ピッチなどを確認します。
- ⑦ 入力点を順に指定し、最後に Enter キーで確定します。



伸縮目地を変更する

ここでは、Y3、Y1 通り付近の ALC 端部の伸縮目地を 20 mm → 0 mmに変更します。

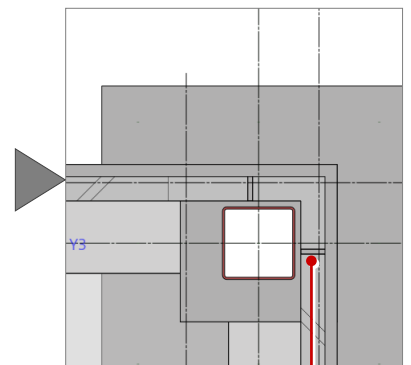
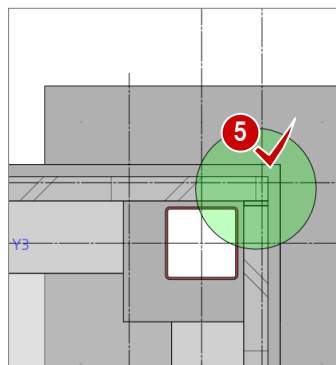
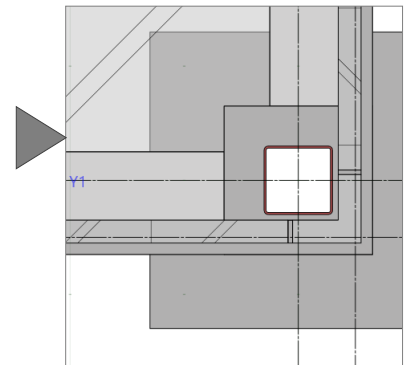
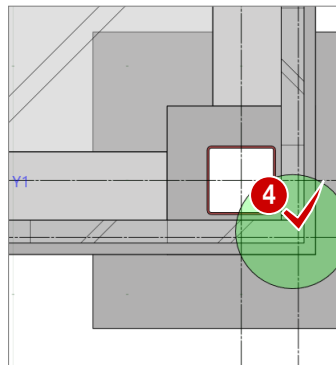
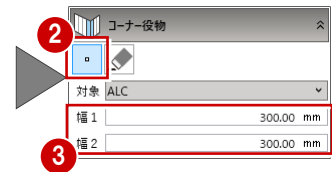
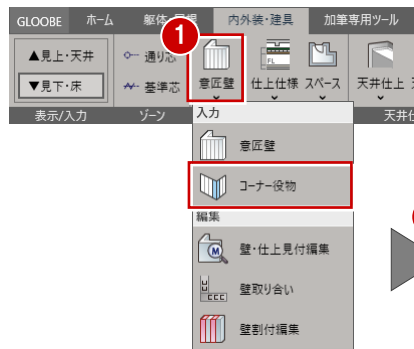
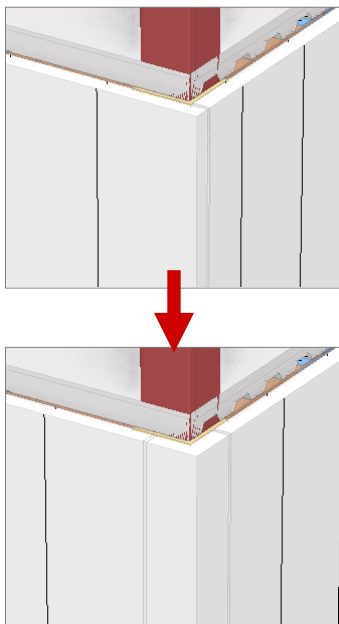
- ① 「選択」 コマンドをクリックします。
- ② Y3 通り付近の ALC 壁を選択します。
- ③ 「伸縮目地 (始)」を「0」に変更します。
- ④ 「適用」をクリックします。
- ⑤ 同様に Y1 通り付近の ALC 壁終点側の伸縮目地を 0 mmに変更します。



コーナー役物を入力する

ALC 壁出隅部分にコーナー役物を配置して、コーナー部分の壁取り合いを調整します。

- ① 「意匠壁」メニューから「コーナー役物」を選びます。
- ② 入力方法が「1 点」であることを確認します。
- ③ ここでは「幅 1」「幅 2」を「300」に変更します。
- ④ コーナーの取り合い部分をクリックします。
- ⑤ 同様に、他の箇所もクリックします。

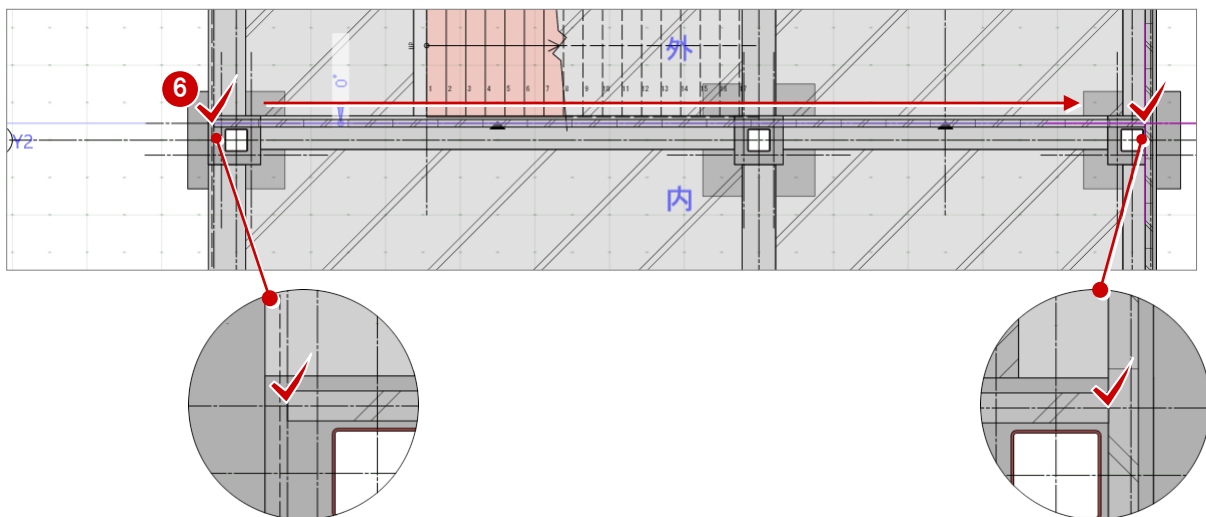
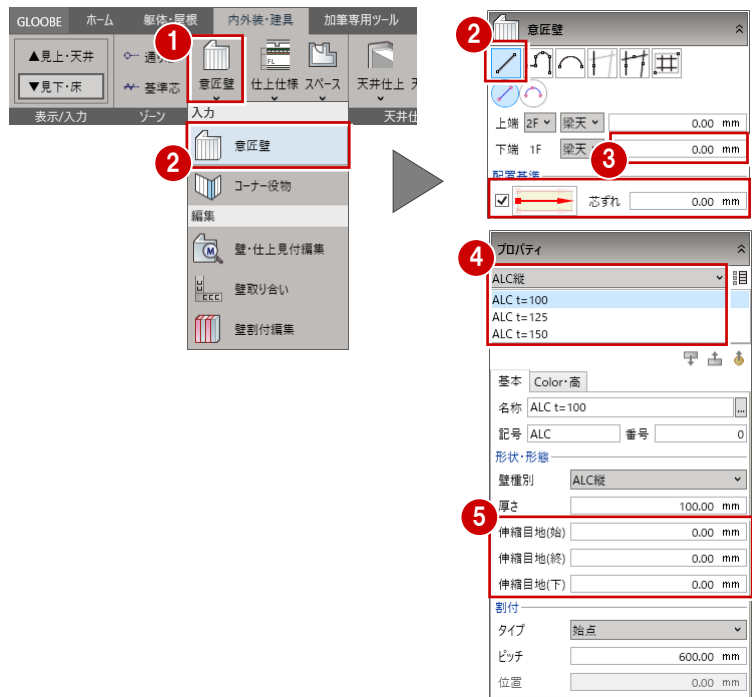


コーナー役物には、接続する壁端部の伸縮目地（幅）が有効となります。
目地幅が 0 mm のときは、目地は設定されません。

ALC 壁（界壁）を入力する

Y2 通り付近に、界壁として ALC 壁を入力します。

- ① 「意匠壁」メニューから「意匠壁」を選びます。
- ② 入力方法が「線分」に変更します。
- ③ 次のように下端、配置基準を変更します。
 下端：1F 梁天 0 mm
 配置基準：中央
 芯ずれ：0 mm
- ④ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「ALC 縦」の「ALC t=100」を選びます。
- ⑤ 「基本」タブにて、壁種別、厚さ、伸縮目地ピッチなどを確認します。
- ⑥ 始点と終点を指定します。



3-2 LGS 壁・空気層を入力する

本書では、S 柱の周囲、ALC 壁の内側等に LGS 壁を入力します。
また、ALC 壁と LGS 壁の間には、25 mmの空気層（壁下地）を入力します。

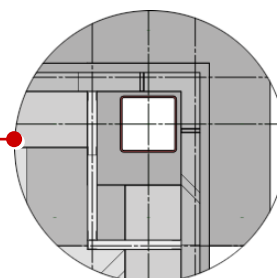
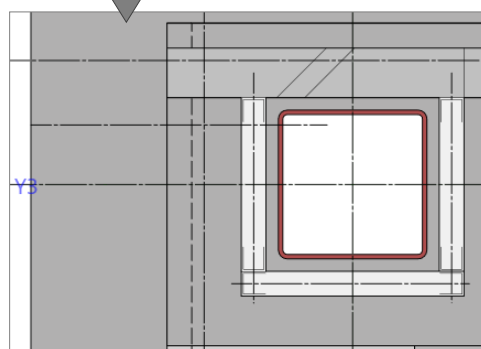
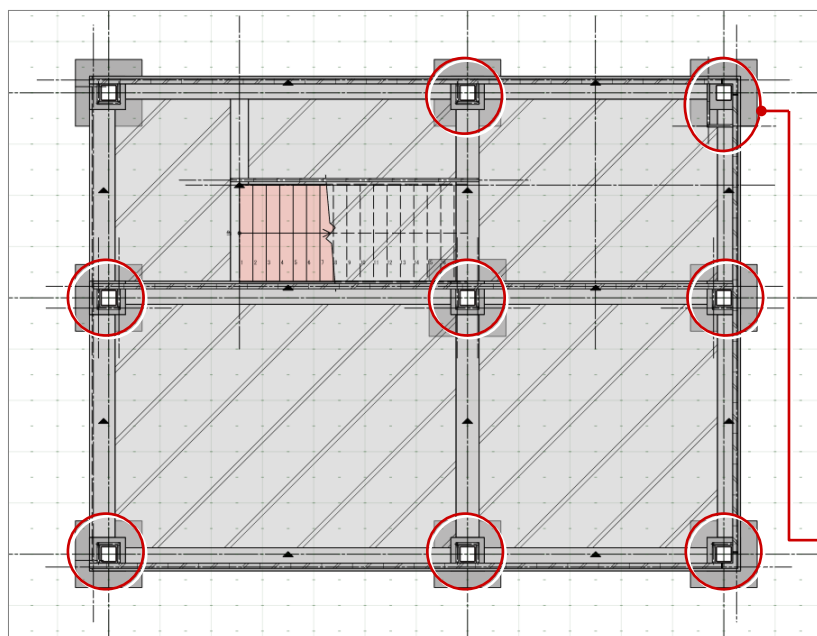
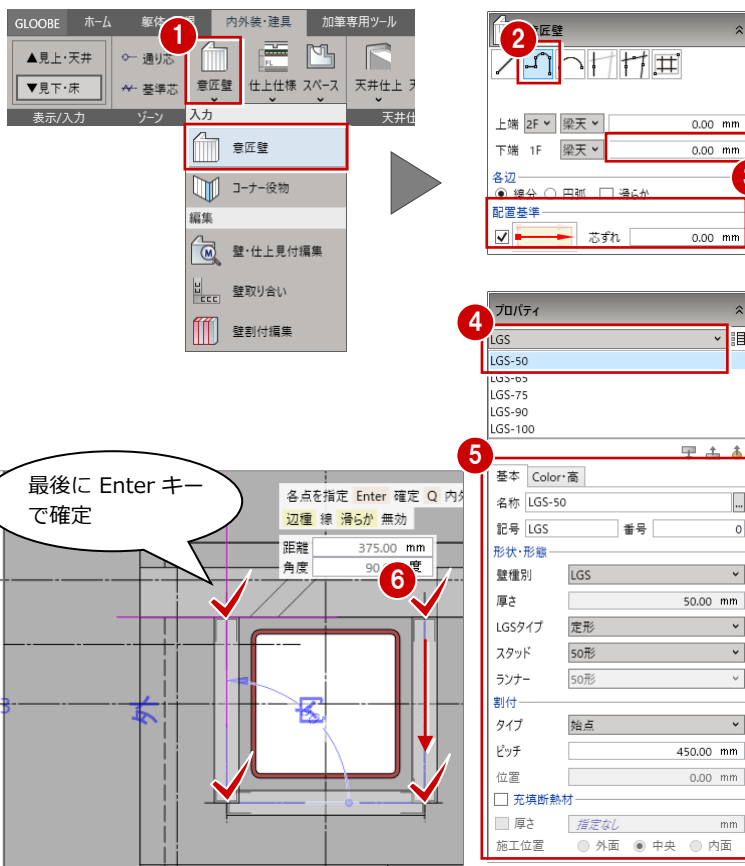


S 柱部分に LGS 壁を入力する

S 柱の周囲に LGS 壁を入力します。

- ① 「意匠壁」メニューから「意匠壁」を選びます。
- ② 入力方法を「連続線（円弧可）」に変更します。
- ③ 次のように下端、配置基準を変更します。
下端：1F 梁天 0 mm
配置基準：中央
芯ずれ：0 mm
- ④ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「LGS」の「LGS t=50」を選びます。
- ⑤ 「基本」タブにて、壁種別、ピッチなどを確認します。
- ⑥ 入力点を順に指定し、最後に Enter キーで確定します。

※ 同様に、残りの S 柱の位置にも入力します（8 箇所）。

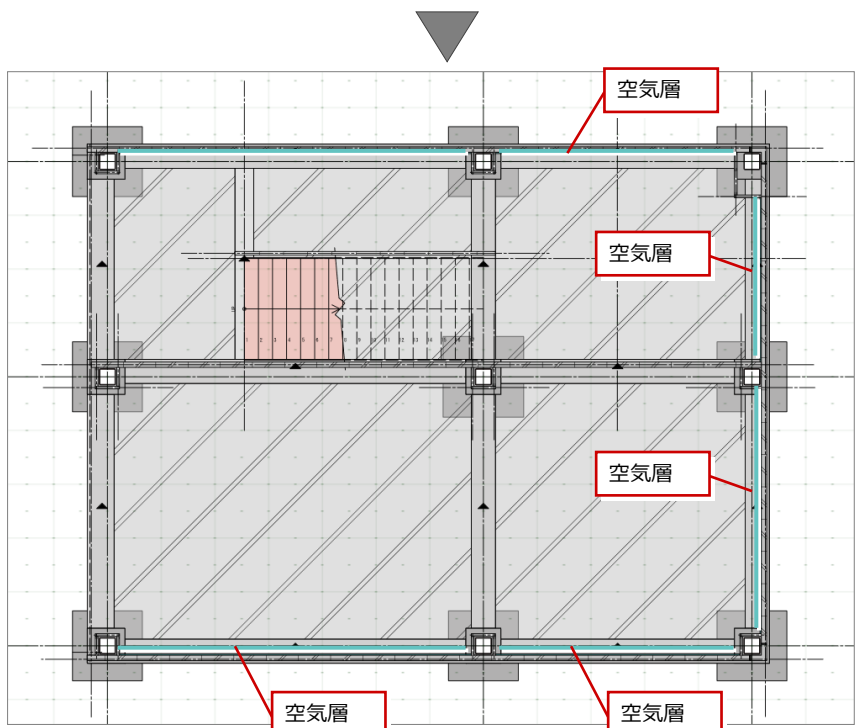
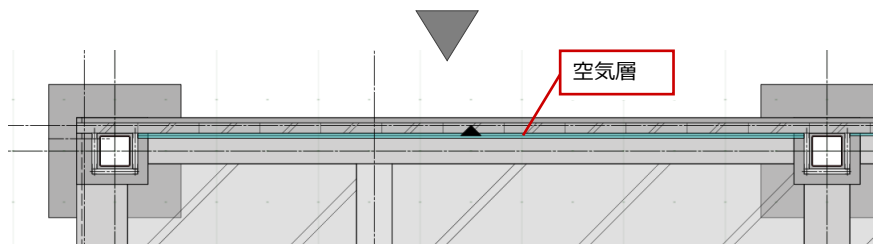
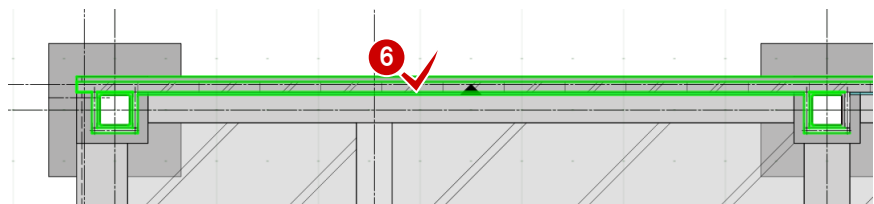
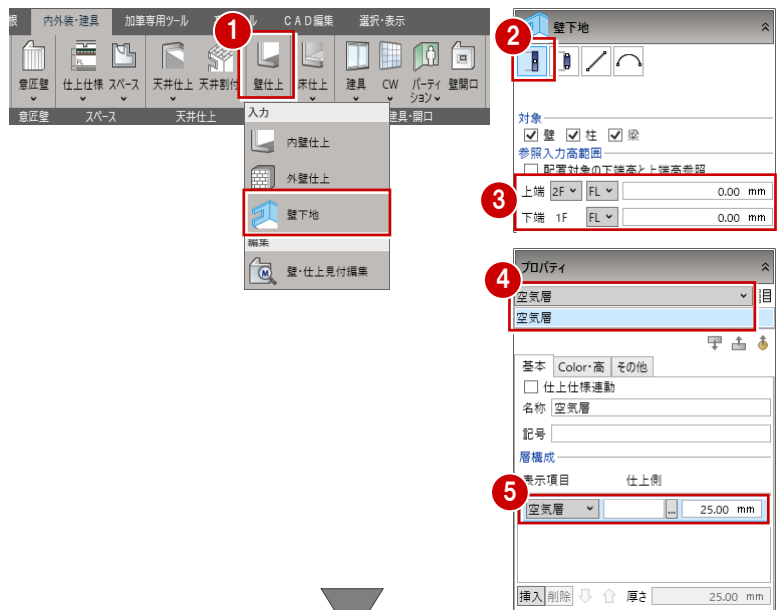


※ この部分は、PS 部分となります。

ALC 壁内側に空気層を入力する

- ① 「壁仕上」メニューから「壁下地」を選びます。
- ② 入力方法を「1点参照」に変更します。
- ③ 次のように下端、配置基準を変更します。
上端：2F FL±0 mm
下端：1F FL±0 mm
- ④ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「空気層」の「空気層」を選びます。
- ⑤ 「基本」タブにて、空気層の厚みを 25 mm に変更します。
- ⑥ 内側の ALC 壁面をクリックします。

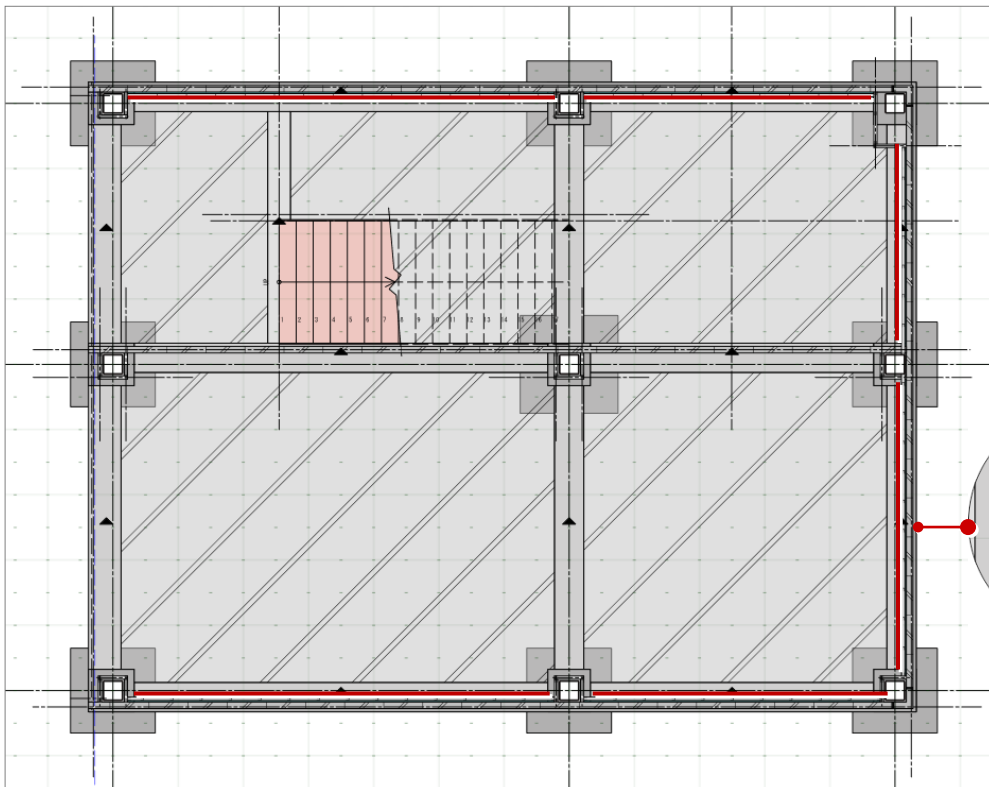
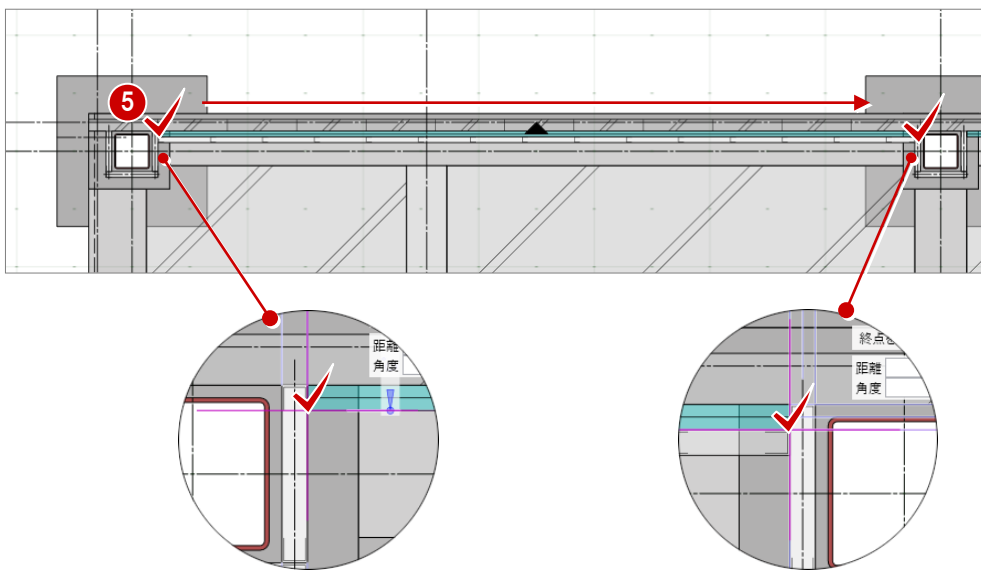
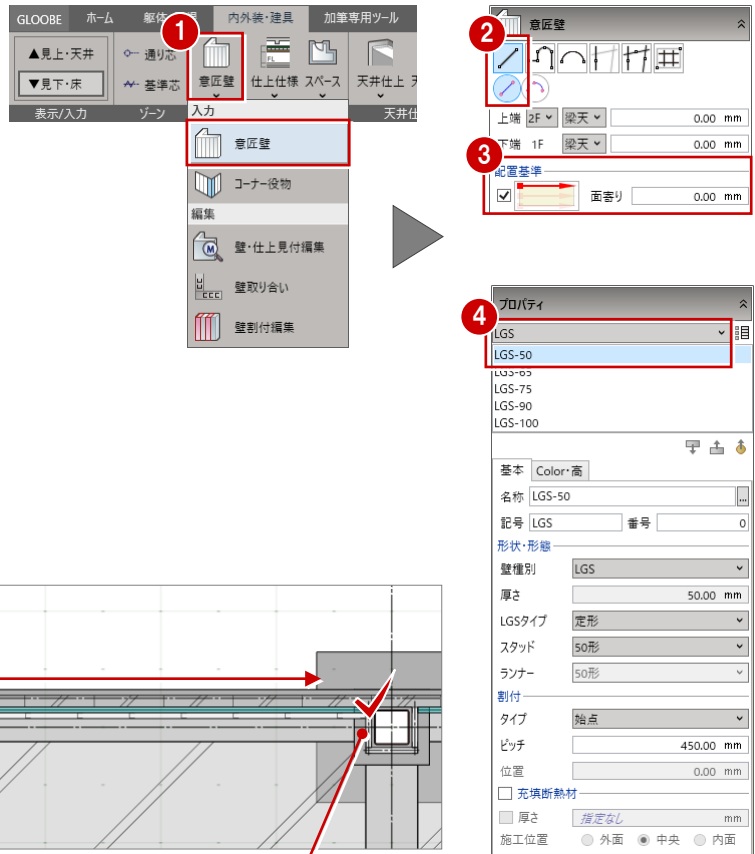
※ 入力可能な面に対して、緑色のラインが表示されます。



ALC 壁内側に LGS 壁を入力する

空気層の面に LGS 壁を入力します。

- ① 「意匠壁」メニューから「意匠壁」を選びます。
- ② 入力方法を「線分」に変更します。
- ③ 次のように下端、配置基準を変更します。
配置基準：左寄り
面寄り：0 mm
- ④ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「LGS」の「LGS t=50」を選びます。
- ⑤ 壁の始点と終点の位置をクリックします。

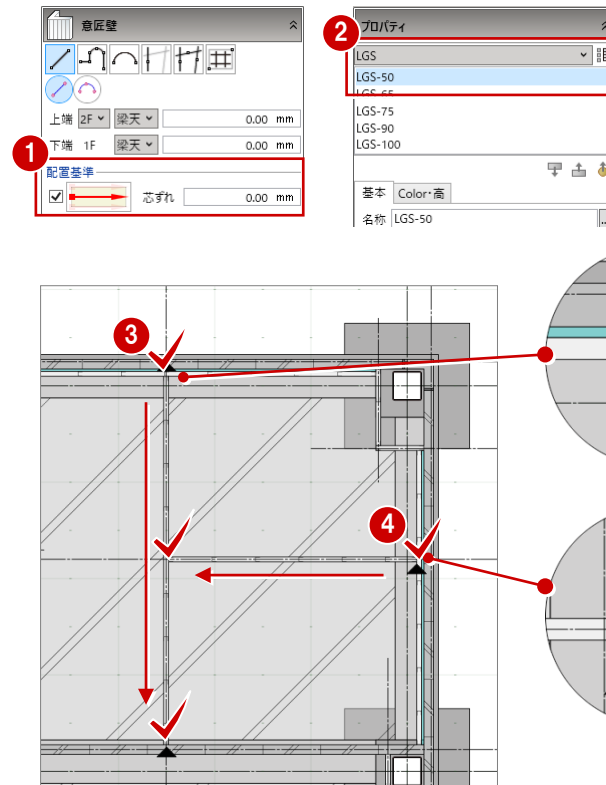


トイレ・階段部分に入力する

続けて、トイレ界壁（t=50）、階段部分に手摺壁（t=65）として LGS 壁を入力します。

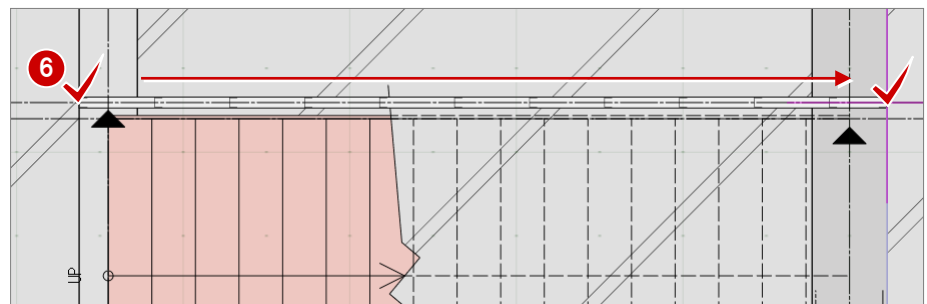
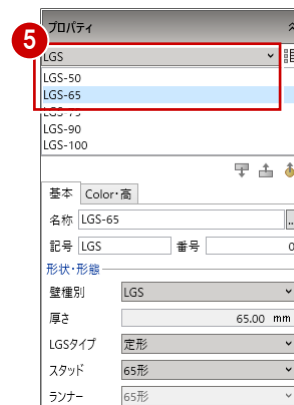
トイレ

- ① 次のように下端、配置基準を変更します。
配置基準：中央
面寄り：0 mm
- ② 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「LGS」の「LGS t=50」を選びます。
- ③④ 壁の始点と終点の位置をクリックします。



階段部分

- ⑤ 続けて、「プロパティ」パネルにてテンプレートから「LGS」の「LGS t=65」を選びます。
- ⑥ 壁の始点と終点の位置をクリックします。



4 内部仕上仕様を登録する

GLOOBE では、まず各室の床、内壁、天井など内部の仕上仕様を検討します。その後、モデルデータに室（スペース）を入力すると、仕上仕様で設定された仕上、下地が自動的に配置されます。

※ PS について

PS のような仕上が発生しない室は、仕上仕様には登録せず、モデルデータにスペースのみを入力します。

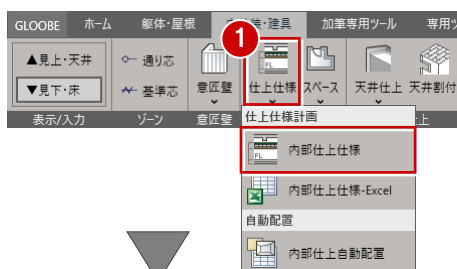
PS のスペースがないと、PS に接する内壁が外周部と判定され、外部扱いになってしまうため、PS などスペースを入力してください。

階	配置図	室名	基本		種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	床仕上	
			床高 F1±(mm)	天井高(mm)						仕上バース	仕上バース種別
4F		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニルシート	2.00	ビニル			
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00	タイル			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50	カーペット			
3F		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニルシート	2.00	ビニル			
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00	タイル			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50	カーペット			
2F		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニルシート	2.00	ビニル			
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00	タイル			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50	カーペット			
1F		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニルシート	2.00	ビニル			
		ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00	タイル			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50	カーペット			

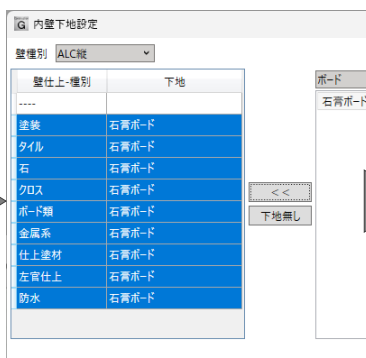
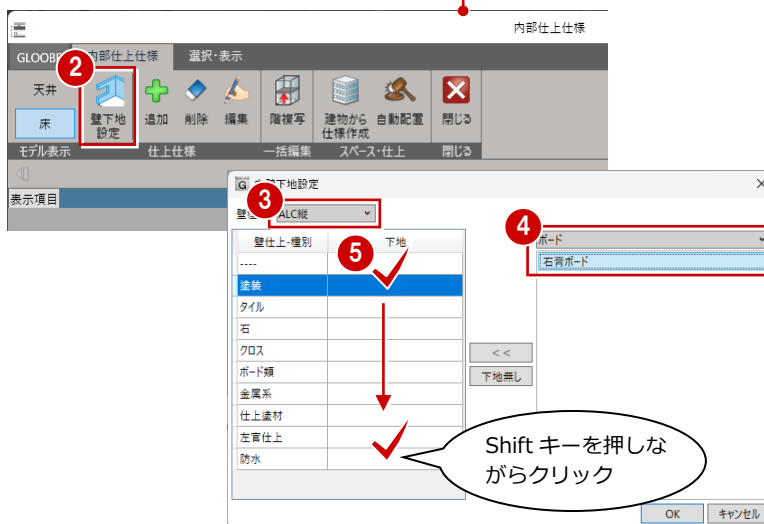
4-1 壁種別ごとの壁下地を設定する

ALC や LGS といった壁ごとに、タイル、クロスといった内壁仕上ごとに、どの下地を設定するかを設定します。スペース入力時に、内壁仕上と同時に下地が自動配置されます。

- 1 「仕上仕様」メニューから「内部仕上仕様」を選びます。
- 2 「壁下地設定」をクリックします。
- 3 「壁種別」から「ALC 縦」を選びます。
- 4 右のボックスより下地を選びます。
ここでは「ボード」の「石膏ボード」を選びます。
- 5 左の種別一覧にて、「塗装」をクリックして、Shift キーを押しながら「防水」をクリックします。
- 6 「<<」をクリックすると、指定した壁種別に「石膏ボード」が割り当てられます。
- 7 同様に、「LGS」に対しても「石膏ボード」を割り当てます。
- 8 「OK」をクリックして確定します。



「内部仕上仕様」ウィンドウが開きます。



4-2 室ごとに内部仕上仕様を登録する

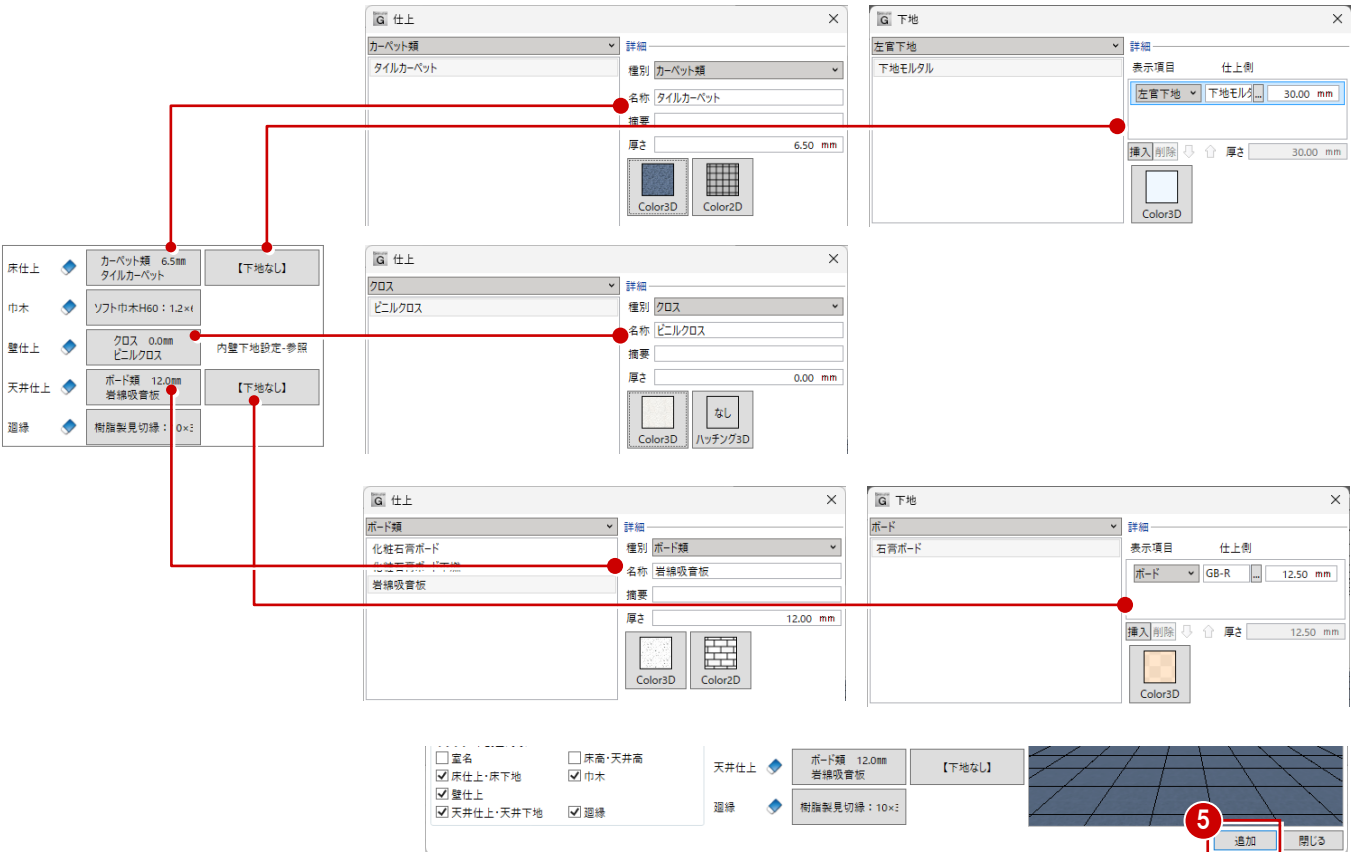
テンプレートを利用して、各室の部位ごとに仕上、下地を設定します。
この仕上仕様をもとに、スペース入力時に仕上・下地を自動配置できます。

階	配置図	基本		床仕上						
		室名	床高FL±(mm)	天井高(mm)	種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	仕上ベース
4F		トイレ	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床シート	2.00			
		ホール	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床タイル	2.00			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50			
3F		トイレ	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床シート	2.00			
		ホール	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床タイル	2.00			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50			
2F		トイレ	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床シート	2.00			
		ホール	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床タイル	2.00			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50			
1F		トイレ	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床シート	2.00			
		ホール	0.00	2700.00	ビル床系	ビル床タイル	2.00			
		事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50			

事務室の仕様を追加する

ここでは、事務室の仕上仕様を登録します。

- ① 「スペース仕様追加」をクリックします。
- ② テンプレート「■施工詳細マニュアル用」から「事務室」を選びます。
- ③ 室名、天井高などを設定します。
階：1F
室名：事務室
床高：0 mm
天井高：2700 mm
- ④ 各部位のボタンをクリックして、テンプレートから仕上、下地を設定します。
本書では、初期値のままとします。
- ⑤ 「追加」をクリックすると、仕上仕様一覧に追加されます。



ホールの仕様を追加する

同様の手順書で、ホール、トイレの仕上仕様を登録します。

① テンプレート「■施工詳細マニュアル用」から「ホール」を選びます。

② 室名、天井高などを設定します。

階：1F
室名：ホール
床高：0 mm
天井高：2700 mm

③ 「各部位のボタンをクリックして、テンプレートから仕上、下地を設定します。
本書では、初期値のままとします。

④ 「追加」をクリックして確定します。

⑤～⑦ ここでは、トイレと同じ仕上仕様で追加します。

⑧ 「閉じる」をクリックして、ダイアログを閉じます。



表示項目	階	配置済	基本			種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	仕上
			室名	床高FL±(mm)	天井高(mm)						
	1F		トイレ	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニル床シート	2.00			
			ホール	0.00	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			
			事務室	0.00	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50			

スペースの仕上仕様を編集・削除するには

仕上仕様一覧で、対象の行を選んで、「スペース仕様削除」「スペース仕様編集」をクリックします。



補足 仕上仕様の変更方法

仕上仕様一覧からでも仕様、厚さ、素材などを変更することができます。
ここでは、素材の変更方法について紹介します。

素材を変更する

- ① 仕上仕様一覧の「ホール」の「床仕上」にある「素材」を選び、「▼」をクリックします。また。
- ②～④ ここでは、素材パネルから「3D カタログ」をクリックして、3D カタログマスから素材を選びます。
- ⑤ 素材パネルの「x」をクリックします。

表示項目

階	配置済	基本				床仕上				
		室名	天井高(mm)	種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	ベース層	ベース層名称
1F		事務所	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50				
		ホール	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00				
		トイレ	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00				

3Dカタログマテリアルの追加

用途: 内装材・タイル・石材
メーカー: FUKUI COMPUTER
シリーズ: (すべて)
検索数: 68 個

タイル224×150... 石畳 白 石畳 黒
砂岩調タイルグ... 砂岩調タイルブ... 砂岩調タイルバ...
石割調 グレー 石割調 茶 石割調 白

OK キャンセル

種類: ☐ 単色 ☒ テクスチャ
サンプル: [Image]

テクスチャ一覧

- 標準 - カーペット 3 500 × 500 mm AM
- 標準 - エンボス2 320 × 320 mm AM
- 標準 - 洋風天井10 100 × 100 mm AM
- 標準 - クッションフロア-13 600 × 600 mm AM
- 標準 - 造作材縦9 360 × 360 mm AM
- FUKUI COMPUTER - 造作材 カリン (縦) 300 × 300 mm 3Dカタログ
- FUKUI COMPUTER - 砂岩調タイル グレー 600 × 600 mm 3Dカタログ

3Dカタログ AM ファイル

種類: ☐ 単色 ☒ テクスチャ
サンプル: [Image]

テクスチャ一覧

- 標準 - クッションフロア-13 600 × 600 mm AM
- 標準 - 造作材縦9 360 × 360 mm AM
- FUKUI COMPUTER - 造作材 カリン (縦) 300 × 300 mm 3Dカタログ
- FUKUI COMPUTER - 砂岩調タイル グレー 600 × 600 mm 3Dカタログ

表示項目

階	配置済	基本				床仕上				
		室名	天井高(mm)	種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	ベース層	ベース層名称
1F		事務所	2700.00	カーペット類	タイルカーペット	6.50				
		ホール	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00				
		トイレ	2700.00	ビニル床系	ビニル床タイル	2.00				

素材を複写するには

素材を右クリックして「コピー」「貼り付け」を利用することで、素材を複写することができます。

右クリック

コピー
貼り付け
設定コピー
シミュレーション

床仕上

種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	ベース層
カーペット類	タイルカーペット	6.50			
ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			
ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			

床仕上

種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	ベース層
カーペット類	タイルカーペット	6.50			
ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			
ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			

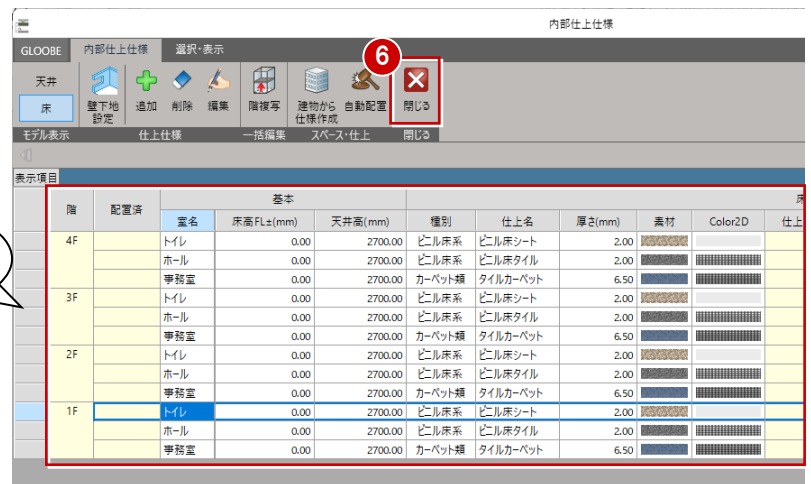
床仕上

種別	仕上名	厚さ(mm)	素材	Color2D	ベース層
カーペット類	タイルカーペット	6.50			
ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			
ビニル床系	ビニル床タイル	2.00			

4-3 他階に仕上仕様を複写する

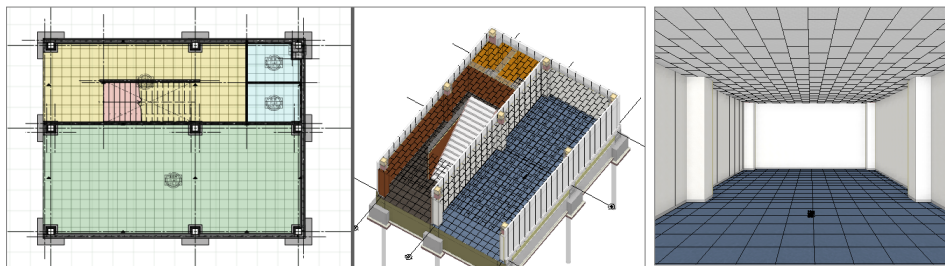
1Fに登録した仕上仕様を、2F～4Fに複写します。

- ①「階複写」をクリックします。
- ② 1Fを複写するため、「複写元」を「1F」に変更します。
- ③「複写先」で「2F」が選ばれていることを確認して、Ctrl キーを押しながら「3F」「4F」をクリックします。
- ④「対象」で複写するスペースを選択します。
- ※ Ctrl キーを押しながら複数選択します。
- ⑤「OK」をクリックします。
- ⑥「閉じる」をクリックして、ウィンドウを閉じます。



4-4 スペースを入力して内部仕上を確認する

「内部仕上仕様」にてスペースの仕上仕様が登録されていると、スペース入力時にテンプレートから仕様を選択でき、スペースの入力と同時に仕上が自動配置されます。

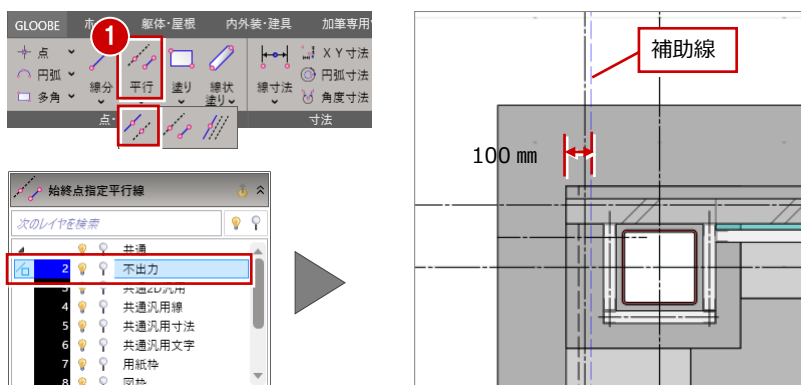


スペースを入力する

補助線を入力する

- 「CAD 編集」タブの「平行線」メニューから「始終点指定平行線」を使って、通り芯 X1 付近の梁面から 100 mm の位置に補助線を入力します。

※ この位置は、カーテンウォールの内面の位置になります。



ホールを入力する

- 「スペース」メニューから「スペース」を選びます。

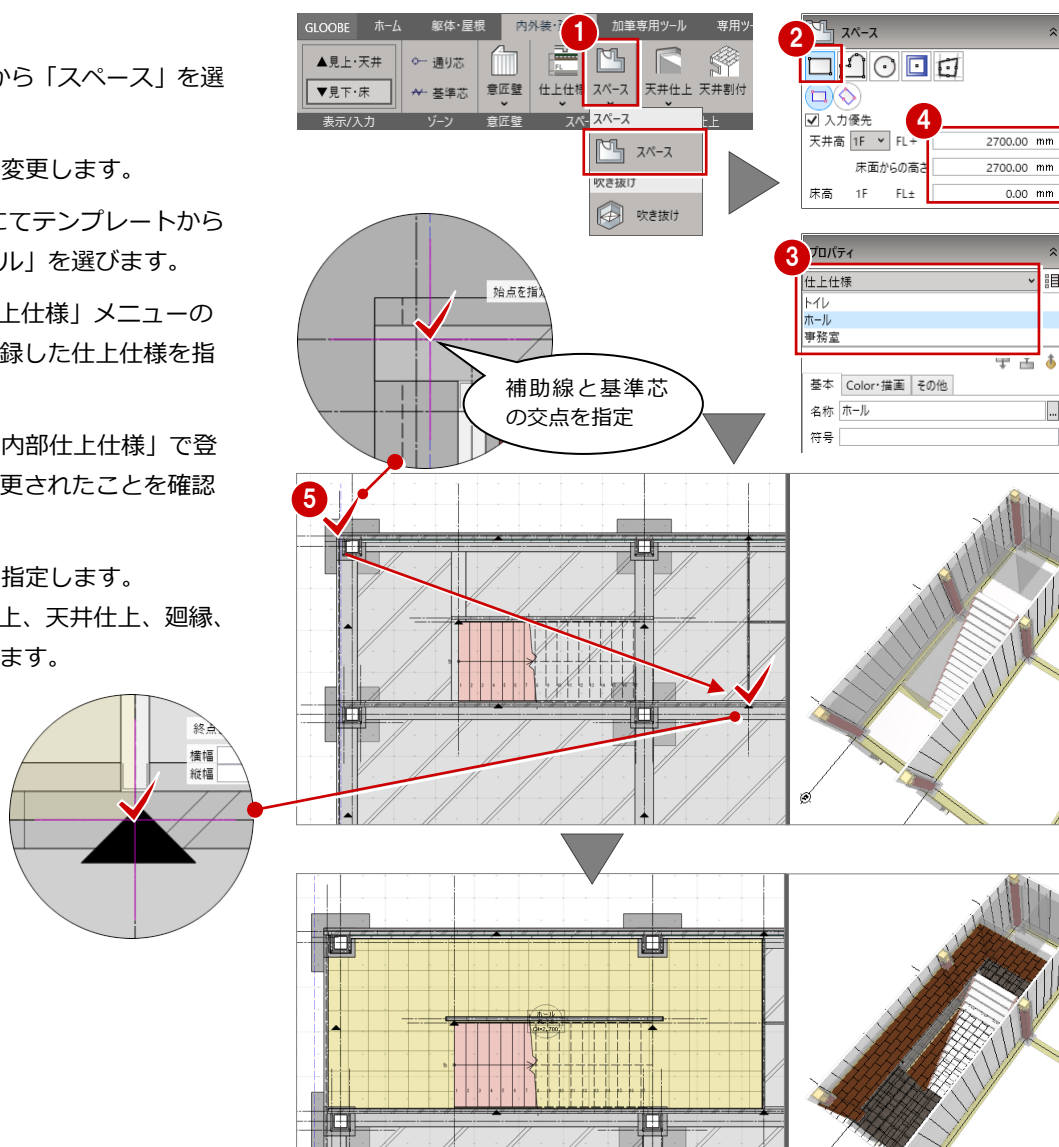
- 入力方法を「矩形」に変更します。

- 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「仕上仕様」の「ホール」を選びます。

※ 「仕上仕様」とは、「仕上仕様」メニューの「内部仕上仕様」で登録した仕上仕様を指します。

- 「天井高」「床高」が「内部仕上仕様」で登録されている内容に変更されたことを確認します。

- スペースの入力範囲を指定します。
床仕上、巾木、内壁仕上、天井仕上、廻縁、各下地が自動配置されます。



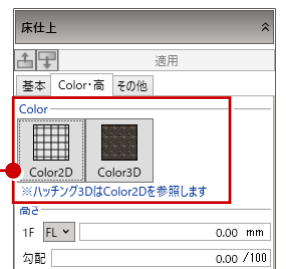
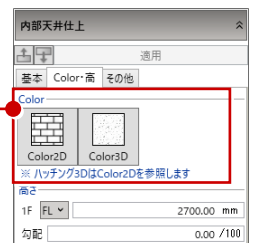
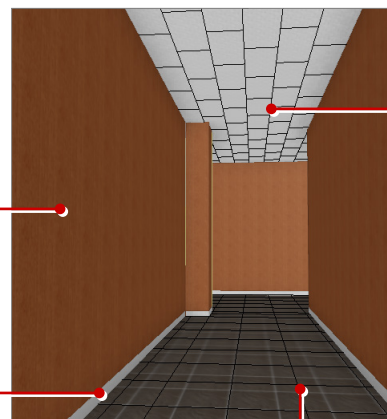
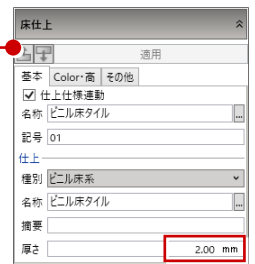
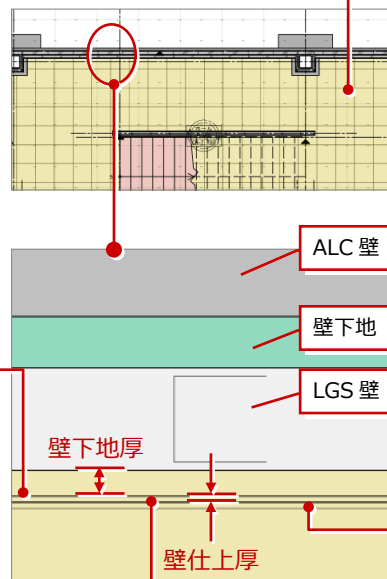
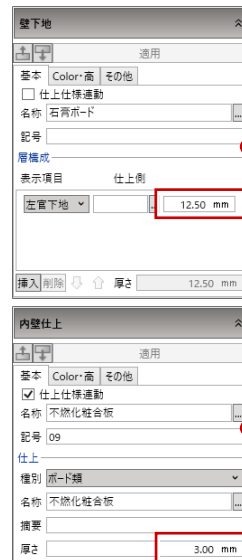
自動配置された仕上を確認する

入力したホールに対して、自動配置された壁仕上、下地等を確認します。

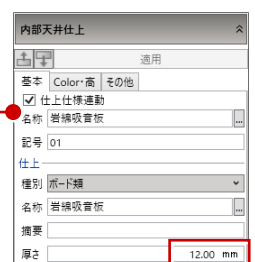
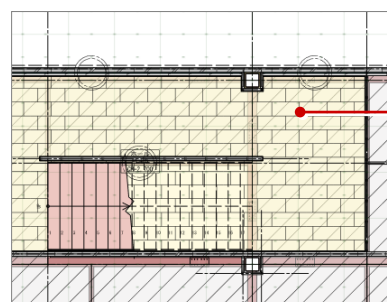
なお、スペース仕上表は、配置されている仕上・下地データをもとに作成されます。



平面ビューで床仕上を確認する場合は、表示モードを「▼見下・床」に切り替えます。



平面ビューで天井仕上を確認する場合は、表示モードを「▲見上・天井」に切り替えます。

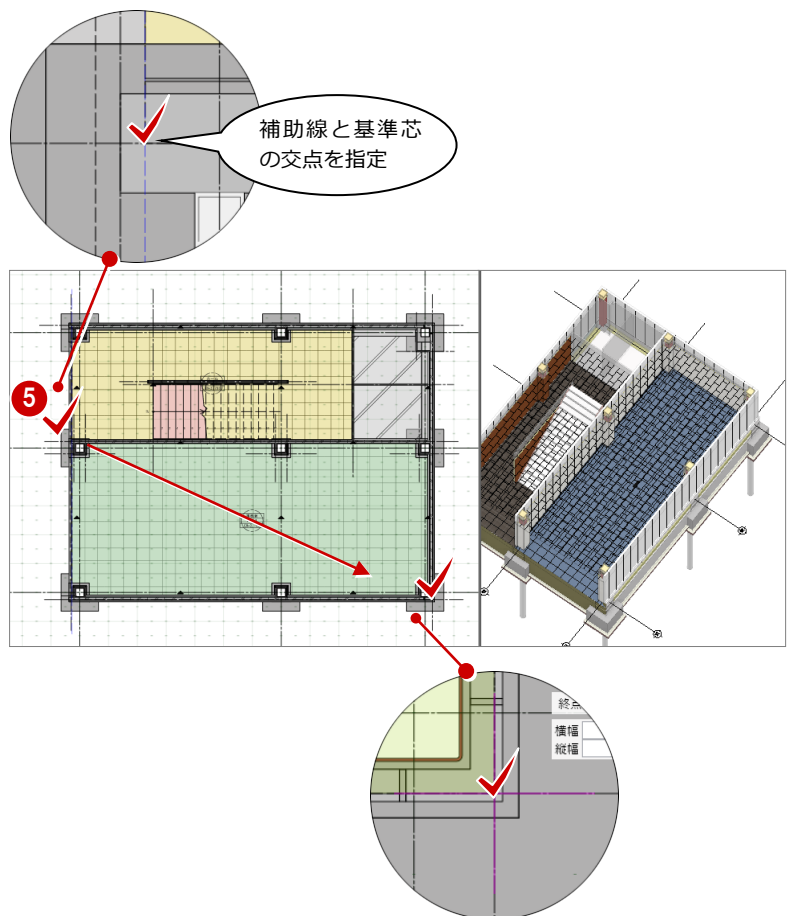
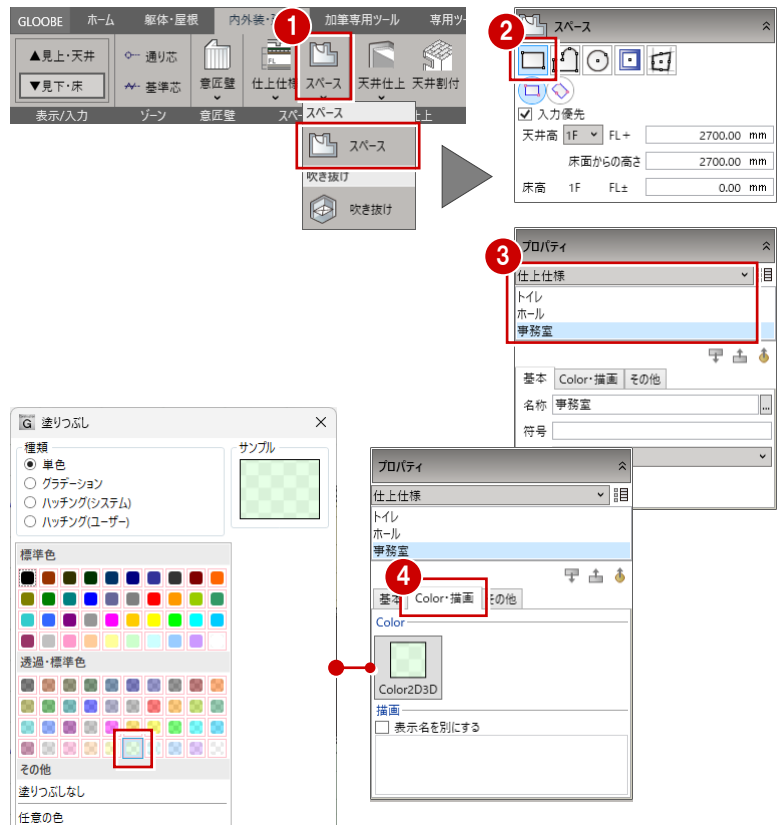


事務室・トイレを入力する

ここでは、ホール、事務室、トイレの入力範囲を識別できるように、平面ビューの色を変更して入力します。

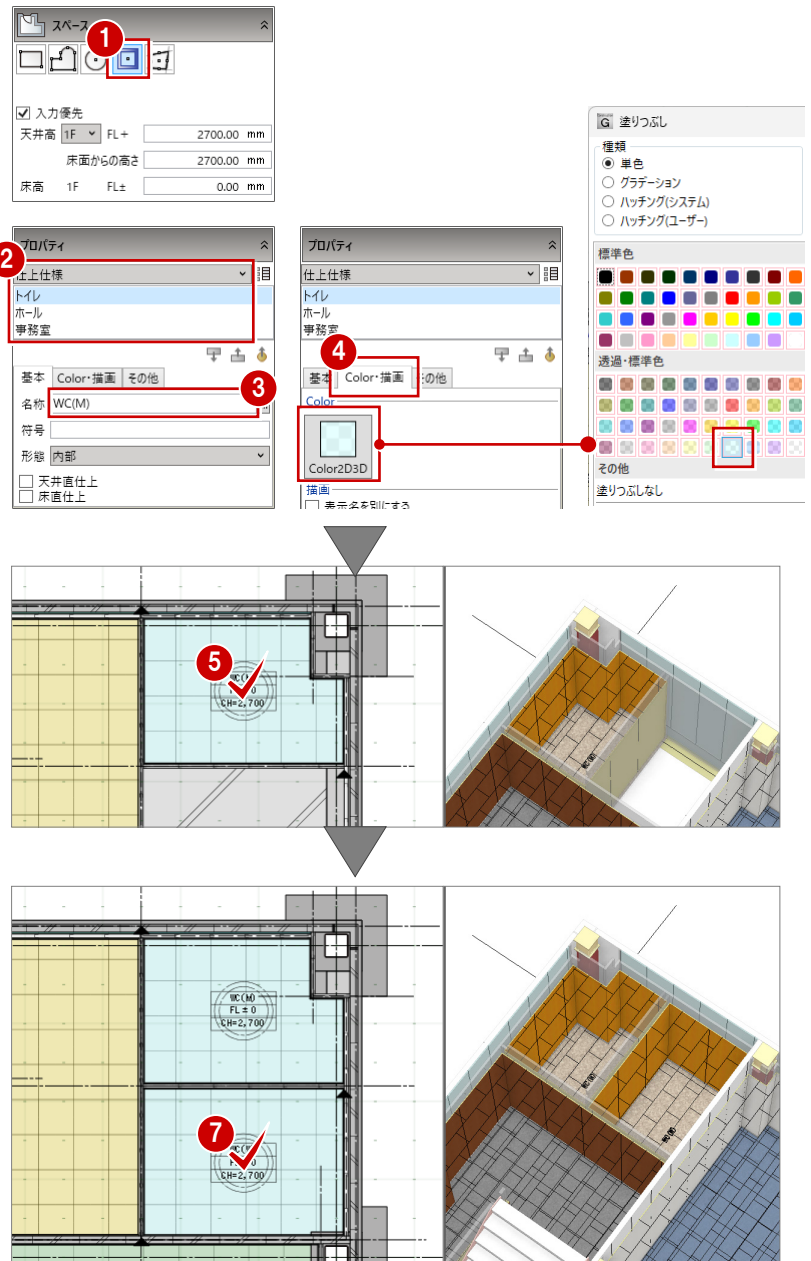
事務室を入力する

- ① 「スペース」メニューから「スペース」を選びます。
- ② 入力方法を「矩形」に変更します。
- ③ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「仕上仕様」の「事務室」を選びます。
- ④ 「Color・描画」タブの「Color2D3D」をクリックして描画色を変更します。
- ⑤ スペースの入力範囲を指定します。



トイレを入力する

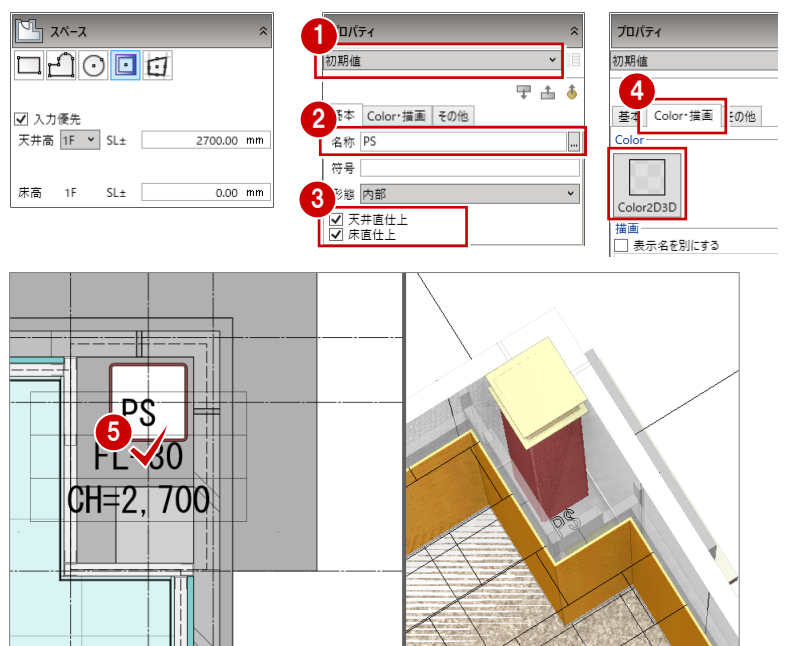
- ① 入力方法を「壁閉領域参照」に変更します。
- ② 続けて、「プロパティ」パネルにてテンプレートから「仕上仕様」の「トイレ」を選びます。
- ③ 「基本」タブの「名称」を「WC (M)」に変更します。
- ④ 「Color・描画」タブの「Color2D3D」をクリックして描画色を変更します。
- ⑤ 壁に囲まれた領域をクリックします。
- ⑥ 続けて、テンプレート、Color2D3D はそのまま、「基本」タブの「名称」を「WC (W)」に変更します。
- ⑦ 壁に囲まれた領域をクリックします。



PS を入力する

PS には仕上仕様ががないため、「内部仕上仕様」には登録していません。このような場合は、以下のように入力します。

- ① 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「初期値」を選びます。
- ② 「基本」タブの「名称」に「PS」と入力します。
- ③ 「天井直仕上」「床直仕上」を ON にします。
- ④ 「Color・描画」タブの「Color2D3D」をクリックして描画色を変更します。
- ⑤ 壁に囲まれた領域をクリックします。



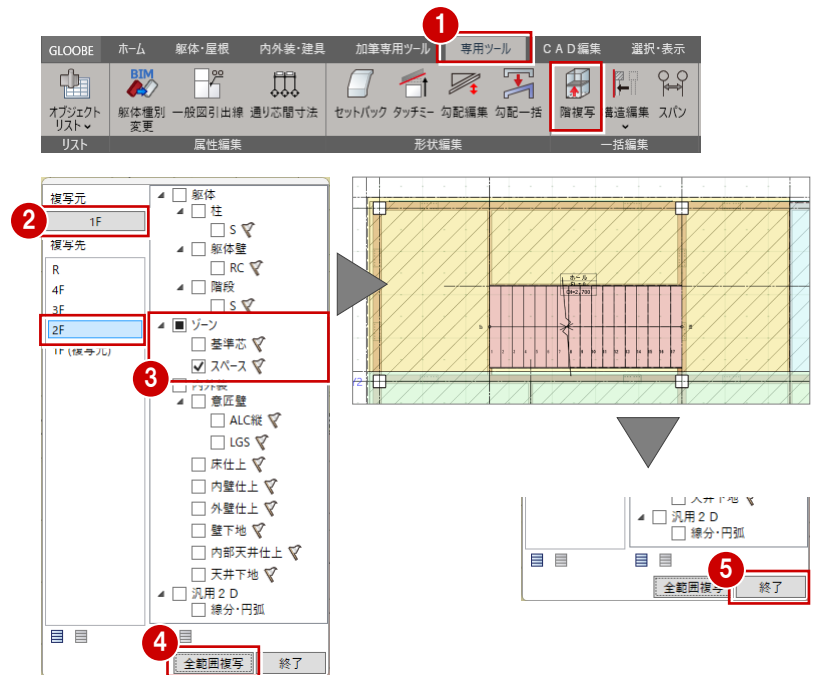
吹き抜けを入力する

次に、階段部分には、ホールの天井仕上が作成されているため、吹き抜けを作成します。

その前に、上方への吹き抜けの入力には、上階にスペースが入力されている必要があります。まずは、2階に1階スペースを複写します。

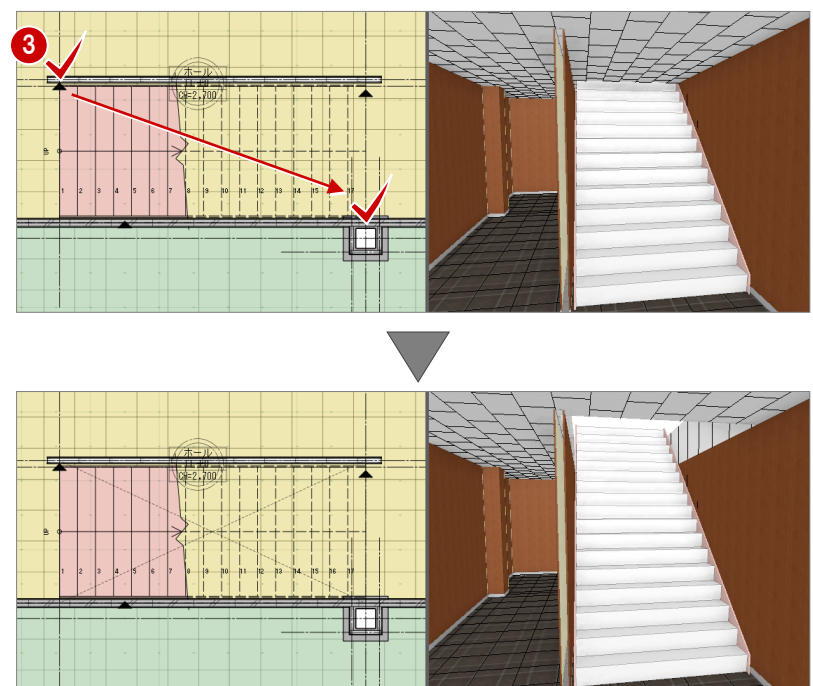
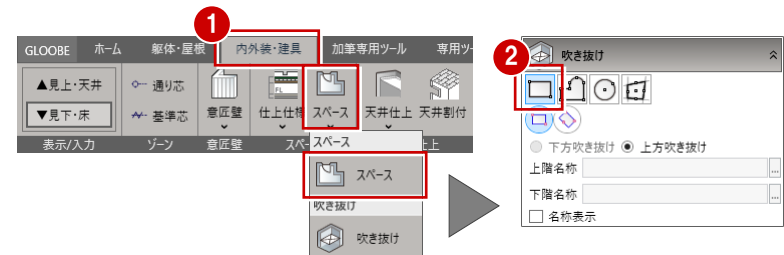
2階にスペースを複写する

- 1 「専用ツール」タブをクリックして、「階複写」を選びます。
- 2 「複写元」を「1F」に、「複写先」を「2F」に変更します。
- 3 ダイアログ右側にて、「スペース」のみチェックをONにします。
- 4 「全範囲複写」をクリックします。
- 5 「終了」をクリックして、ダイアログを閉じます。



吹き抜けを入力する

- 1 「内外装・建具」タブの「スペース」メニューから「吹き抜け」を選びます。
- 2 入力方法を「矩形」に変更します。
- 3 吹き抜けの入力範囲を指定します。
吹き抜け領域が入力され、天井仕上が開口されます。



4-5 外壁仕上を入力する

① 「壁仕上」メニューから「外壁仕上」を選びます。

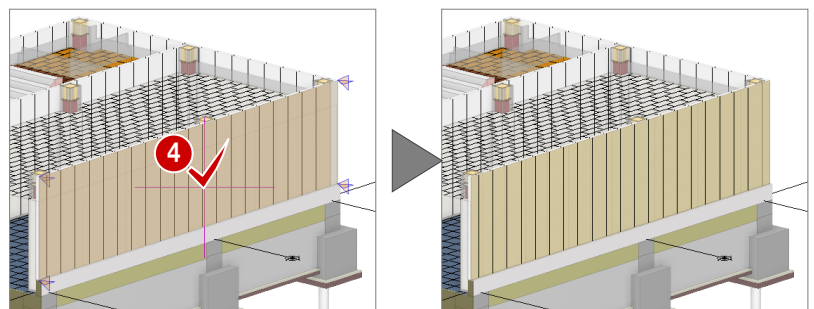
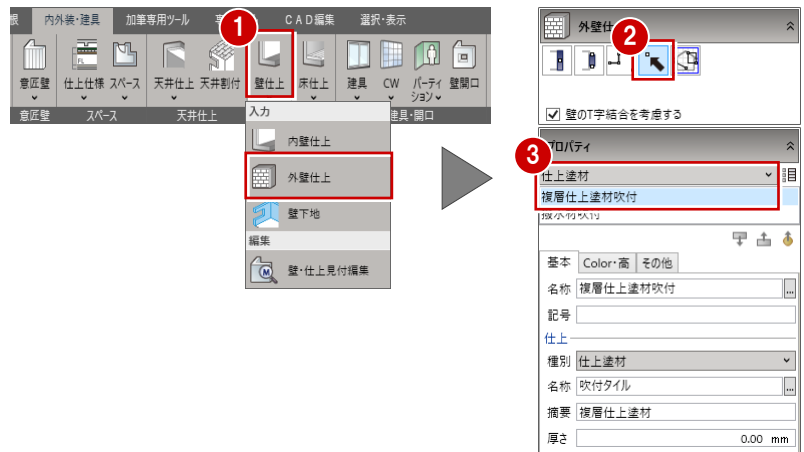
② 入力方法を「面指定」に変更します。

③ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「仕上塗材」の「複層仕上塗材吹付」を選びます。

④ 3D ビューで壁面 (ALC) をクリックします。

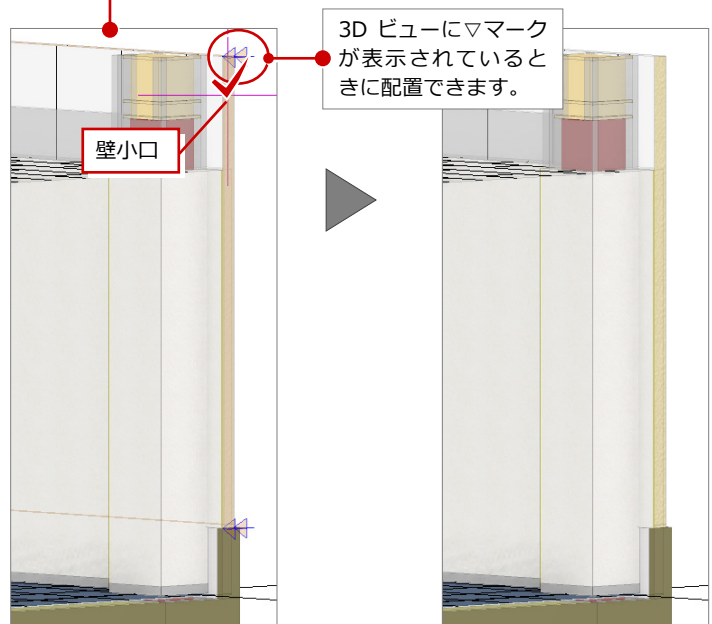
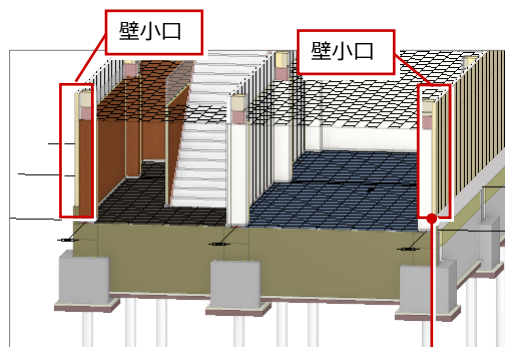
※ 同様に、残りの壁面を指定して、1 階部分に外壁仕上を配置します。

※ 壁小口部分にも仕上を配置します。



平面ビューで壁面を指定する

平面ビューにて壁面を指定して入力したい場合は、入力方法「1 点参照」を使用します。壁面にマウスカーソルを移動すると、「表」「裏」が表示されます。外部側が「表」であることを確認してクリックします。



5 建具リストを登録する

テンプレートを利用して建具を登録し、モデルデータに入力していきます。

AD1	片開きドア	AW1	引き違い窓	AW2	縦すべり窓	LD1	片開きドア	LD2	片開きドア	LD3	親子開きガラスドア
W = 900	H = 2450	W = 3490	H = 1550	W = 900	H = 1100	W = 1070	H = 2100	W = 750	H = 2000	W = 1670	H = 2100

【骨材質：アルミニウム】

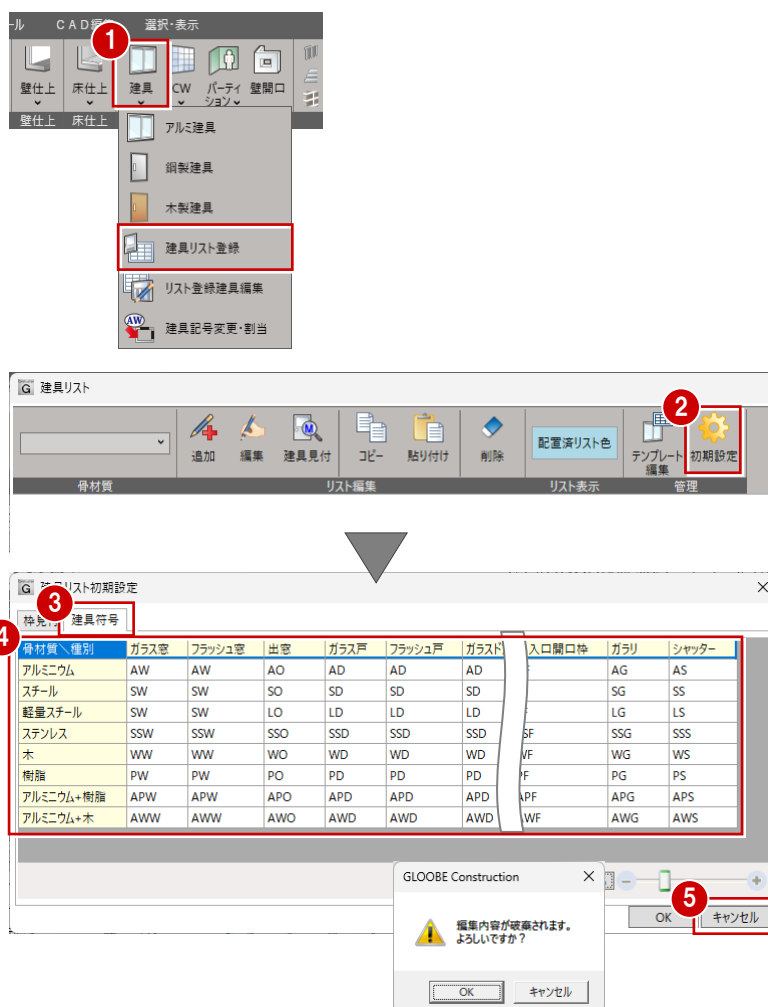
LD1	片開きドア	LD2	片開きドア	LD3	親子開きガラスドア
W = 1070	H = 2100	W = 750	H = 2000	W = 1670	H = 2100

【骨材質：軽量スチール】

5-1 建具リストを追加する

建具符号を確認する

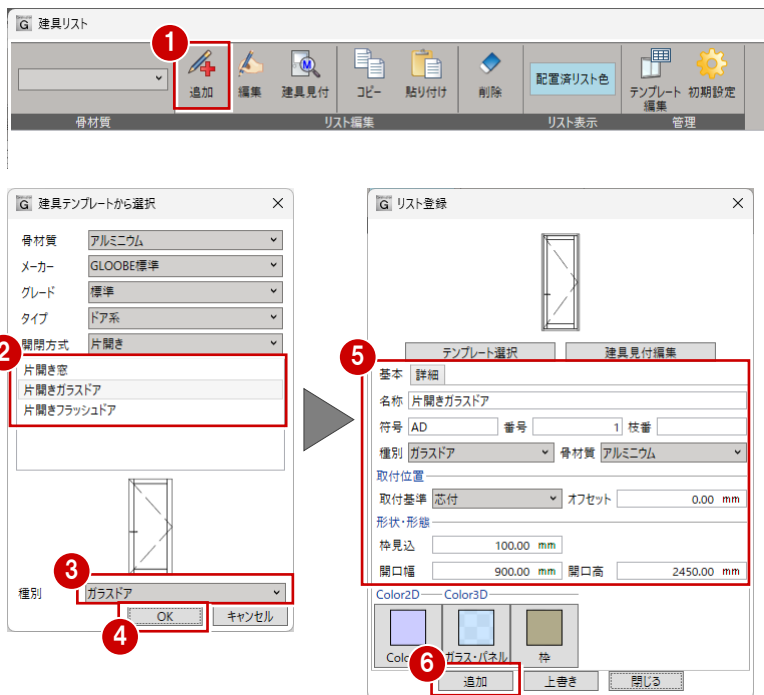
- 「建具」メニューから「建具リスト登録」を選びます。
「建具リスト」ウィンドウが表示されます。
- 「初期設定」をクリックします。
- 「建具リスト初期設定」ダイアログの「建具符号」タブをクリックします。
- 骨材質（アルミニウムなど）と建具種別（ガラス窓など）に応じた符号を確認します。
- ここでは確認のためのため、「キャンセル」をクリックし、確認画面で「OK」をクリックします。



建具リストを追加する

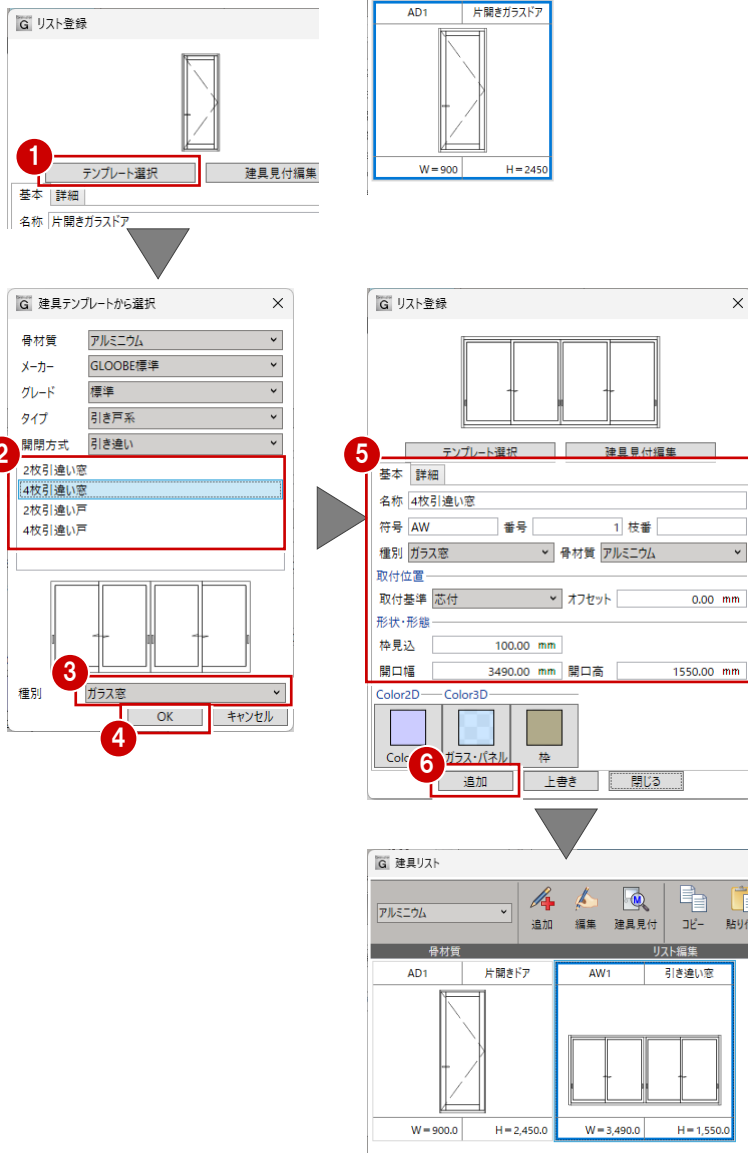
片開きドア（アルミ）を登録する

- 「建具リスト追加」を選びます。
- ここでは、「建具リスト追加」ダイアログで右図のように骨材質など条件を指定して、テンプレートから「片開きガラスドア」を選びます。
- 「種別」から「ガラスドア」を選びます。
- 「OK」をクリックします。
- 「リスト登録」ダイアログの「基本」タブで符号、番号、開口幅、開口高を確認・変更します。
- 「追加」をクリックします。
建具がリストに登録されます。



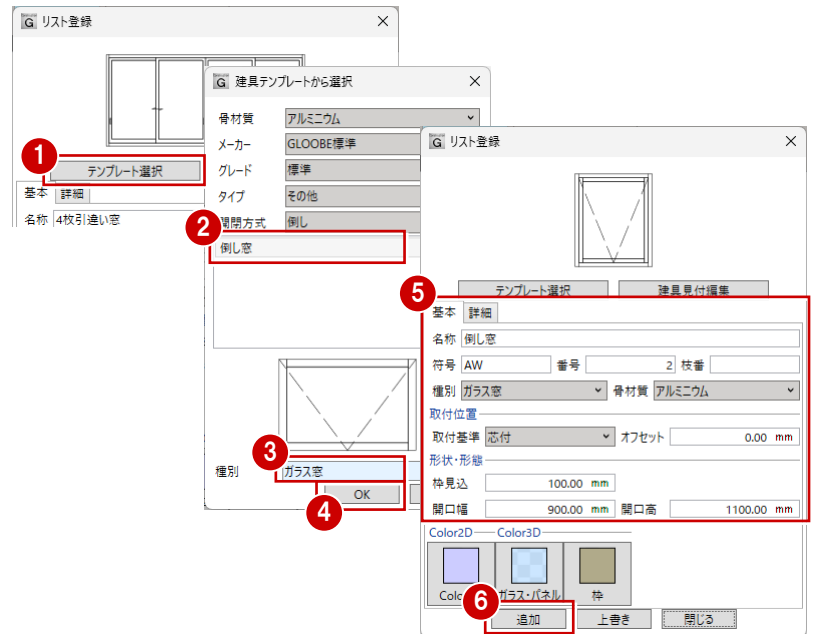
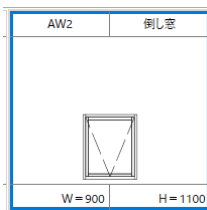
4枚引き違い窓（アルミ）を登録する

- 続けて、「リスト登録」ダイアログの「テンプレート選択」をクリックします。
- ここでは、「建具リスト追加」ダイアログで右図のように骨材質など条件を指定して、テンプレートから「4枚引き違い窓」を選びます。
- 「種別」から「ガラス窓」を選びます。
- 「OK」をクリックします。
- 「リスト登録」ダイアログの「基本」タブで符号、番号、開口幅、開口高を確認・変更します。
- 「追加」をクリックします。
建具がリストに登録されます。



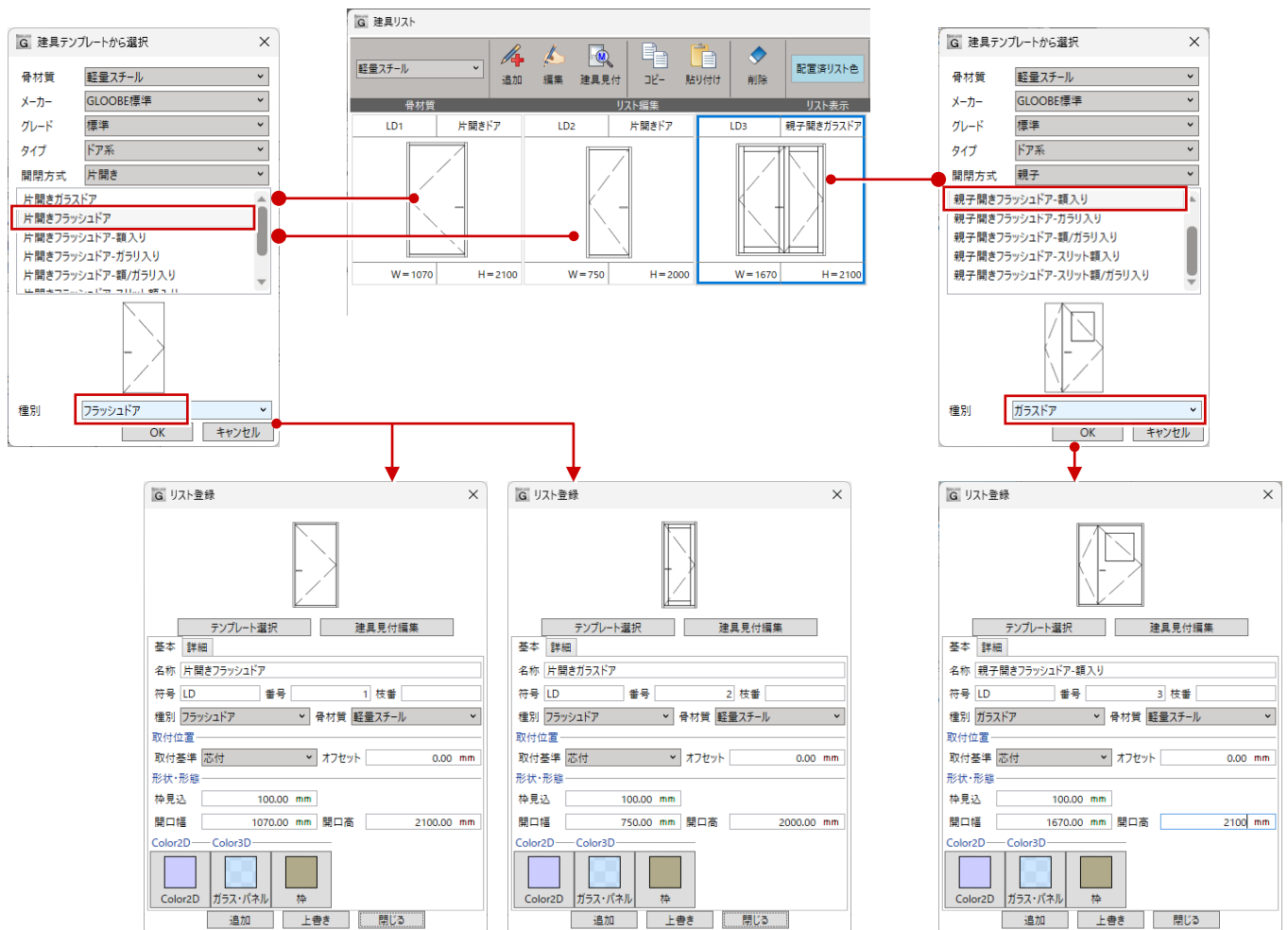
縦すべり窓（アルミ）を登録する

同様な手順で、テンプレートから「倒し窓」を選んで、縦すべり窓（ガラス窓）を登録します。



片開きドア（軽量スチール）を登録する

室内建具の片開きドア、親子開きドアを登録します。

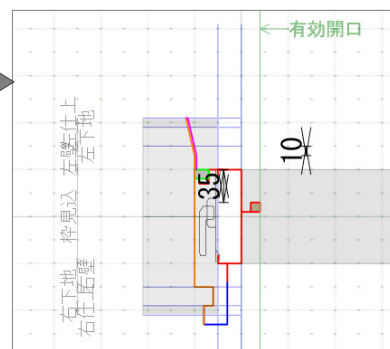
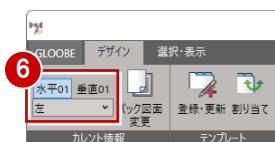
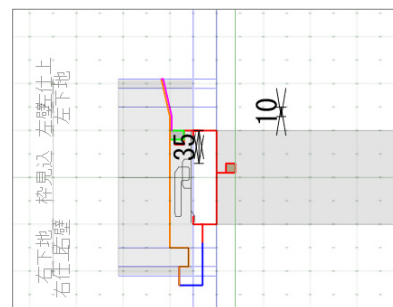
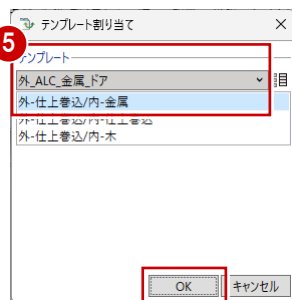
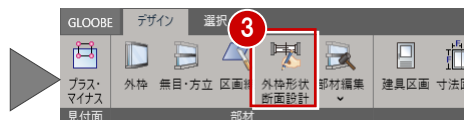
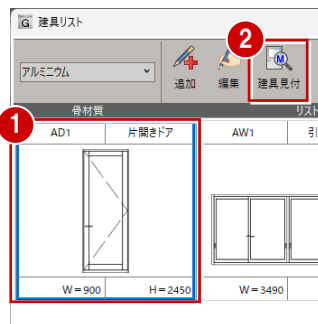


5-2 外枠形状を割り当てる

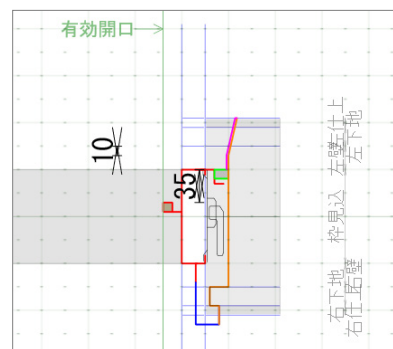
建具テンプレートには、外枠形状が割り当てられていません。ここでは、建具ごとに外枠形状をテンプレートから割り当てます。

外枠を割り当てる

- 1 一覧から建具をクリックします。
- 2 「建具見付編集」をクリックします。
- 3 「建具見付編集」ウィンドウの「外枠形状断面設計」をクリックします。
- 4 「建具見付編集」ウィンドウの「テンプレート割り当て」をクリックします。
- 5 ここでは、テンプレートから「外_ALC_金属_ドア」の「外-仕上巻込/内-金属」を選んで「OK」をクリックします。
外枠が割り当てられます。
- 6 「カレント情報」の「水平」「垂直」を切り替えて、各部位の外枠形状を確認します。



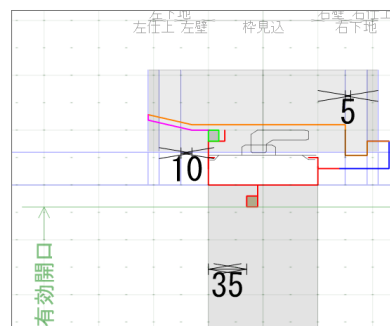
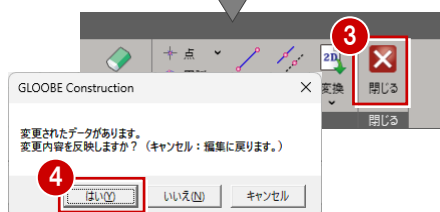
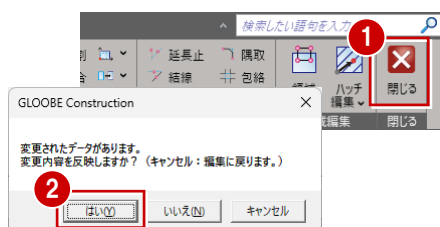
【水平：左】



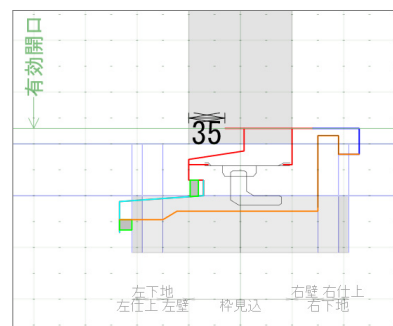
【水平：右】

外枠形状を保存する

「建具見付編集」「外枠形状断面設計」ウィンドウの「閉じる」をクリックして保存します。



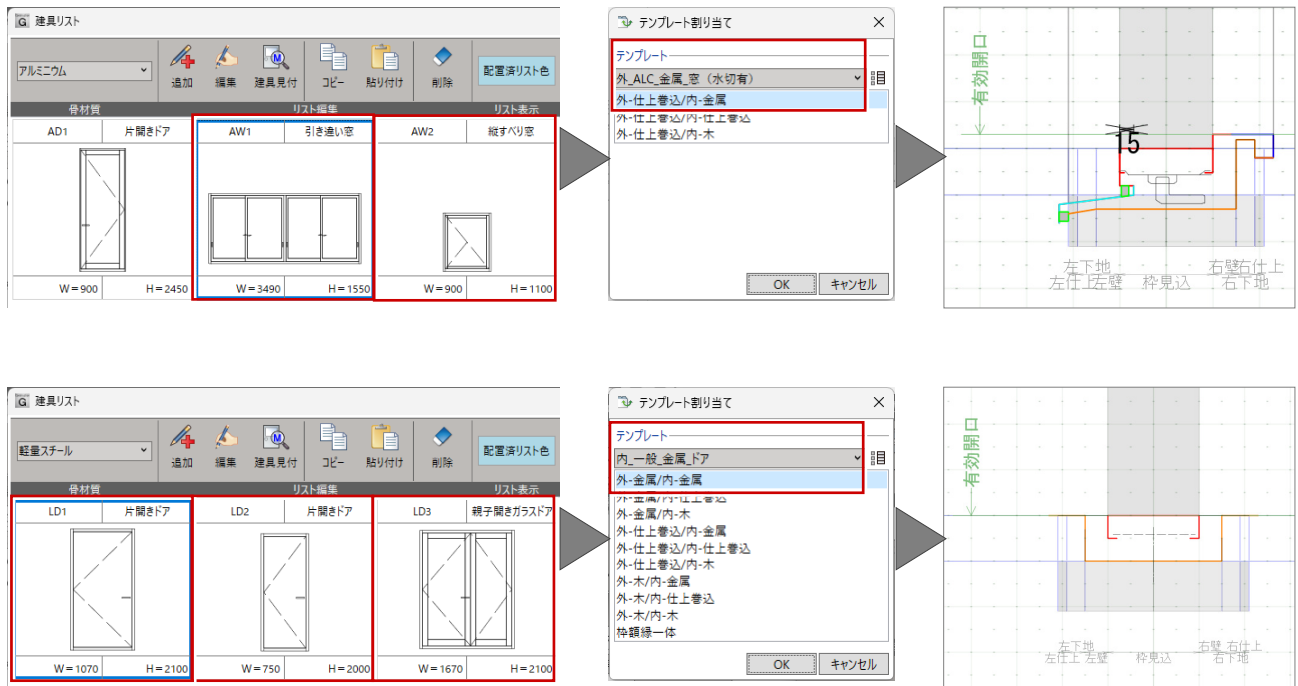
【垂直：上】



【垂直：下】

残りの建具に外枠を割り当てる

同様に、残りの建具にも外枠形状テンプレートを割り当てます。



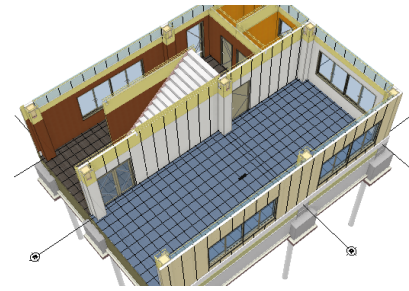
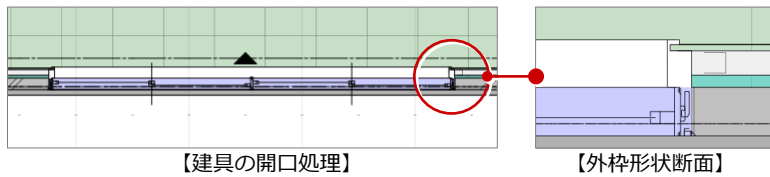
建具リストを保存する

建具リストの登録が完了したら、「OK」をクリックして保存します。



5-3 建具を入力する

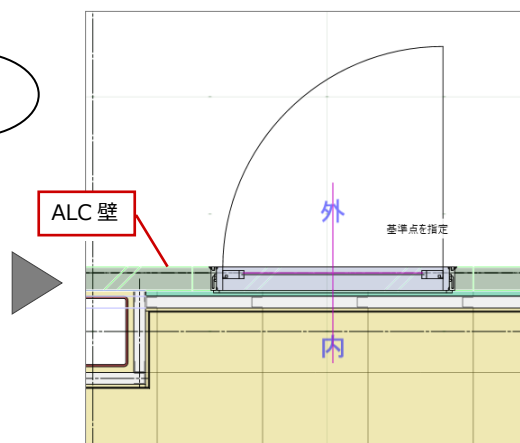
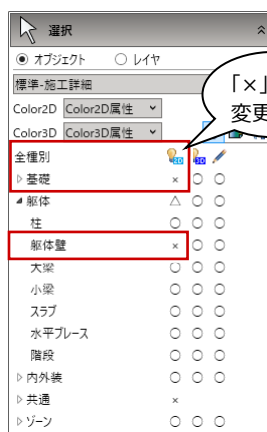
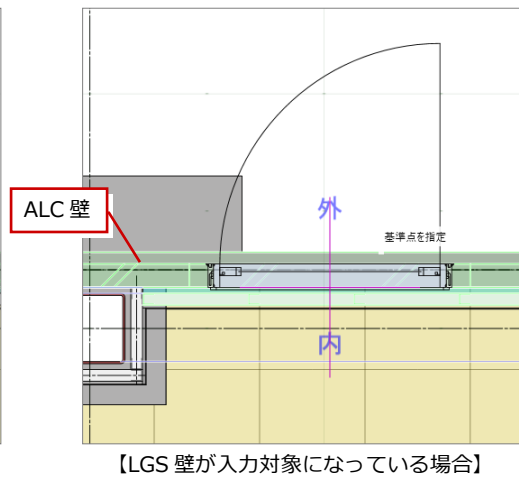
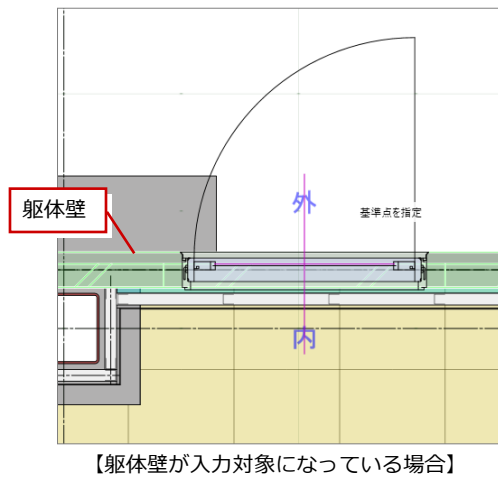
建具リストに登録した建具を入力します。



平面ビューの表示を変更する

本書では、ALC 壁、LGS 壁に対して建具を入力しますが、1 階部分には躯体壁（高さ SL+450）の上に ALC 壁が入力されており、躯体壁が対象になってしまう場合もあります。

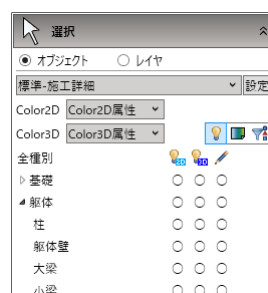
ここでは、建具を入力しやすくするよう平面ビューで、基礎部材、躯体壁を非表示にしてから建具を入力します。



基礎部材、躯体壁を一旦非表示にすることで、ALC 壁に建具を入力しやすくなります。

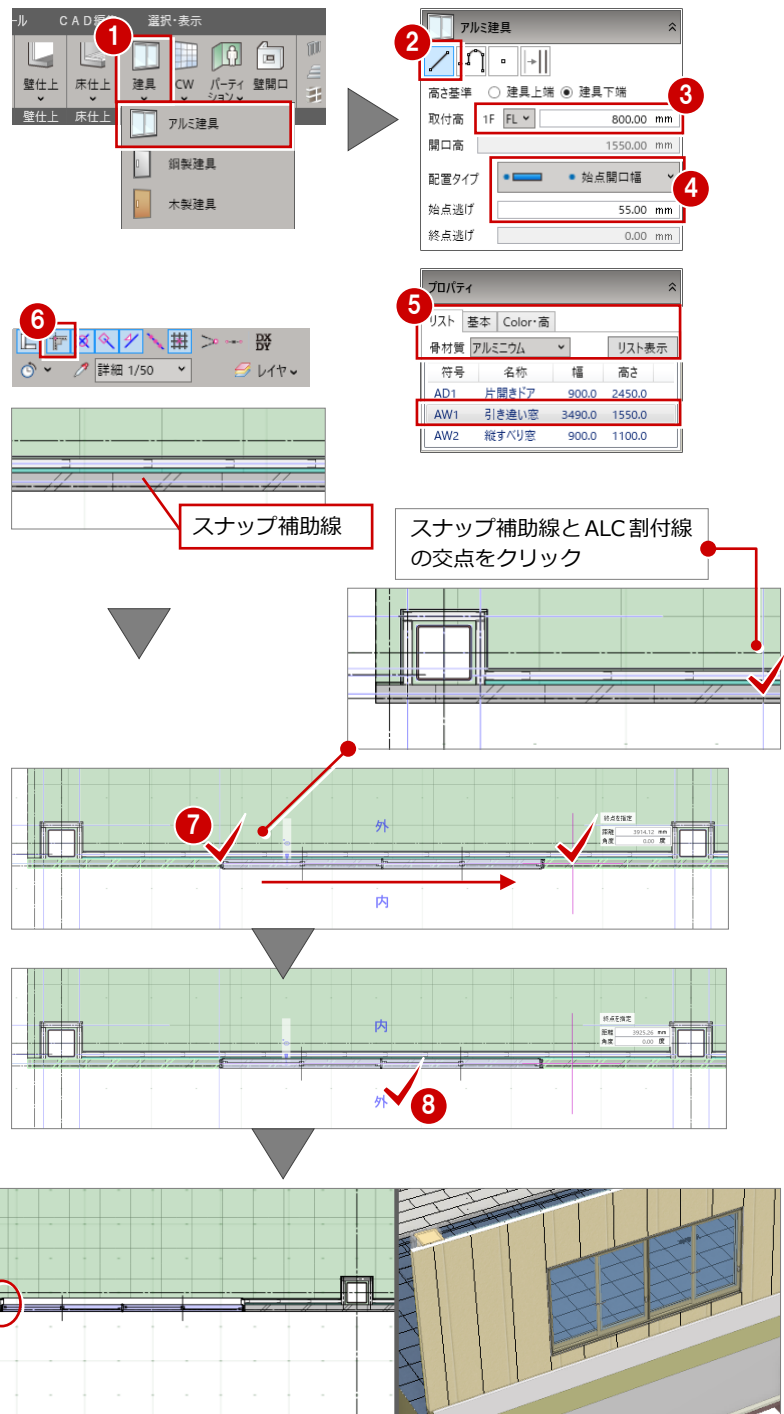
建具の入力を終えたら

基礎部材、躯体壁の表示を「○」に戻しておきます。

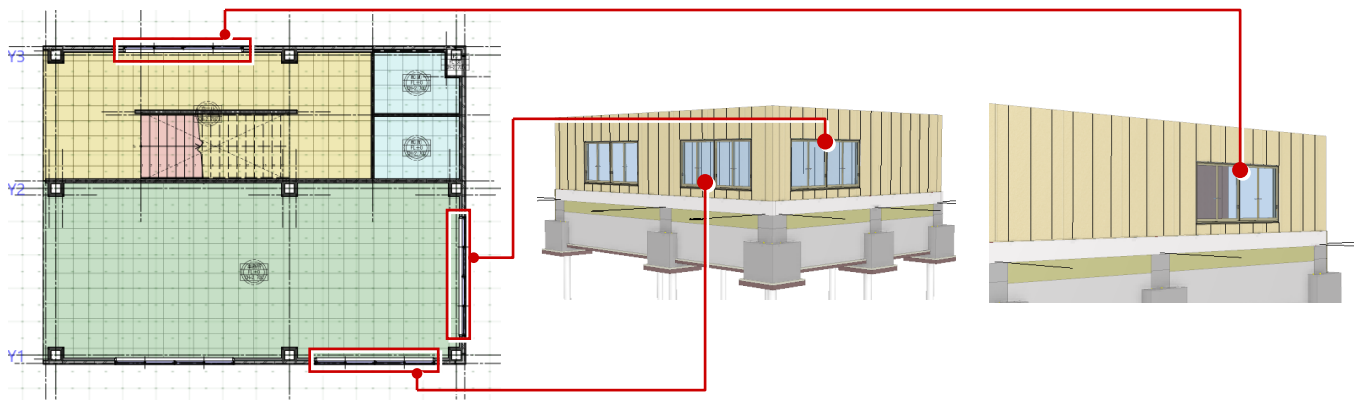


引き違い窓（AW1）を入力する

- ① 「建具」メニューから「アルミ建具」を選びます。
- ② 入力方法を「線分」に変更します。
- ③ 「取付高」を「FL±800」に変更します。
- ④ 「配置タイプ」を「始点開口幅」、ここでは「始点逃げ」を「55」に変更します。
- ⑤ 「プロパティ」パネルの「リスト」タブにて、「骨材質」を「アルミニウム」に変更し、符号一覧から「AW1 引き違い窓」を選びます。
- ⑥ ツールバーの「スナップ補助線」をONにします。
壁芯にスナップ補助線が表示されます。
- ⑦ ALCの割付位置を参照して、建具の始点と終点（方向）をクリックします。
- ⑧ 「外」「内」が表示されます。建具の外部方向をクリックします。



残り3か所に4枚引き違い窓（AW1）を入力します。



ALC 壁の割付ピッチを変更する

本書では、開口幅 900 mm の建具を入力します。その場合における ALC の編集方法を紹介します。

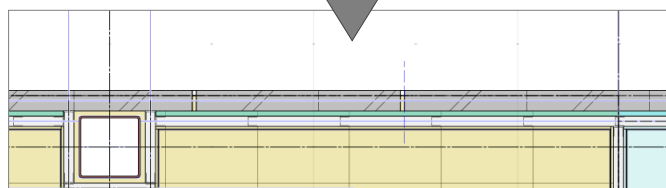
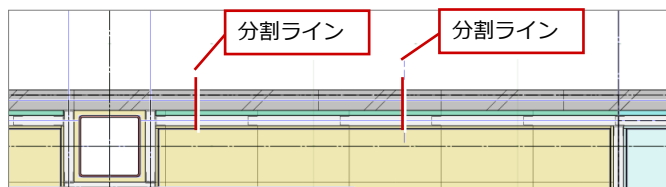
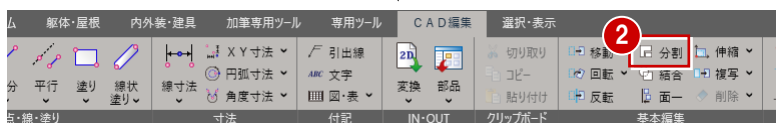
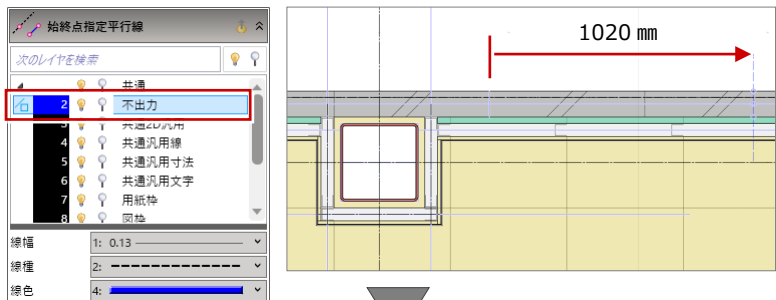
ここでは、510 ピッチの ALC を作ります。

ALC を分割する

① 「CAD 編集」タブの「平行線」メニューから「始終点指定平行線」を使って、ALC 割付線から 1020 mm の位置に補助線を入力します。

② 意匠壁（ALC 壁）を選択して、「分割線」を使って、ALC 割付ラインと補助線部分で分割します。

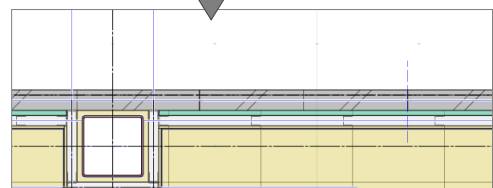
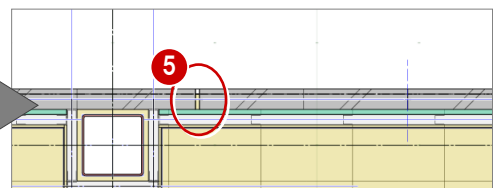
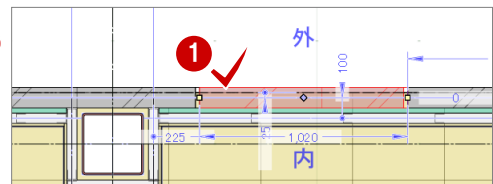
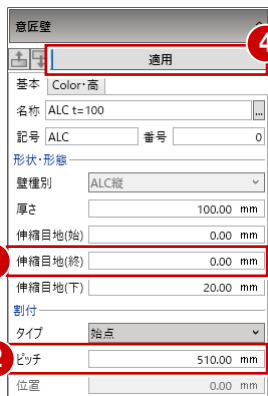
※ 分割は、始点と終点を指定後、Enter キーで確定します。



ALC の割付ピッチを変更する

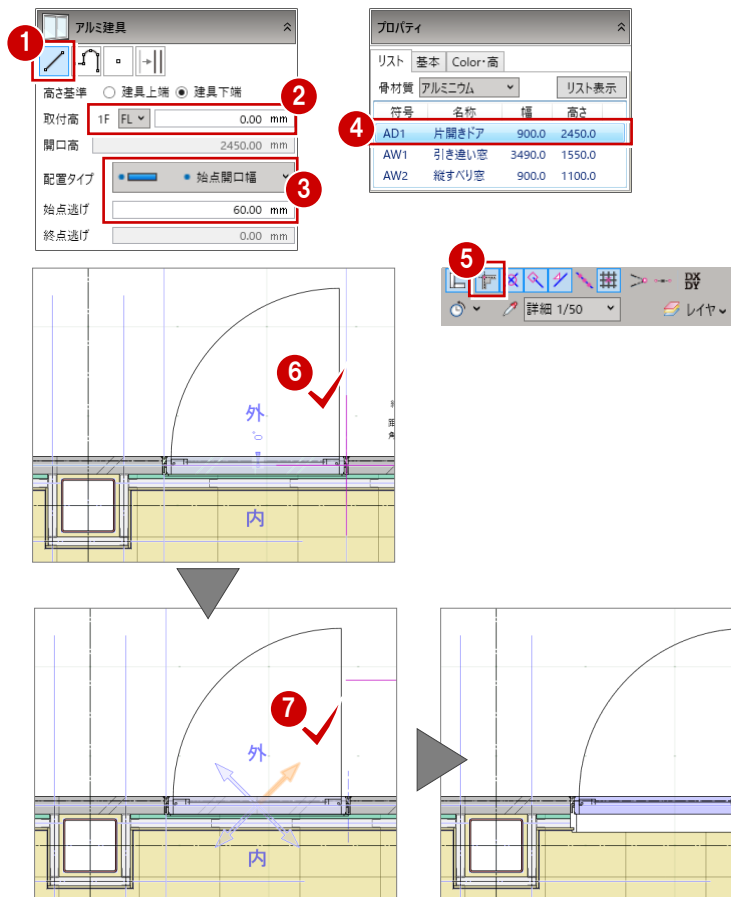
プロパティで割付ピッチを 510 mm に変更します。

- ① 分割された意匠壁を選択します。
- ② 「プロパティ」パネルにある「ピッチ」を「510」に変更します。
- ③ 「伸縮目地（終点）」を「0」に変更します。
- ④ 「適用」をクリックします。
- ⑤ 続けて、右図に示す ALC 壁（ピッチ 600 mm）の「伸縮目地（終点）」も「0」に変更します。



片開きドア（AD1）を入力する

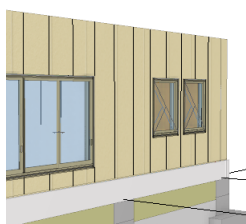
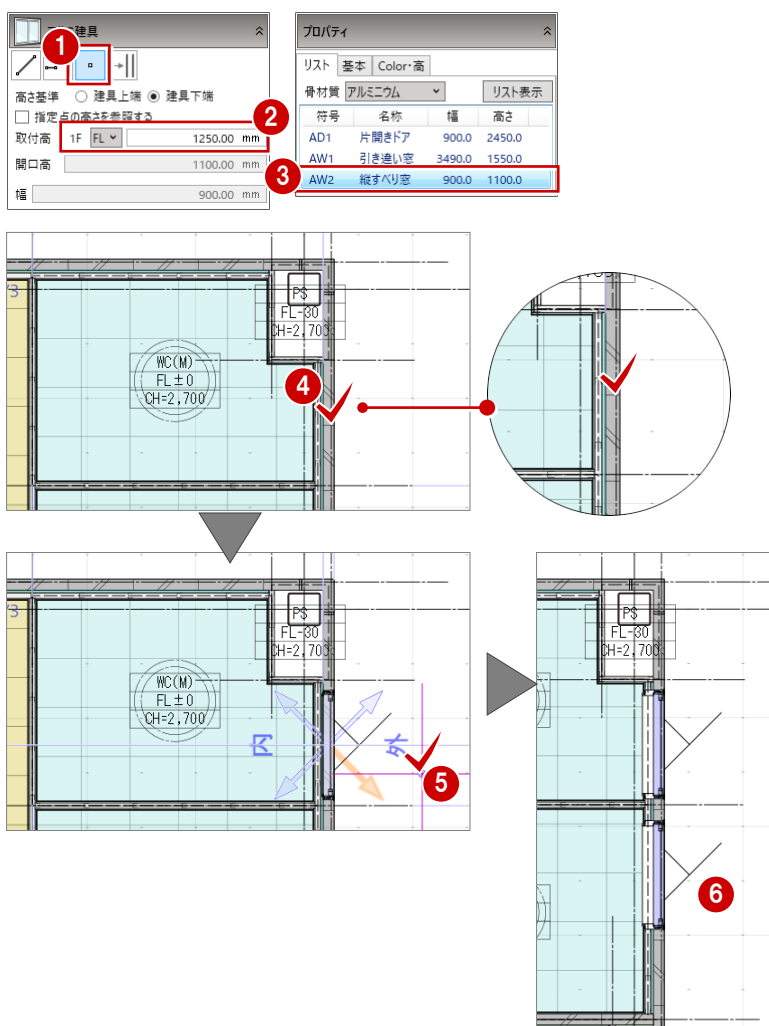
- 1 「建具」メニューから「アルミ建具」を選び、入力方法を「線分」に変更します。
- 2 「取付高」を「FL±0」に変更します。
- 3 「配置タイプ」を「始点開口幅」、ここでは「始点逃げ」を「60」に変更します。
- 4 「プロパティ」パネルの符号一覧から「AD1 片開きドア」を選びます。
- 5 ツールバーの「スナップ補助線」をONにします。
壁芯にスナップ補助線が表示されます。
- 6 ALCの割付位置を参照して、建具中心の位置をクリックします。
- 7 「外」「内」が表示されます。建具の外部方向および戸の開き方向をクリックします。



縦すべり（AW2）を入力する

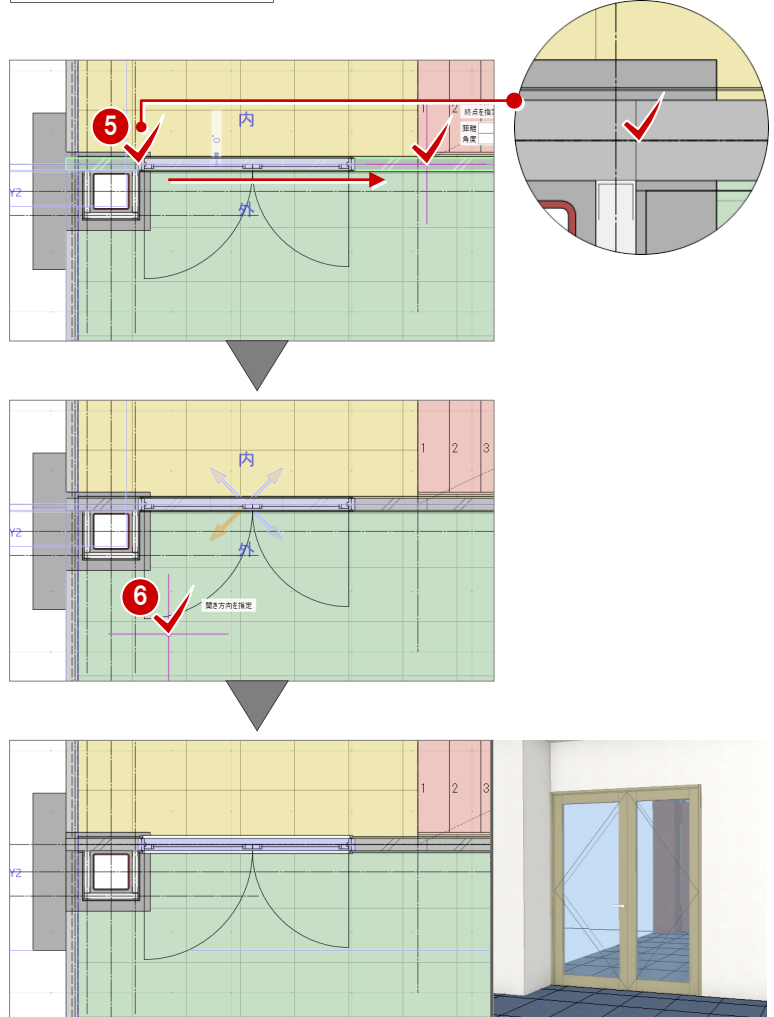
次に入力する建具は開口幅 900 mmですが、操作方法の紹介として、建具の 1 点入力を紹介します。

- 1 入力方法を「1 点」に変更します。
- 2 続けて、「取付高」を「FL±1250」に変更します。
- 3 「プロパティ」パネルの符号一覧から「AW2 縦すべり窓」を選びます。
- 4 ALCの割付位置を参照して、建具中心の位置をクリックします。
- 5 「外」「内」が表示されます。建具の外部方向および戸の開き方向をクリックします。
- 6 同様に、WC（W）にも入力します。



親子開きドア (LD3) を入力する

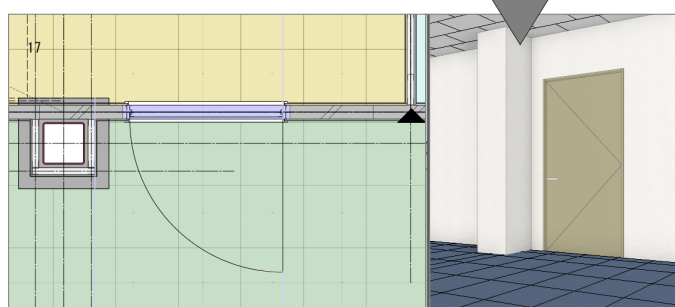
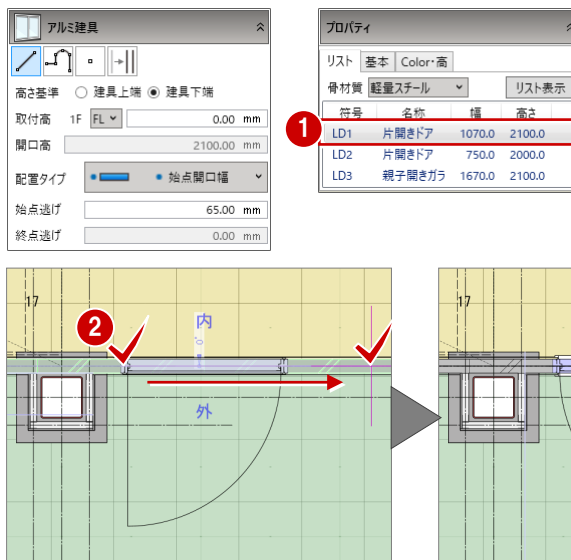
- ① 続けて、入力方法を「線分入力」に変更します。
- ② 「取付高」を「FL±0」に変更します。
- ③ 以下のように設定を変更します。
配置タイプ：始点開口幅
始点逃げ：65 mm
- ④ 「プロパティ」パネルの「骨材質」を「軽量スチール」に変更して、符号一覧から「LD3 親子開きガラスドア」を選びます。
- ⑤ ALCの割付位置を参照して、建具の始点と終点（方向）をクリックします。
- ⑥ 「外」「内」が表示されます。建具の外部方向および戸の開き方向をクリックします。



片開きドア（LD1）を入力する

親子開きドアと同様の入力方法で、片開きドアを入力します。

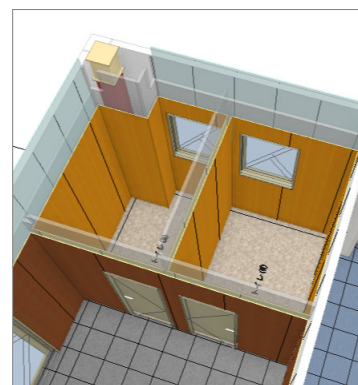
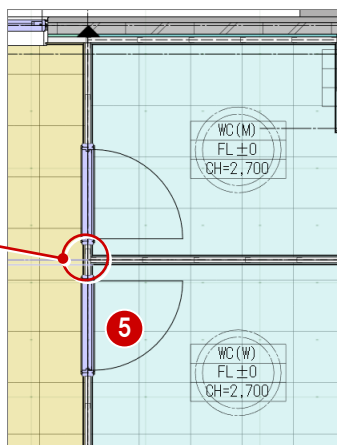
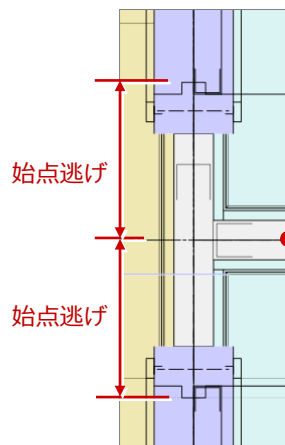
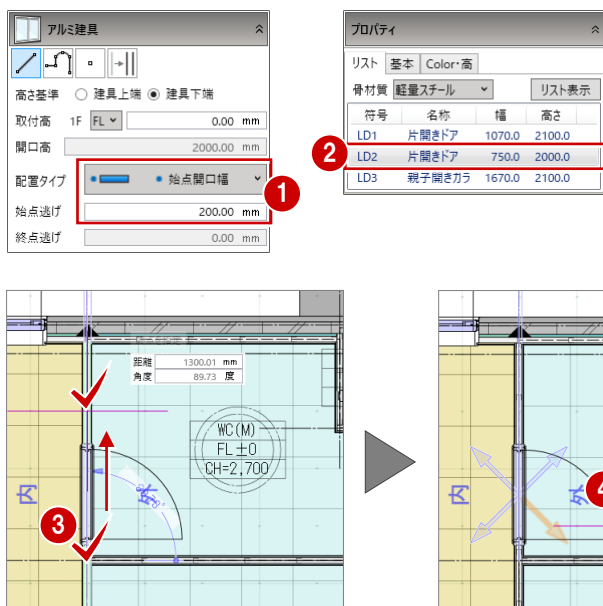
- ①「プロパティ」パネルの「骨材質」を「軽量スチール」に変更して、符号一覧から「LD1 片開きガラスドア」を選びます。
- ② ALC の割付位置を参照して、建具の始点と終点（方向）をクリックします。
- ③ 「外」「内」が表示されます。建具の外部方向および戸の開き方向をクリックします。



片開きドア（LD2）を入力する

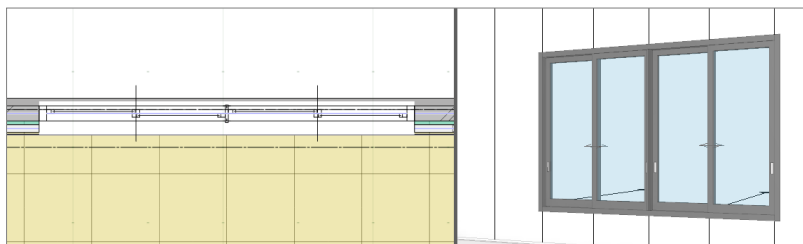
親子開きドアと同様の入力方法で、片開きドアを入力します。

- ①「始点逃げ」を「200」に変更します。
- ②「プロパティ」パネルの「骨材質」を「軽量スチール」に変更して、符号一覧から「LD2 片開きドア」を選びます。
- ③ ALC の割付位置を参照して、建具の始点と終点（方向）をクリックします。
- ④ 「外」「内」が表示されます。建具の外部方向および戸の開き方向をクリックします。
- ⑤ 同様に、WC（W）にも入力します。



補足 連装窓（2 枚引違窓+2 枚引違窓）を作成するには（1/2）

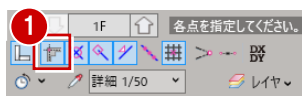
建具リストでは連装窓やコーナー建具を登録することができません。これらの建具を入力する場合は、建具入力時の入力方法「連続線（円弧可）」を利用して、入力と同時に絵柄等を設定していきます。



建具本体を入力する

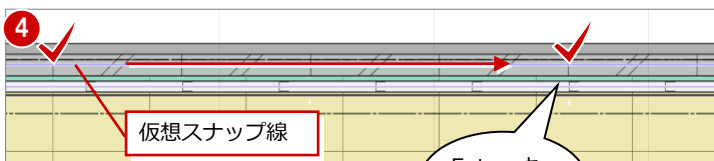
- 1 ツールバーの「仮想スナップ線」を ON にします。

※ 本モデルデータの ALC 壁芯の位置に基準芯がないため、仮想スナップ線を表示します。



- 2 入力方法を「連続線（円弧可）」に変更します。

※ この入力方法のとき、「プロパティ」パネルに建具リストは表示されません。

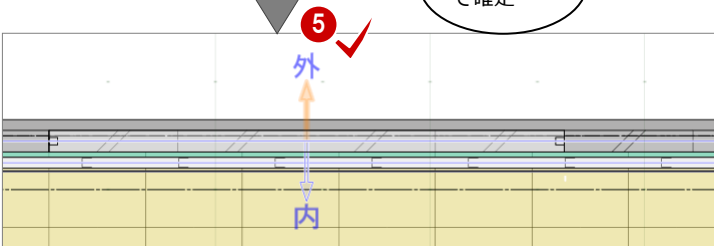


- 3 「取付高」、「開口高」を設定します。

- 4 建具の始点と終点を指定して、Enter キーで確定します。

- 5 外方向を指定します。

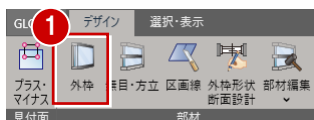
「建具見付編集」ウィンドウが開きます。



外枠・方立を入力する

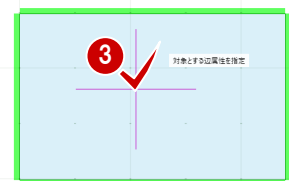
- 1 「外枠」をクリックします。

※ 本モデルデータの ALC 壁芯の位置に基準芯がないため、仮想スナップ線を表示します。



- 2 入力方法を「枠属性一括配置」に変更します。

- 3 建具部分をクリックします。

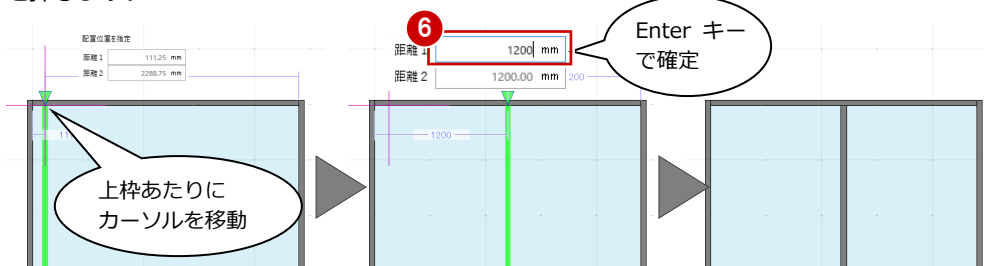


- 4 「無目・方立」をクリックします。

- 5 入力方法を「縦横配置」に変更します。

- 6 建具中央の位置に方立を入力します。

上枠あたりにカーソルを移動して、Tab キーを押して、編集エディット「距離 1」に「1200」と入力して Enter キーを押します。

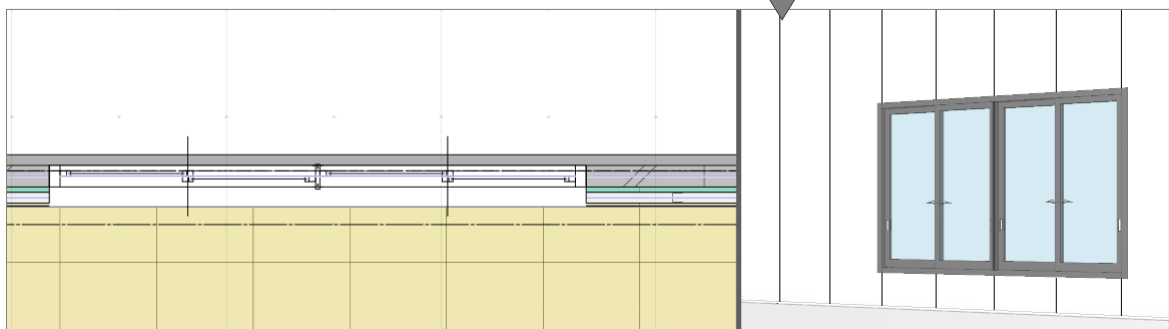
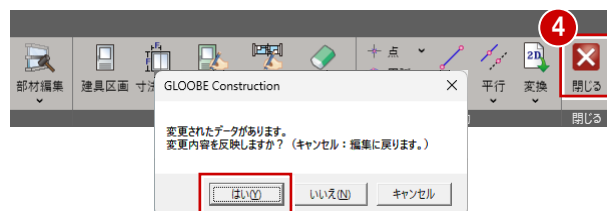
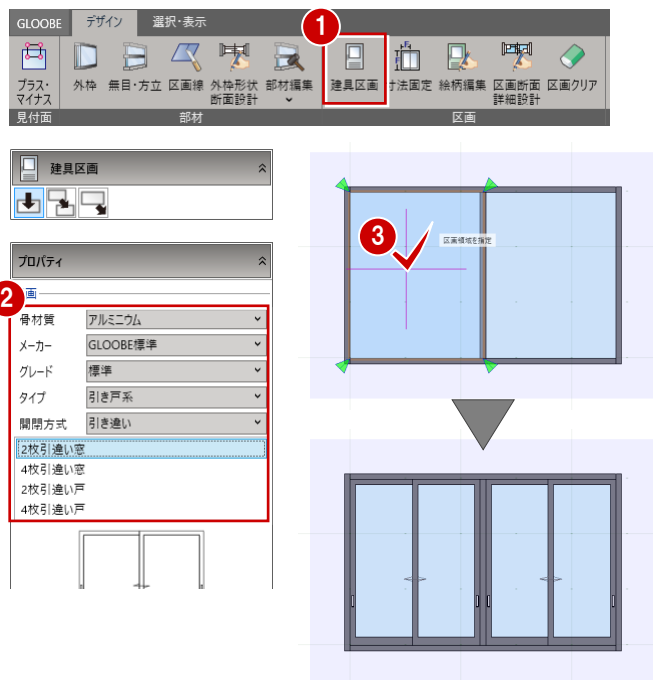


補足 連装窓（2 枚引違窓+ 2 枚引違窓）を作成するには（2/2）

建具リストでは連装窓やコーナー建具を登録することができません。これらの建具を入力する場合は、建具入力時の入力方法「連続線（円弧可）」を利用して、入力と同時に絵柄等を設定していきます。

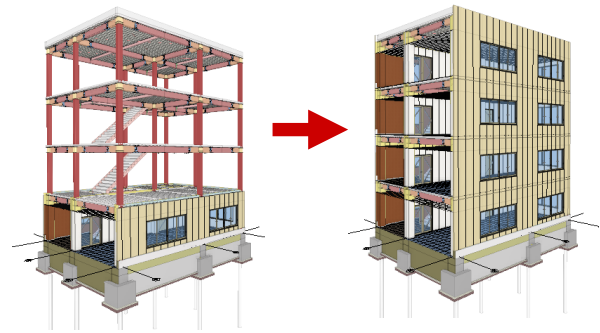
建具区画を設定する

- ① 「建具区画」をクリックします。
- ② 「プロパティ」パネルを以下のように設定します。
 メーカー：GLOOBE 標準
 タイプ：引き戸系
 開閉方式：引き違い
 リスト：2 枚引き違い窓
- ③ 建具区画部分（2 か所）をクリックします。
- ④ 「閉じる」をクリックして、保存の確認画面で「はい」をクリックします。
 連装窓が入力されます。



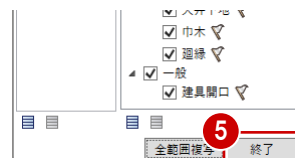
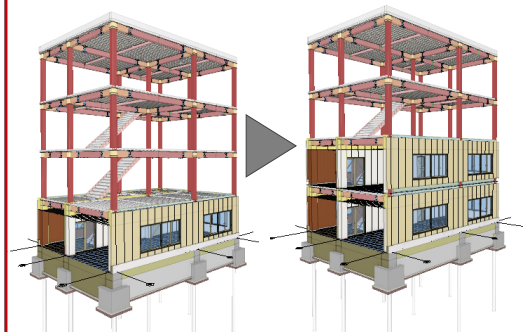
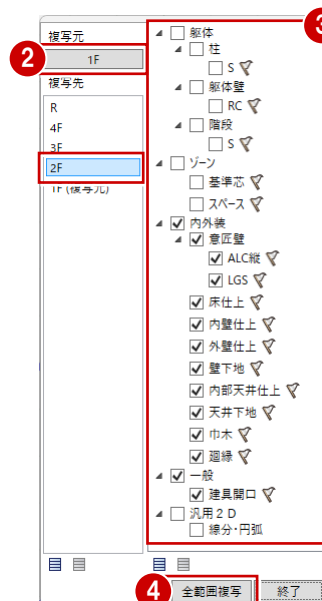
6 他階に部材を複写する

1 階に入力したデータを、2 階～4 階に複写します。



6-1 2 階に 1 階を複写する

- ① 「専用ツール」タブをクリックして、「階複写」を選びます。
- ② 「複写元」を「1F」に、「複写先」を「2F」に変更します。
- ③ ダイアログ右側にて複写データにチェックを ON にします。
ここでは、「躯体」「躯体壁」「階段」、「ゾーン」を OFF にします。
※ 2F にはスペースを複写済み
- ④ 「全範囲複写」をクリックします。
- ⑤ 「終了」をクリックして、ダイアログを閉じます。

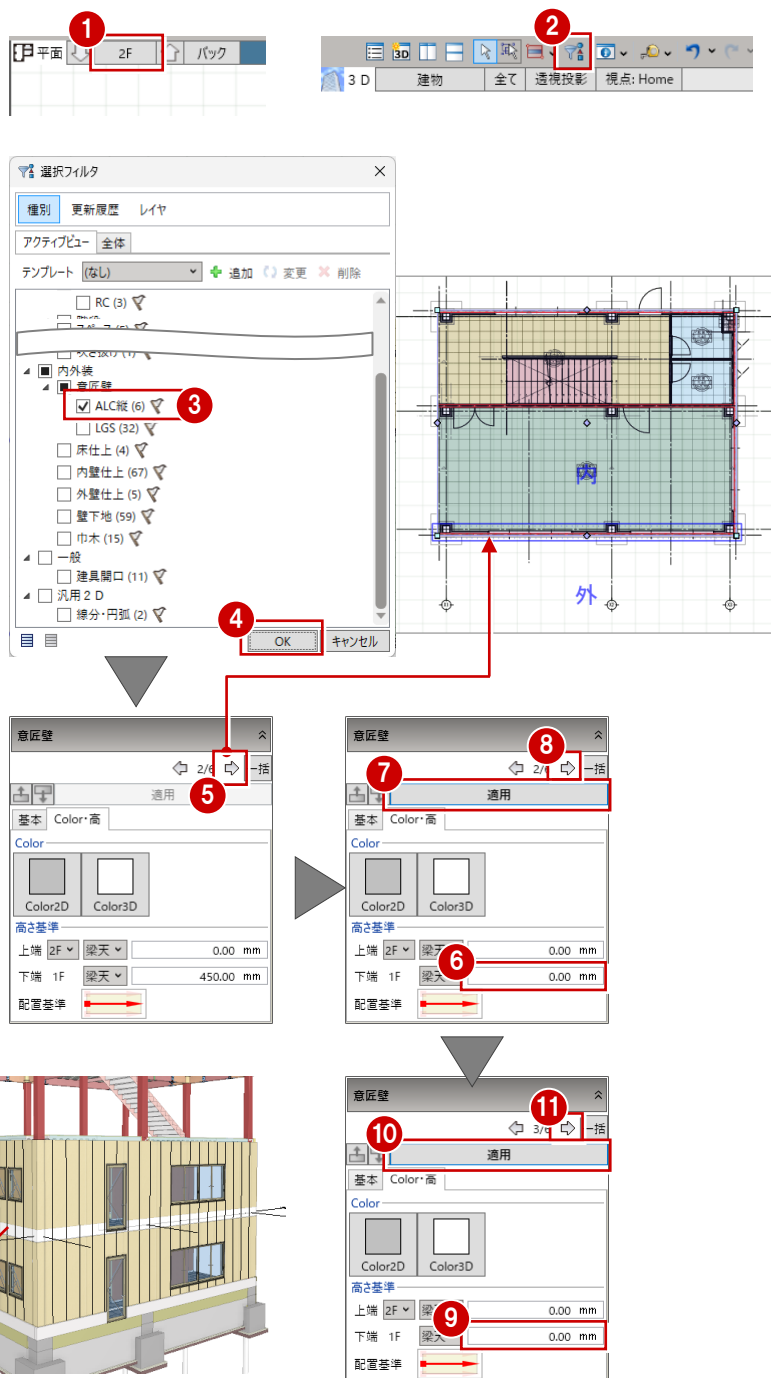


6-2 ALC 壁・外壁仕上のプロパティを変更する

ALC および外壁仕上の下端高を SL±0 mm、北側片開きドアを縦すべり窓に変更します。

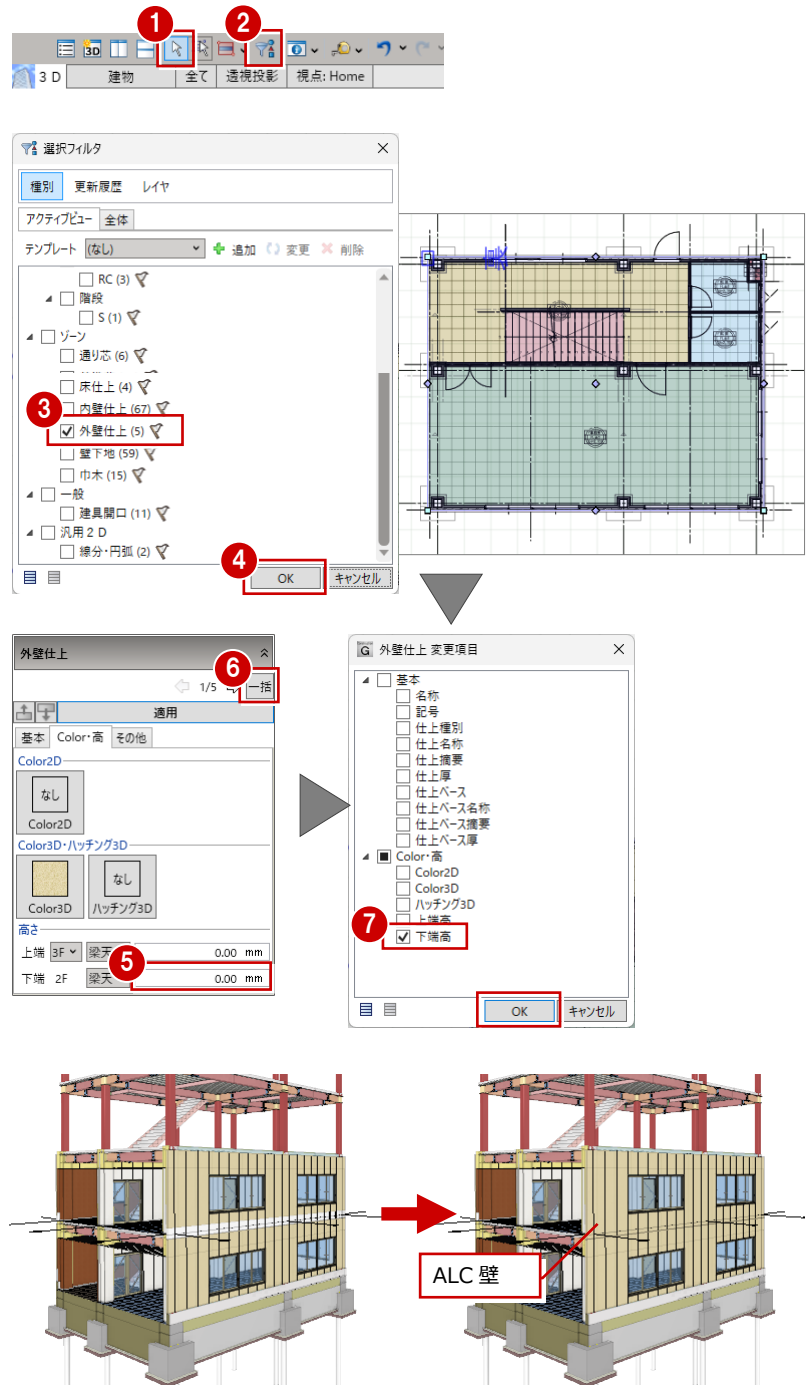
ALC 壁のプロパティを変更する

- ① 「2F」に変更します。
- ② ツールバーの「選択フィルタ」をクリックします。
- ③ ここでは「ALC」のみを ON にします。
- ④ 「OK」をクリックします。
2F ALC 壁のみが選択されます。
- ⑤ 平面ビューで選択されている ALC の位置を確認し、「→」をクリックして外部 ALC に選択を移動します。
- ⑥ 「Color・高」タブの「下端」を「450」→「0」に変更します。
- ⑦ 「適用」をクリックしてデータに反映します。
- ⑧ 「→」をクリックして、次の ALC 壁に移動します。
- ⑨～⑪ 同様に、残りの外部側の ALC 壁の下端高を変更します。



外壁仕上のプロパティを変更する

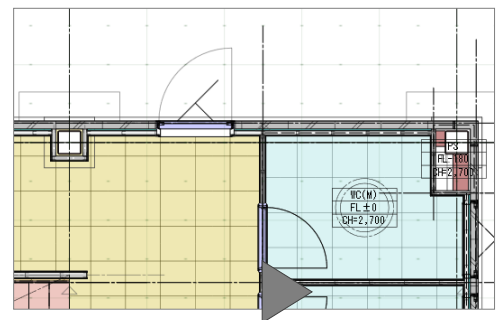
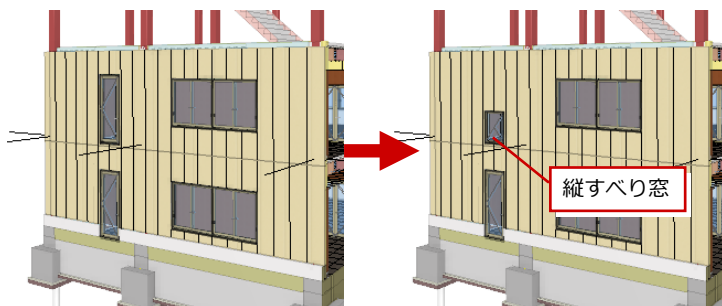
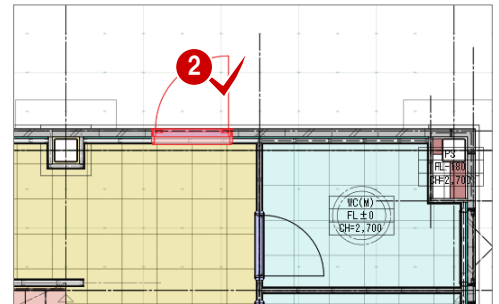
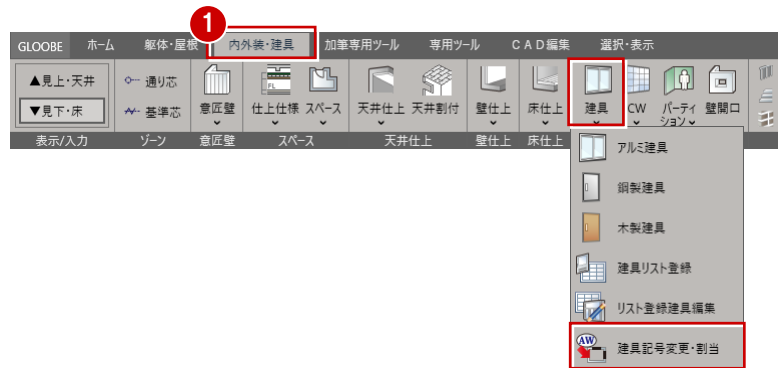
- ① ツールバーの「選択」をクリックして、現在の選択状態を解除します。
- ② 「選択フィルタ」をクリックします。
- ③ ここでは「外壁仕上」のみを ON にします。
- ④ 「OK」をクリックします。
2F 外壁仕上のみが選択されます。
- ⑤ 「Color・高」タブの「下端」を「450」→「0」に変更します。
- ⑥ 「一括」をクリックします。
- ⑦ 「下端高」を ON にして、「OK」をクリックします。
全ての外壁仕上の下端高が一括変更されます。



6-3 建具を入れ替える

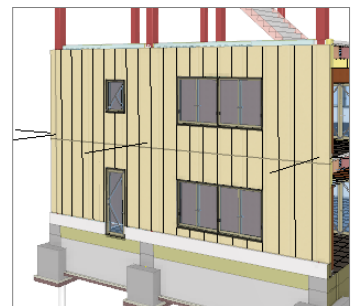
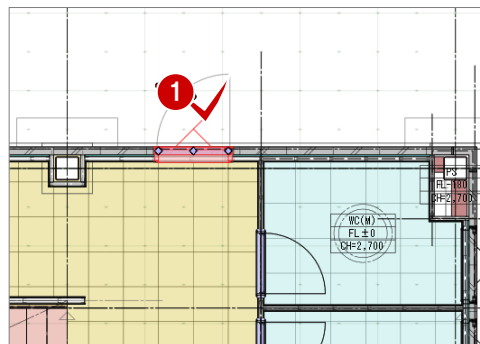
建具記号を変更する

- 1 「内外装・建具」タブをクリックして、「建具」メニューから「建具記号変更・割当」を選びます。
- 2 建具をクリックします。
- 3 「プロパティ」パネルにて「AW2 縦すべり窓」を選びます。
- 4 「実行」をクリックします。
- 5 「終了」をクリックして、ダイアログを閉じます。



建具取付高を変更する

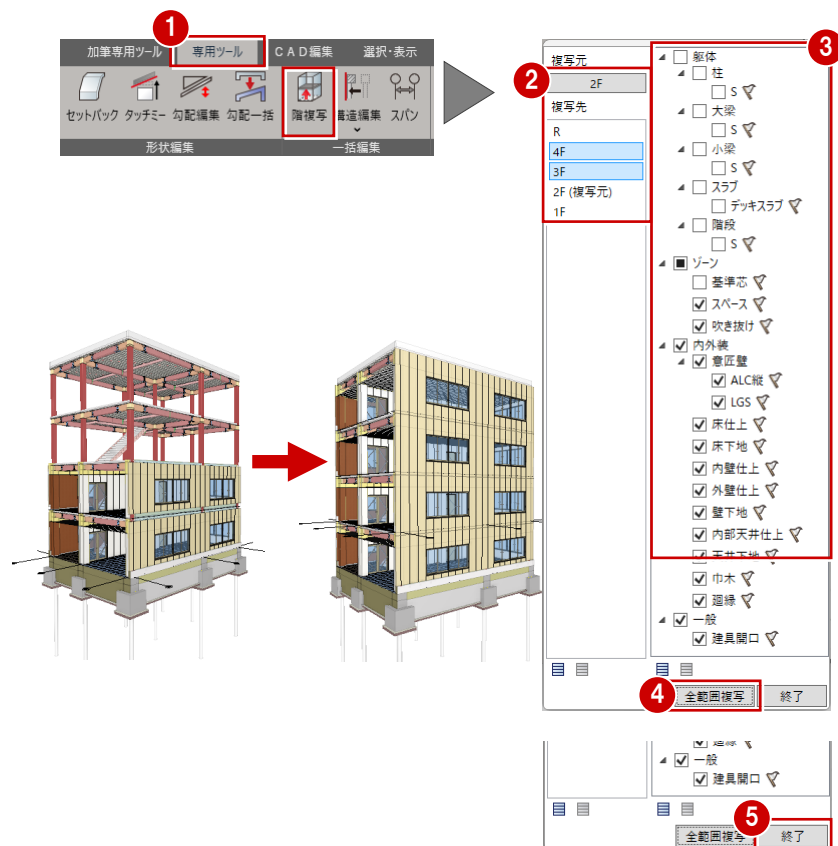
縦すべり窓の取り付け高を 0 mm→1100 mmに変更します。



6-4 3・4階に2階を複写する

階を複写する

- 「専用ツール」タブをクリックして、「階複写」を選びます。
- 「複写元」を「2F」に、「複写先」を「3F」「4F」に変更します。
- ダイアログ右側にて複写データにチェックをONにします。
ここでは、「躯体」「躯体壁」「階段」「ゾーン」の「基準芯」をOFFにします。
- 「全範囲複写」をクリックします。
- 「終了」をクリックして、ダイアログを閉じます。



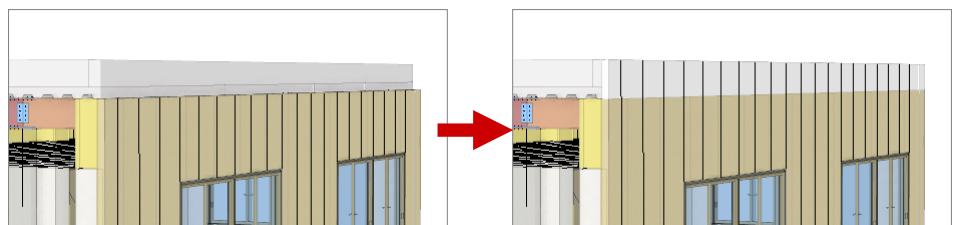
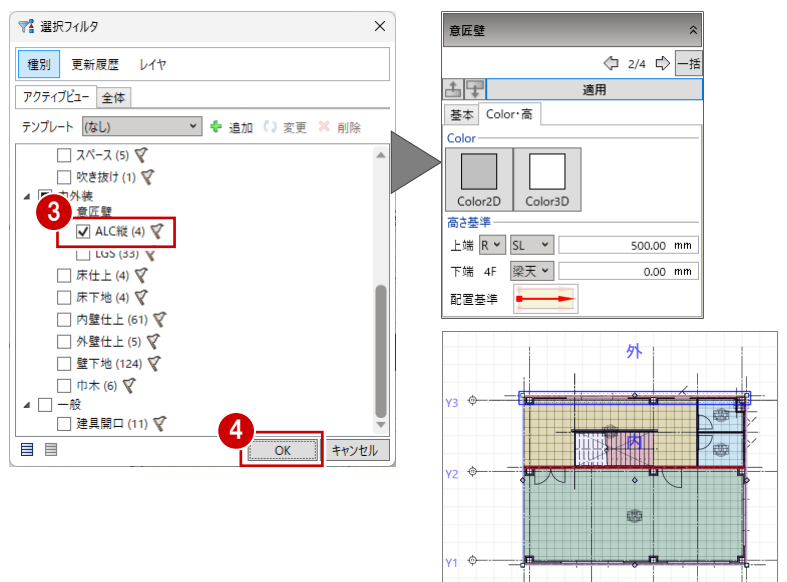
ALC を変更する

4F の ALC および外壁仕上の上端高を SL±500 mm に変更します。



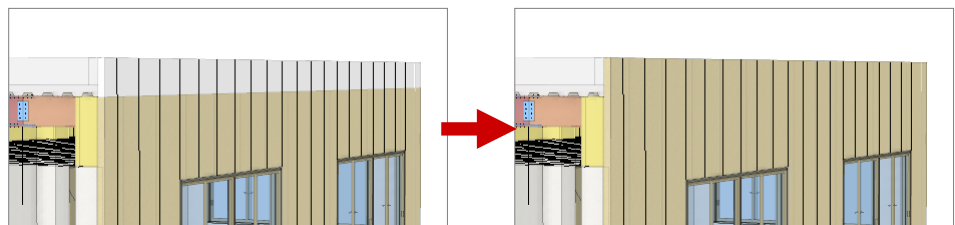
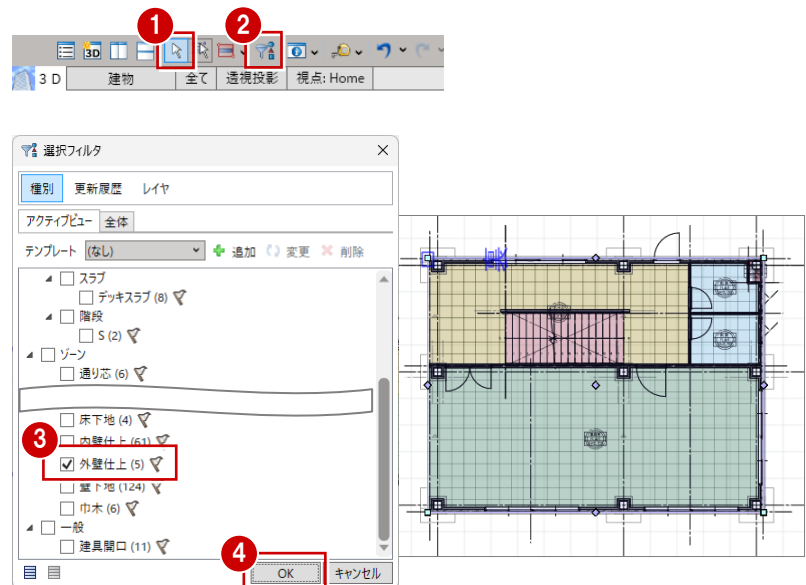
ALC 壁のプロパティを変更する

- 「4F」に変更します。
- ツールバーの「選択フィルタ」をクリックします。
- ここでは「ALC」のみを ON にします。
- 「OK」をクリックします。
4F ALC 壁のみが選択されます。
- 「Color・高」タブの「上端高」を「SL±500」に変更します。
- 「適用」をクリックしてデータに反映します。
- 「→」をクリックして、同様に外周部の ALC 壁のみを上端高を変更します。



外壁仕上のプロパティを変更する

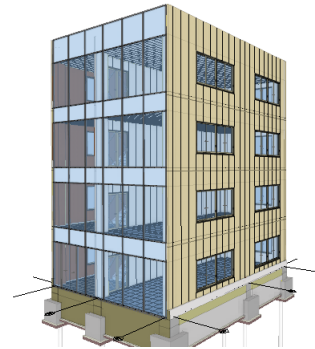
- ① ツールバーの「選択」をクリックして、現在の選択状態を解除します。
- ② 「選択フィルタ」をクリックします。
- ③ ここでは「外壁仕上」のみを ON にします。
- ④ 「OK」をクリックします。
4F 外壁仕上のみが選択されます。
- ⑤ 「Color・高」タブの「上端」を「R」「SL」
「500」に変更します。
- ⑥ 「一括」をクリックします。
- ⑦ 「上端高」を ON にして、「OK」をクリック
します。
外壁仕上の上端高が一括変更されます。



7 カーテンウォールを入力する

カーテンウォール（CW）を入力します。

ここでは、外枠、受け材（縦材・横材）、マリオン、パネル、建具（エントランス部分）の入力を解説します。

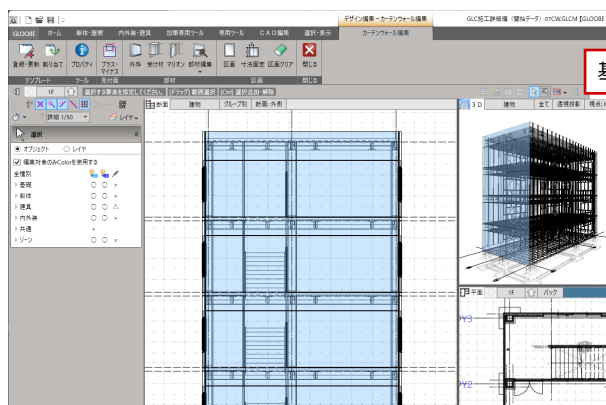
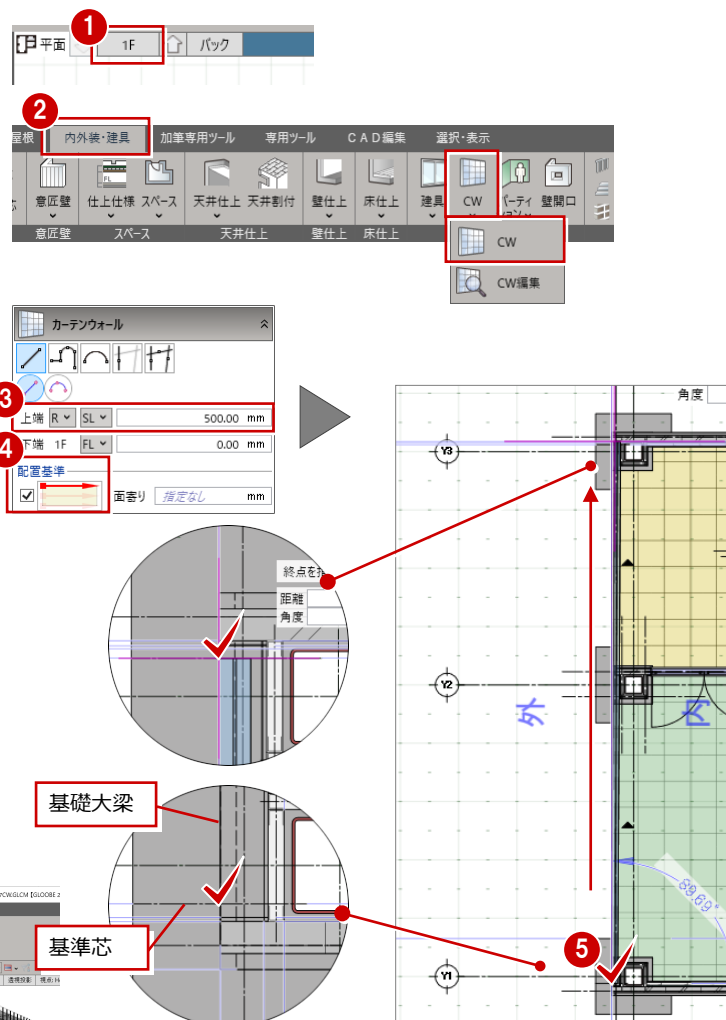


7-1 カーテンウォールを入力する

- ① 「1F」に変更します。
- ② 「内外装・建具」タブをクリックして、「カーテンウォール」メニューから「カーテンウォール」を選びます。
- ③ 「上端高」を「SL±500」に変更します。
- ④ ここでは「配置基準」を「左寄り」に変更します。
- ⑤ カーテンウォールの始点と終点位置をクリックします。

※ ここでは、基礎大梁面と基準芯との交点を指定します。

※ 始点位置を指定後、「外」「内」の向きを確認します。向きは、Qキーで入れ替えることができます。

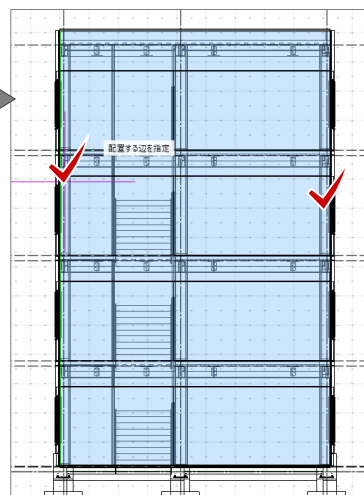
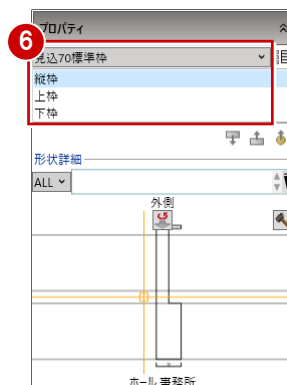
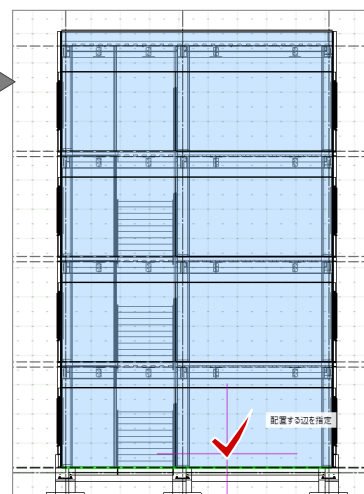
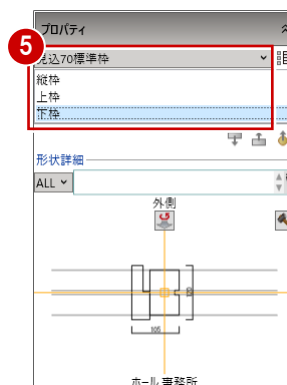
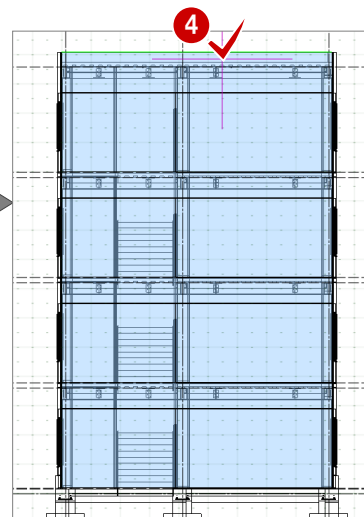


【カーテンウォール編集】

7-2 カーテンウォールを編集する

外枠を入力する

- ① 「外枠」をクリックします。
- ② 入力方法を「1 辺指定」に変更します。
- ③ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「見込 70 標準枠」の「上枠」を選びます。
- ④ 断面ビューにて上枠を配置する位置をクリックします。
- ⑤ 続けて、テンプレートから「見込 70 標準枠」の「下枠」を選び、断面ビューにて下枠を配置する位置をクリックします。
- ⑥ 続けて、テンプレートから「見込 70 標準枠」の「縦枠」を選び、断面ビューにて縦枠を配置する位置をクリックします（2 か所）。



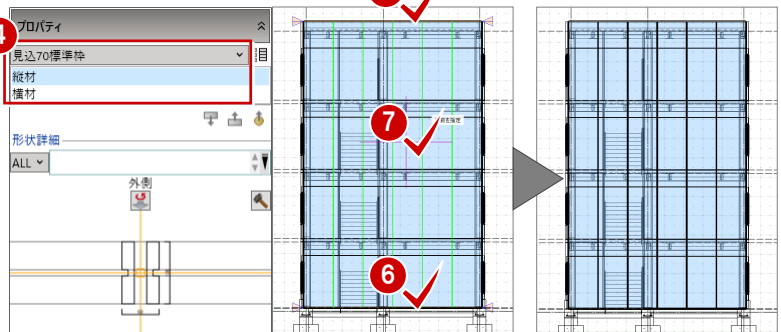
カーテンウォール編集

入力時は、自動的にカーテンウォール編集画面に進みますが、次回より編集するときは、「カーテンウォール」メニューから「カーテンウォール編集」を選び、カーテンウォールを選択します。



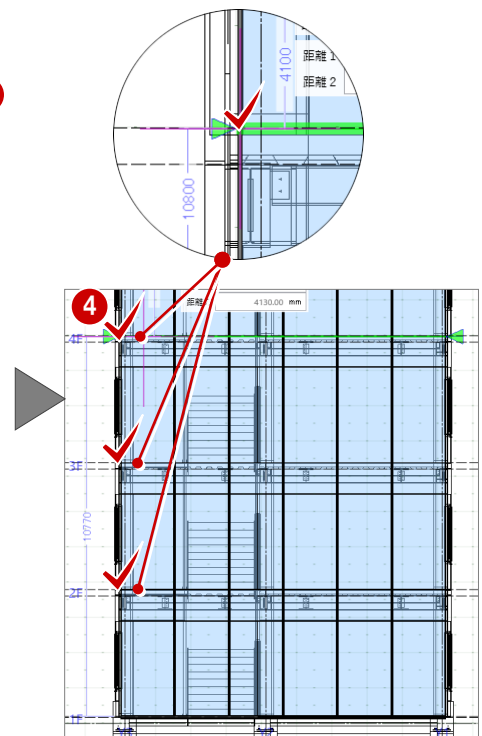
受け材（縦）を入力する

- ① 「受け材」をクリックします。
- ② 入力方法を「等間隔配置」に変更します。
- ③ 「本数」を「5」に変更します。
- ④ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「見込 70 標準枠」の「縦材」を選びます。
- ⑤⑥ 断面ビューにて、開始位置（上枠）と終了位置（下枠）をクリックします。
- ⑦ 断面ビューに表示された縦材の本数を確認して、断面ビューをクリックします。



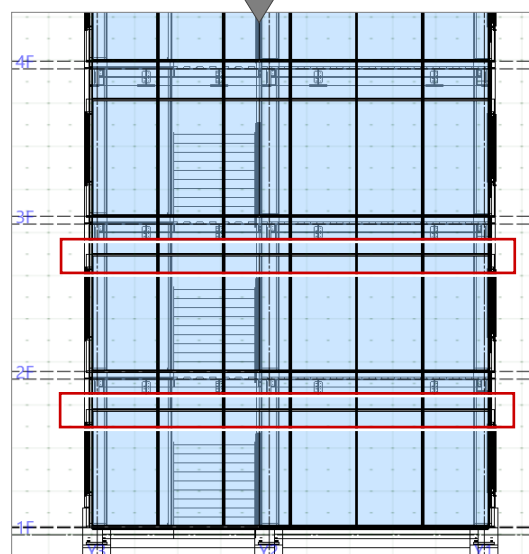
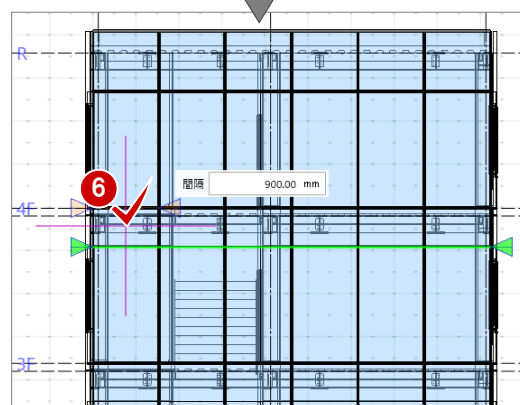
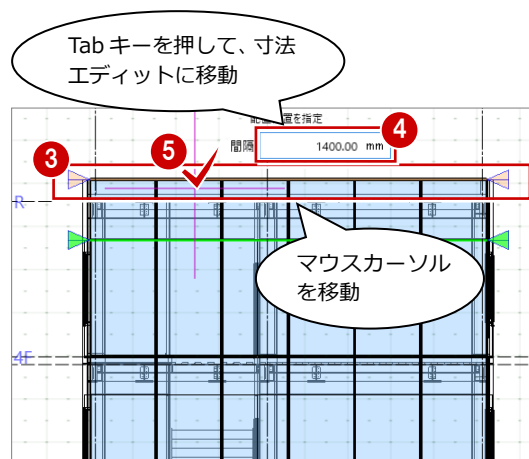
受け材（横）を入力する

- ① 入力方法を「縦横配置」に変更します。
- ② 「取り合い」を「縦勝ち」に変更します。
- ③ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「見込 70 標準枠」の「横材」を選びます。
- ④ 断面ビューにて、各階の FL の位置をクリックします。



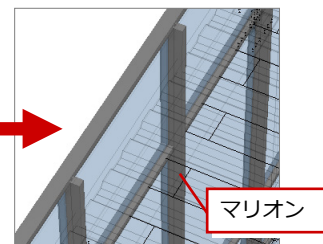
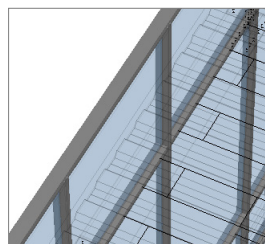
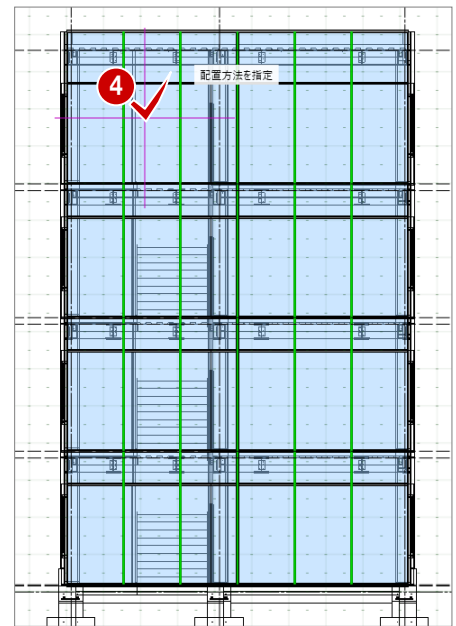
受け材（横）を入力する

- ① 入力方法を「既存参照配置」に変更します。
- ② 断面ビューにて、上枠の位置にマウスカーソルを移動します。
- ③ Tab キーを押します。
- ④ 寸法エディットに「1400」と入力します。
- ⑤ 断面ビューにて上枠から 1400 mmの位置の受け材を確認して、受け材の位置をクリックします。
- ⑥ 同様に、4F、3F、2F の受け材を参照して、900 mmの位置に受け材を入力します。



マリオンを入力する

- ① 「マリオン」をクリックします。
- ② 入力方法を「一括配置」に変更します。
- ③ 「プロパティ」パネルにてテンプレートから「フラットタイプ」の「60×150 方立」を選びます。
- ④ 断面ビューにてマリオンを配置する受け材の位置を確認してクリックします。



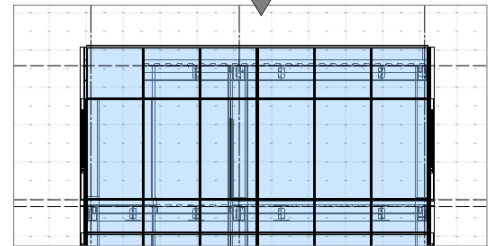
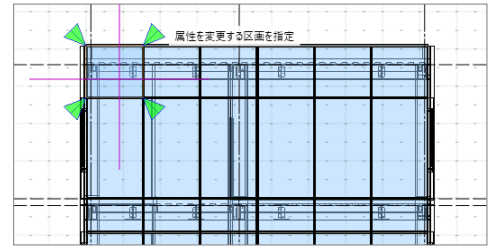
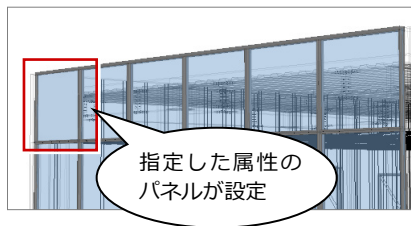
マリオン

パネルを入力する

パネルを入力する

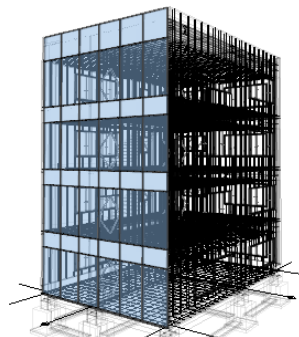
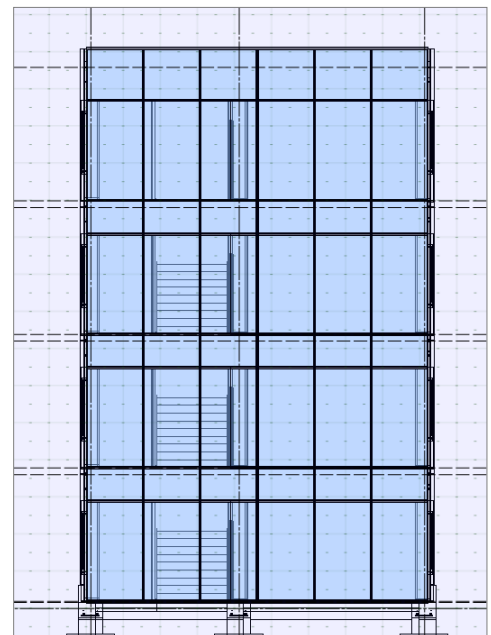
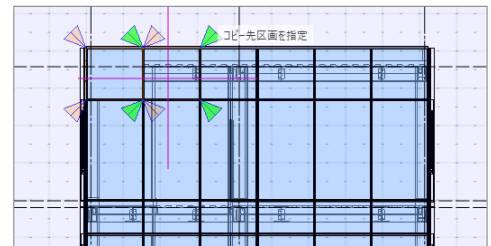
天井裏を隠すためにパネルを入力します。

- ① 「区画」をクリックします。
- ② 入力方法を「属性変更」に変更します。
- ③ 断面ビューでパネルを設定する区画をクリックします。
- ④ 「建具区画」ダイアログの「種別」を「複層」に変更し、「Color3D」を設定して「OK」をクリックします。



パネルをコピーする

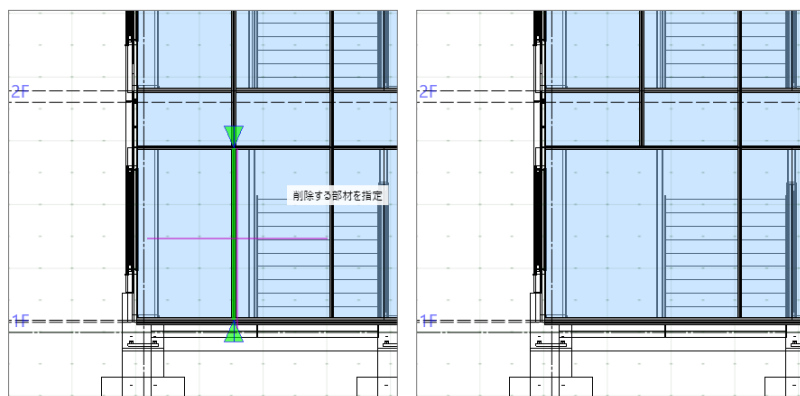
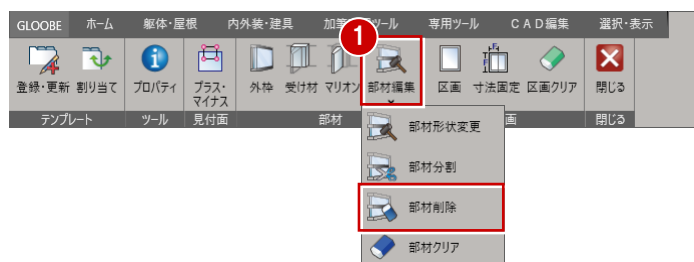
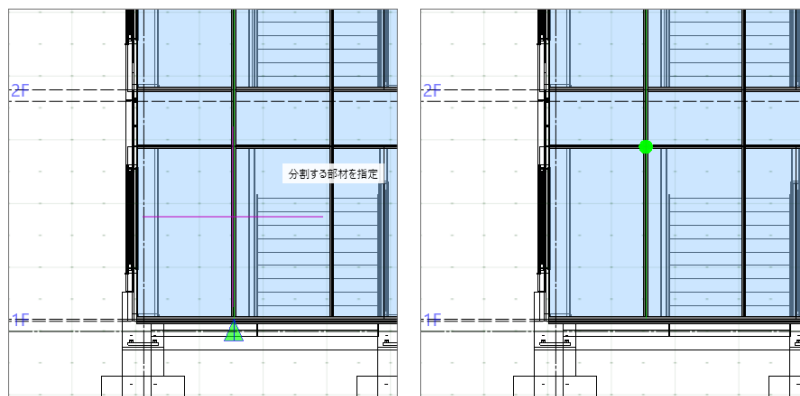
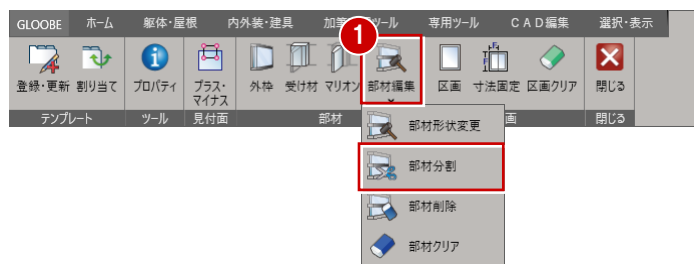
- ① 「区画」をクリックします。
- ② 入力方法を「コピー」に変更します。
- ③ 断面ビューで、コピー元のパネルをクリックします。
- ④ コピー先の区画を順にクリックします。



エントランスを作成する

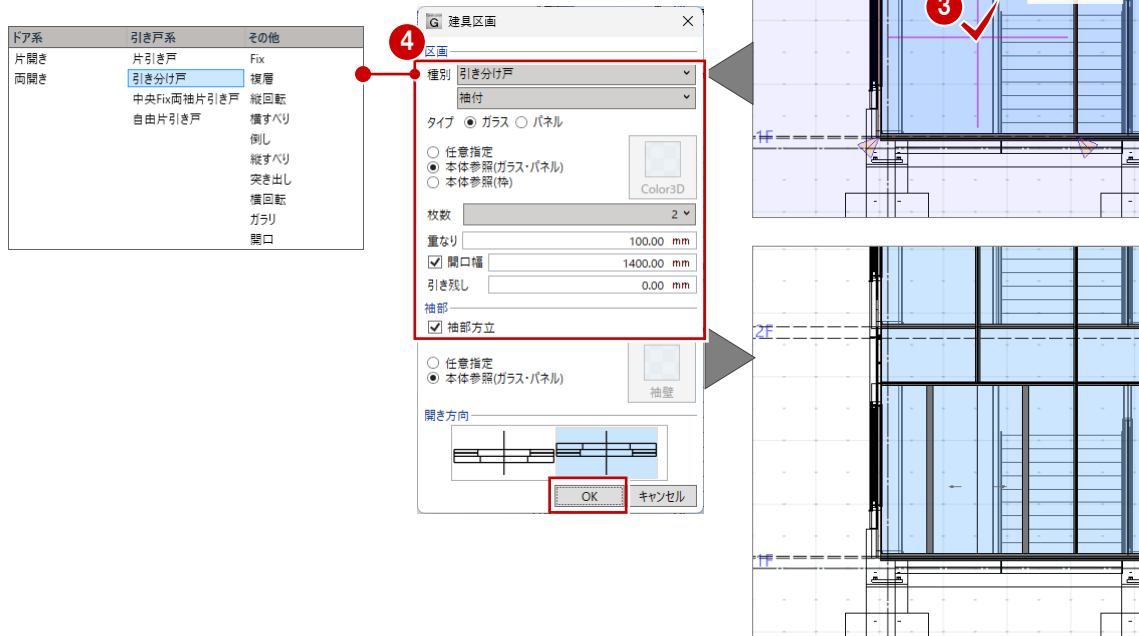
受け材を削除する

- ① 「部材編集」メニューから「部材分割」を選びます。
- ② 対象の受け材をクリックします。
- ③ 分割点を指定します。
- ④ 「部材編集」メニューから「部材削除」を選びます。
- ⑤ 削除する受け材をクリックします。



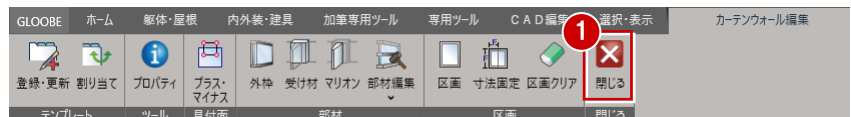
建具を設定する

- ① 「区画」をクリックします。
- ② 「属性変更」をクリックします。
- ③ 建具を設定する区画をクリックします。
- ④ 「建具区画」ダイアログにて、右図のように「引き分け戸」を設定して、「OK」をクリックします。



カーテンウォール編集を終了する

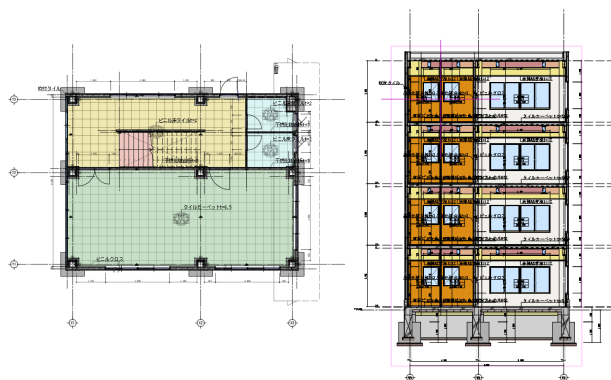
編集を終えたら、「閉じる」をクリックして、「カーテンウォール編集」タブを閉じます。



8 加筆修正する

詳細図の階高寸法、各種詳細寸法、引出線などを入力します。

加筆修正をおこなわずに図面を作成することもできますが、本書では、詳細図ごとに特記する内容が異なることを考慮し、ここで入力した内容を図面作成時に反映する操作例を紹介します。

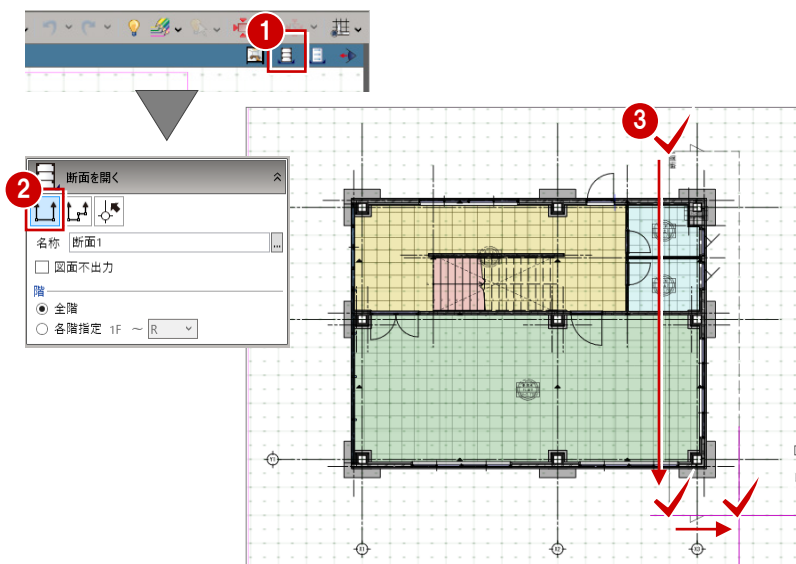


8-1 断面に階高寸法を入力する

断面を作成する

切断線を入力し、断面を作成します。

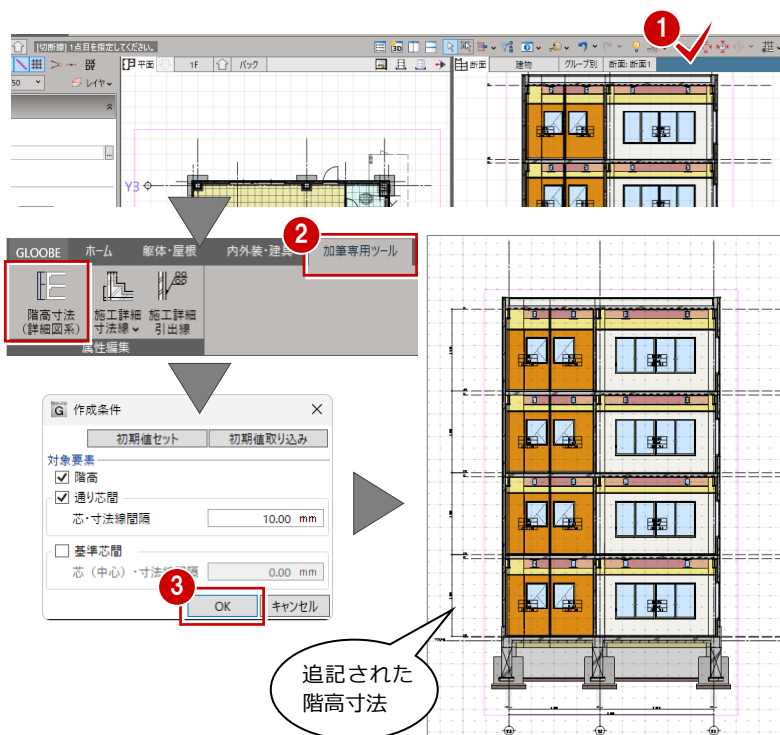
- ① 「断面を開く」をクリックします。
- ② コマンドパネル「断面を開く」の入力モードが「断面線」であることを確認します。
- ③ 断面線の始点、終点、見る方向の順にクリックします。
指定した断面位置の断面ビューが表示されます。



階高寸法を配置する

断面に階高寸法を配置します。

- ① アクティブなビューを断面に切り替えます。
- ② 「加筆専用ツール」タブをクリックして、「階高寸法（詳細図系）」を選びます。
- ③ 「作図条件」ダイアログで作成条件を確認設定して、「OK」をクリックします。



8-2 平面・断面に各種寸法線を作成する

平面ビュー、断面ビューにて、スペースや壁、建具などの寸法線を描きます。

断面に寸法線を作成する

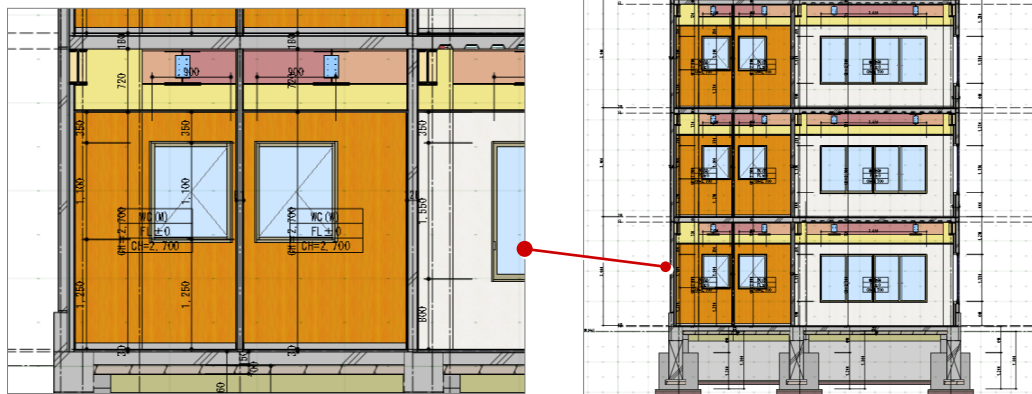
- 1 断面ビューがアクティブであることを確認します。
- 2 「施工詳細寸法線」をクリックします。
- 3 入力モードが「AUTO」であることを確認して「実行」をクリックします。
- 4 「作図条件」ダイアログで作成条件を確認設定して、「OK」をクリックします。



寸法線を描く対象のオブジェクト

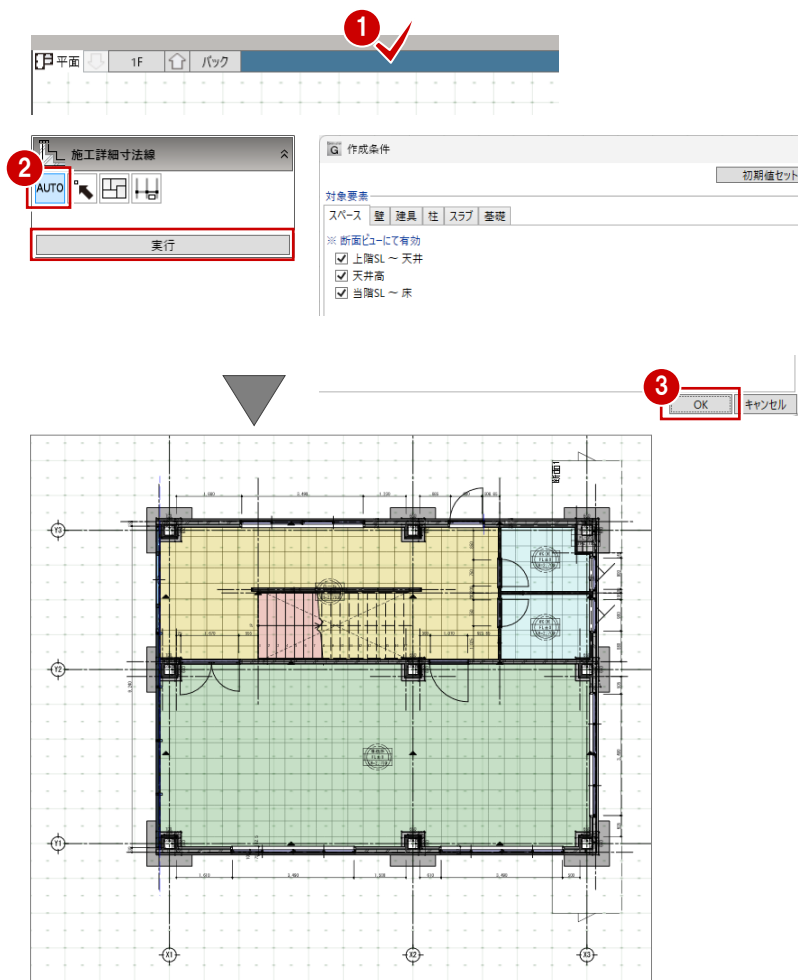
寸法線を描く対象のオブジェクトは、スペース、壁、柱、建具、パーティション、CW、スラブ、金属・防水系屋根、内壁仕上、外壁仕上です。

ここで描いた寸法線は、施工詳細図面作成時に作図表現で「モデルで入力した施工詳細寸法線を作図する」を ON で作図されます。



平面に寸法線を作成する

- ① 平面ビューをアクティブにします。
- ② 入力モードが「AUTO」であることを確認して「実行」をクリックします。
- ③ 「作図条件」ダイアログで作成条件を確認して、「OK」をクリックします。



8-3 仕上等の引出線を作成する

配置されている仕上や廻縁、巾木などを参照して引出線を描きます。

平面に引出線を作成する

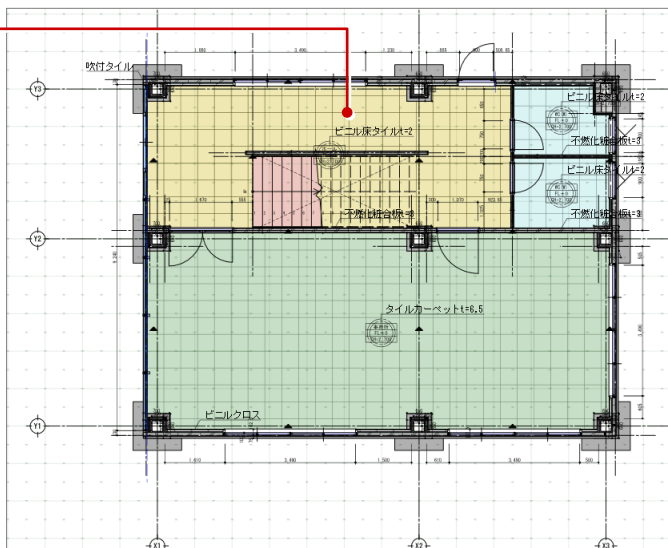
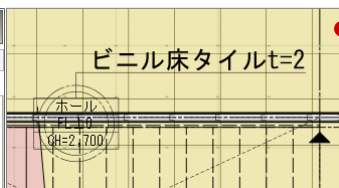
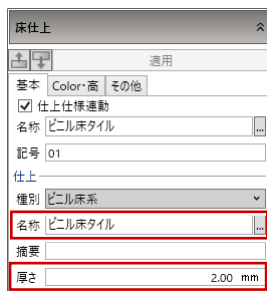
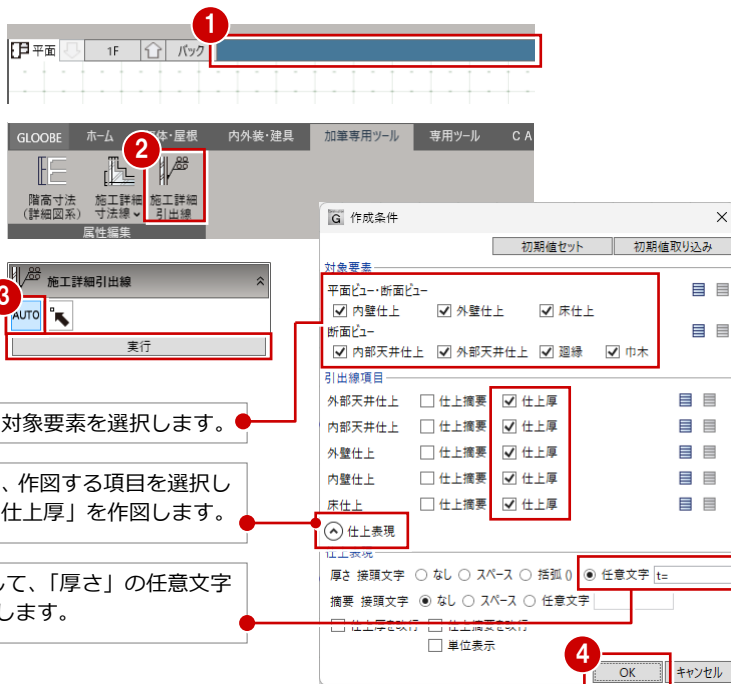
- ① 平面ビューがアクティブであることを確認します。
- ② 「施工詳細引出線」をクリックします。
- ③ 入力モードが「AUTO」であることを確認して「実行」をクリックします。
- ④ 「作図条件」ダイアログで作成条件を確認して、「OK」をクリックします。

対象要素に対して仕上名などが作図されます。

引出線を作成する対象要素を選択します。

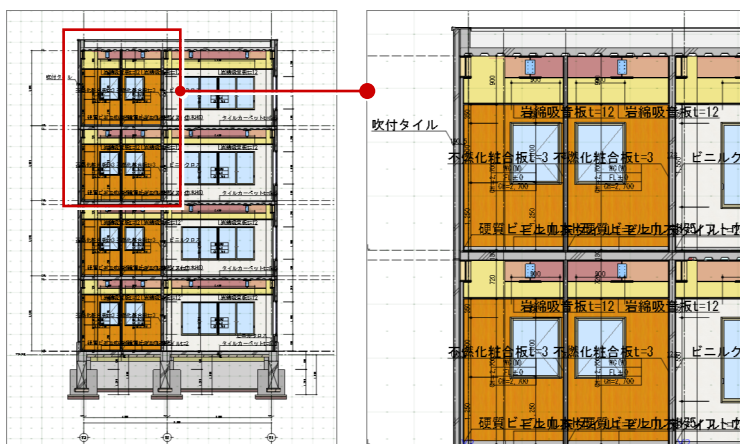
仕上名称に加えて、作図する項目を選択します。ここでは「仕上厚」を作図します。

「V」をクリックして、「厚さ」の任意文字（例、t=）を設定します。



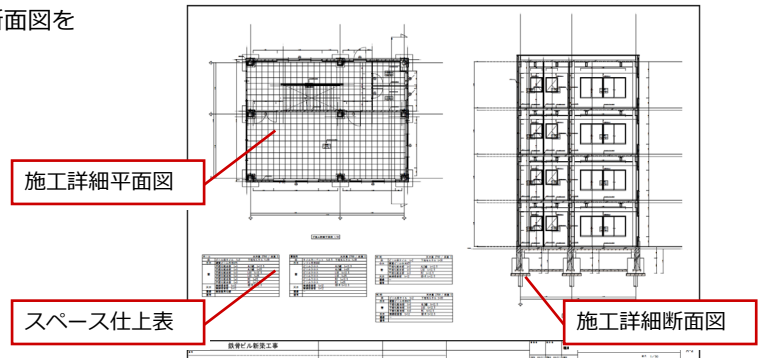
断面に引出線を作成する

同様に、断面ビューをアクティブにして、「施工詳細引出線」を実行して仕上の引出線を作成します。



9 図面を作成する

図面作成機能を使用して、施工詳細図、施工詳細断面図を作成しましょう。



9-1 施工詳細平面図を作成する

用紙サイズを変更する

ここでは、用紙サイズ A2 から A1（横）に変更します。

- ① 「ホーム」タブをクリックして、「図面作成」を選びます。
「図面」タブが開きます。
- ② 「用紙枠」メニューから「用紙枠配置」を選びます。
- ③ 用紙枠が「A1 サイズ」の「A タイプ（横）」であるか確認、または設定します。
- ④ 「OK」をクリックします。
- ⑤ 確認画面で「はい」をクリックします。
A1 サイズの用紙枠が配置されます。



施工詳細平面図を作成する

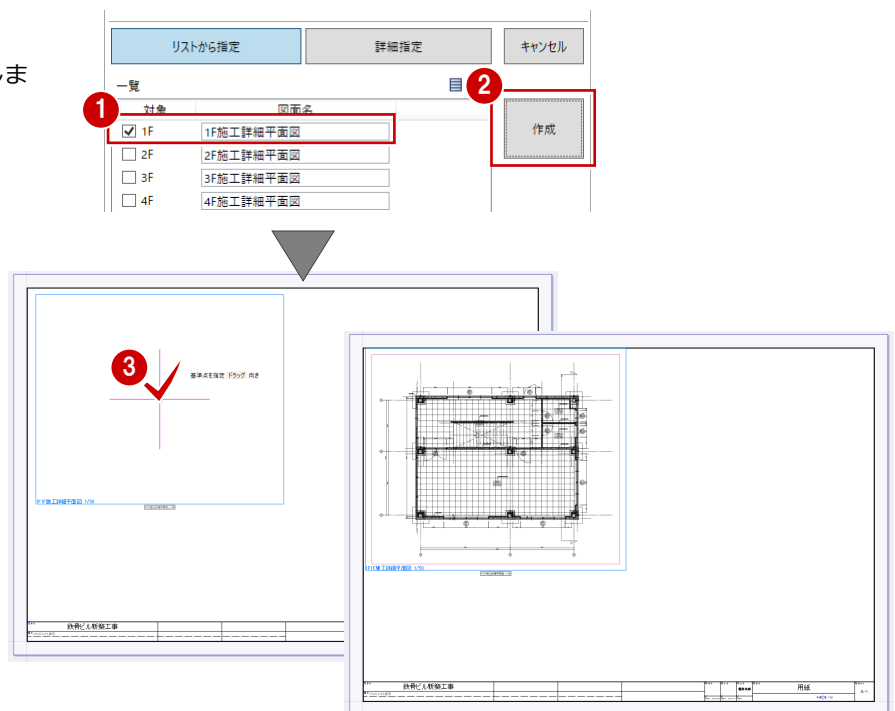
作図条件を確認する

- ① 「施工詳細図」メニューから「施工詳細平面図」を選びます。
- ② テンプレートが「01-施工詳細平面図」の「02-詳細平面図（モデル詳細寸法／引出線）」に変更します。
- ③ 「縮尺」が「1/50」であることを確認します。
- ④ 「作図表現」をクリックします。
- ⑤ ダイアログの「分類」から「寸法線・引出線」をクリックします。
- ⑥ ここでは、「寸法線」タブの「モデルで入力した施工詳細寸法線を作図する」が ON であることを確認します。
- ⑦ 同様に、「引出線」タブの「モデルで入力した施工詳細引出線を作図する」が ON であることを確認します。
- ⑧ ここでは確認のためのため、「キャンセル」をクリックします。



図面を配置する

- ① 「1F」を ON にして、「図面名」を確認します。
- ② 「作成」をクリックします。
- ③ 図面の配置位置をクリックします。



9-2 施工詳細断面図を作成する

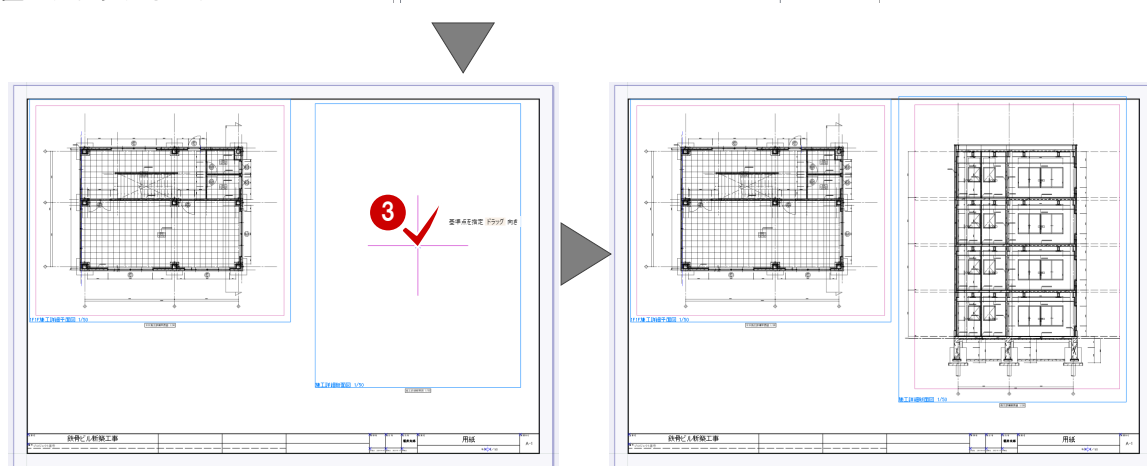
作図条件を確認する

- ① 「施工詳細図」メニューから「施工詳細断面図」を選びます。
- ② テンプレートが「01-施工詳細断面図」の「02-詳細平面図（モデル詳細寸法／引出線）」であることを確認します。
- ③ 「縮尺」が「1/50」であることを確認します。
- ④ 「作図表現」をクリックします。
- ⑤ ダイアログの「分類」から「寸法線・引出線」をクリックします。
- ⑥ ここでは、「寸法線」タブの「モデルで入力した施工詳細図寸法線を作図する」がONであることを確認します。
- ⑦ 同様に、「引出線」タブの「モデルで入力した施工詳細引出線を作図する」がONであることを確認します。
- ⑧ ここでは確認のためのため、「キャンセル」をクリックします。

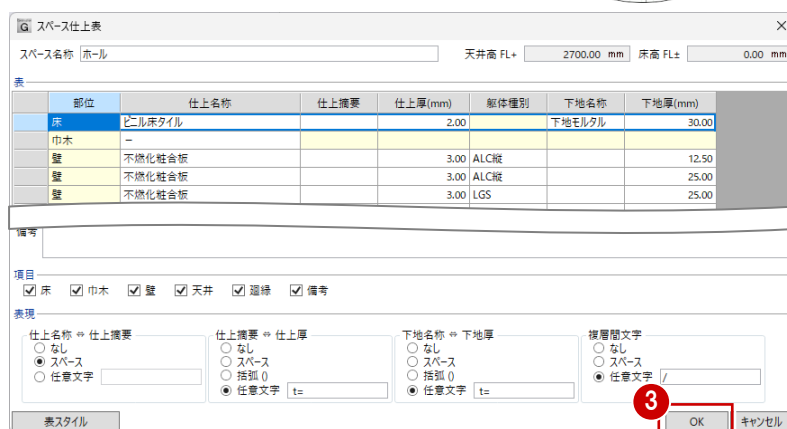


図面を配置する

- ① 「断面 1」をONにして、「図面名」を確認します。
- ② 「作成」をクリックします。
- ③ 図面の配置位置をクリックします。



⑤ 同様に、事務所、WC (M)、WC (W) のスペース表を作成します。



ホール	天井高 2700 / 床高 0	
床	ビニル床タイル t=2	下地モルタル t=30
巾木	-	
壁	不燃化粧合板 t=3	ALC縦 t=12.5
	不燃化粧合板 t=3	ALC縦 t=25
	不燃化粧合板 t=3	LGS t=25
	不燃化粧合板 t=3	LGS t=12.5
	不燃化粧合板 t=3	RC t=25
	不燃化粧合板 t=3	RC t=12.5
天井	岩綿吸音板 t=12	GB-R t=12.5
廻縁	-	
備考		

